

2011 総合資料

大志一閃

～行動こそが信念～



社団法人 淡路青年会議所

社団法人 淡路青年会議所

2010 年度事業報告並びに決算報告書

2010 年度理事長 後藤 英範

| | |
|---------------|----|
| 1. 理事長報告 | 1 |
| 2. 副理事長報告 | 2 |
| 3. 専務理事報告 | 3 |
| 4. 諸会議報告 | 4 |
| 5. 委員会事業報告 | 10 |
| 6. 委員会別事業決算明細 | 22 |
| 7. 直前理事長報告 | 26 |
| 8. 出向報告 | 27 |
| 9. 監事報告 | 39 |
| 10. 会員動向 | 40 |
| 11. 役員名簿 | 41 |
| 12. 出向者一覧 | 42 |
| 13. 組織及び委員会構成 | 43 |
| 14. 褒章 | 44 |
| 15. 決算報告 | 45 |
| 16. 監査報告 | 56 |
| 17. 資料 | 57 |

2011 年度事業計画並びに収支予算書

2011 年度理事長 畑野 信行

| | |
|----------------------------|-----|
| 1. 理事長所信 | 99 |
| 2. 基本方針 | 101 |
| 3. 副理事長抱負 | 102 |
| 4. 専務理事抱負 | 103 |
| 5. 監事抱負 | 104 |
| 6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務 | 105 |
| 7. 出向者抱負 | 119 |
| 8. 一般会計収支予算 | 124 |
| 9. 特別事業基金（特別会計）収支予算 | 127 |
| 10. 役員名簿 | 128 |
| 11. 出向者一覧 | 129 |
| 12. 組織及び委員会構成 | 130 |
| 13. 年間スケジュール | 131 |
| 14. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図 | 132 |

2010年度

事業報告書

2010年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2010年度 スローガン

Make evolution !

～我々の進化がまちを進化させる～

2010年度 基本方針

- 一. 調査・研究をしっかりと行い、一丸となり行動しよう。
- 一. 地域の子どもを愛し、絆を育み地域に発信しよう。
- 一. 組織のあり方を徹底的に議論し、方向性を明確にしよう。
- 一. 戦略を立て、メンバー全員で会員拡大を成功させよう。

1. 理 事 長 報 告



まずは、2010年度の理事長として、一年間お世話になりましたOBの皆様、並びに現役メンバーの皆様
に感謝申し上げます。皆様方のお陰をもちまして、無事に理事長職を全うすることが出来ました。本当にありがとうございました。

「Make evolution! ～我々の進化が まちを進化させる～」をスローガンとして、メンバーの皆様方と共に歩んでまいりました2010年度、随分前のようにも感じられますが、思い起こせば本年度も例年同様1月例会、総会、新年会の三本柱での華々しい幕開けとなりました。そしてそれ以降は、活発な委員会活動や日常における様々な調査研究を行っておりますメンバーの姿を拝見させていただきながら、本当に頼もしく感じると共に嬉しい気持ちで一杯になり、一日一日を過ごさせていただきました。

7月と10月には、それぞれ社会開発系、青少年育成系の対外事業を開催させていただきました。どちらの事業も地域をテーマにした、内容自体もしっかりと地域住民に密着した事業であったと思います。7月の島民討議会「VOICE OF AWAJI 2010 ～あなたの声が淡路島を変える～」(淡路島内3市と共催)は、島民の皆様自身がまちづくりの当事者となり、様々な問題を自らの問題として捉え、解決に向け真剣に取り組む機会として企画をした事業でありました。二日間の事業を行う中で、淡路島が元気になる為には、何と云っても島民の皆様様の「淡路島を良くしたい」という熱いハートが一番重要であると再認識いたしました。また、10月の青少年育成事業「地域で育てる淡路島の宝! ～淡路島教育発信フォーラム～」は、アンケートを元に我々が調査研究した内容を島内に発信すると共に、今後の家庭、学校、地域のあり方まで、島民の皆様様に認識していただく事業でありました。いつの時代も元気一杯の子どもの存在はまちに活力を与えてくれ、また我々のエネルギーの源でもあります。前述の家庭、学校、地域にとって、有機的に繋がる事が出来た時、子どもたちの笑顔溢れるまちになると考えます。

各委員会を主導としたどの事業も思い出深いものばかりでした。単年度制の青年会議所らしく、ほとんどのメンバーが初めての役職につき、その役職に挑戦し、そして大いに成長したと感じております。青年会議所は、まちづくり事業、青少年育成事業、研修等を通じて自分を高め、成長させるところでもあります。そういった意味でも価値ある一年になったと自負しております。

これからも社団法人淡路青年会議所は、愛するこの淡路島を更に魅力的にする為に邁進してまいります。皆様には今後ともご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。報告とさせていただきます。一年間お世話になり、本当にありがとうございました。

2. 副理事長報告

副理事長 木原 慎陽
齊藤 新太
飛松 孝治
中西 仁志



2010年度4名の副理事長で理事長の指し示すビジョンの下、委員会、メンバーの隅々まで本年度のビジョンを浸透させ、社団法人淡路青年会議所の存在価値を発信することを目標に副理事長としてJC活動に臨んでまいりました。伝えてもらう立場から伝える立場に変わり、今までのJC活動、諸先輩方から学んだ経験を生かしながらのJC活動でしたが、我々も共に進化していった1年だったと思います。また、JC活動に活気が薄れてきていると感じられるのは、効率性だけを重視しすぎた結果であると思います。効率性を重視する事は否定しませんが、何事においても成果を得るにはそれなりの知恵と時間が必要であり論点を明確にした上で議論し、時間を共有することでより内容があり効率性の上がるJC活動ができるものであると伝えてまいりました。

最後に、今年度の経験を生かし今後のJC活動の糧として頑張ってまいります。1年間ありがとうございました。

3. 専務理報告

専務理事 畑野 信行



2010年度、社団法人淡路青年会議所の専務理事を拝命し、その重責を痛感する毎日でございました。社団法人淡路青年会議所という歴史ある組織の運営責任を担うことはもちろんの事、理事長の秘書的業務及び各三役、委員長の皆様方との様々な調整事項など、どれを取っても軽視できる業務は何一つございませんでした。私自信、これまで14年間のJC活動の中、様々なお役目を頂きその都度精一杯の活動をさせて頂きましたが、専務理事という役職は、それとはまた違ったものでありました。

社団法人淡路青年会議所という組織の内部を見させて頂きながら、存在意義及び地域に与える良き影響を再度確認することができたのではないかと感じました。そんな中、多くのメンバーと共に切磋琢磨し沢山の良き経験を頂くこともできました。至らぬ点は多々ございましたが、理事長と活動を共にさせていただいたこの一年間は、私にとってかけがえのない時間でもありました。2010年度で経験した様々な事柄を、「奉仕・修練・友情」を胸に、更に2011年度の新たな場所で飛躍できるよう存分に行動する所存でございます。お世話になりました皆様方には心からの感謝を申し上げまして、2010年度の専務理事としてのご報告といたします。

4. 諸 会 議 報 告

社団法人 淡路青年会議所 第71回通常総会

2010年1月13日(水) 於 夢泉景
出席者 38名 書面評決 16名 委任状 1名

- 第1号議案 除名に関する件
- 第2号議案 2009年度事業報告承認に関する件
- 第3号議案 2009年度決算報告承認に関する件
- 第4号議案 2010年度修正予算承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第54回臨時総会

2010年8月11日(水) 於 洲本市文化体育館
出席者 46名 書面評決 5名 委任状 0名

- 第1号議案 2011年度 理事長予定者承認に関する件
- 第2号議案 2011年度 監事予定者承認に関する件
- 第3号議案 2011年度 理事予定者承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第72回通常総会

2010年12月8日(土) 於 夢海游 淡路島
出席者 51名 書面評決 4名 委任状 0名

- 第1号議案 2010年度 一般会計収支補正予算の件
- 第2号議案 2010年度 特別会計収支補正予算の件
- 第3号議案 2010年度 預かり金処分の件
- 第4号議案 2011年度 組織構成及び委員会構成の件
- 第5号議案 2011年度 出向者の件
- 第6号議案 2011年度 一般会計収支予算の件
- 第7号議案 2011年度 特別会計収支予算の件
- 第8号議案 2011年度 事業計画の件
- 第9号議案 2011年度 例会・総会日時の件
- 第10号議案 2011年度 年間スケジュールの件
- 第11号議案 2011年度 預かり金の件

理事会報告

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|----------|--|---------|
| 1. 6 (水) | <p>1 月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 瀬田さんの除名に関する件 (2) 2009 年度事業報告の件 (3) 2009 年度決算報告の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 2010 年度修正予算承認に関する件 (7) 2010 年度会費徴収の件 (8) 1 月例会の件 (9) 第 71 回通常総会の件 (10) 第 71 回通常総会提出議案の件 (11) 新年会の件 (12) 会員名簿作成の件 (13) 総合資料作成の件 (14) 入会案内冊子の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件 (2) 3 月例会の件 (3) 社会開発事業実行委員会設置の件 (4) 第 16 回わんぱく相撲淡路場所の件 | 夢海游 淡路島 |
| 2. 3 (水) | <p>2 月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 公式訪問役員懇談会の件 (2) 2 月例会の件 (3) 対内広報紙作成の件 (4) 島民討議会 VOICE OF AWAJI 実行委員会設置の件【一部審議】 (5) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 島民討議会 VOICE OF AWAJI 実行委員会 拠出金の件 (2) 3 月例会の件 (3) 第 16 回わんぱく相撲淡路場所の件 (4) 4 月例会の件 (5) その他 | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|----------|---|---------|
| 3. 3 (水) | <p>3月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 1月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 第71回通常総会事業報告並びに決算報告の件 (3) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (4) 島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 ～あなたの声が淡路島を変える～実行委員会設置の件 (5) 島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 ～あなたの声が淡路島を変える～実行委員会拠出金の件 (6) 3月例会の件 (7) 第16回わんぱく相撲淡路場所の件 (8) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4月例会の件 (2) 5月例会の件 (3) その他 | 夢海游 淡路島 |
| 4. 7 (水) | <p>4月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 会員名簿作成報告並びに決算報告の件 (3) 総合資料作成報告並びに決算報告の件 (4) 兵庫ブロック協議会公式訪問役員懇談会事業報告並びに決算報告の件 (5) 準会員承認の件 (6) 4月例会の件 (7) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5月例会の件 (2) 6月例会の件 (3) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～ | 夢海游 淡路島 |
| 5. 6 (水) | <p>5月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3月例会の件 (2) 5月例会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会の件 (2) 7月例会の件 (3) 淡路島まつり阿波踊り大会の件 | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|---------|---|----------|
| 6.2 (水) | <p>6月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 6月例会の件 (3) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 選挙管理委員会設置の件 (2) 7月例会の件 (3) 淡路島まつり踊り大会の件 (4) 8月例会の件 (5) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～ (6) その他 | 夢海游 淡路島 |
| 7.7 (水) | <p>7月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第16回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件 (2) 5月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) 新入会員承認の件 (4) 新入会員配属の件 (5) 2010年度後期会費徴収の件 (6) 選挙管理委員会設置の件 (7) 7月例会の件 (8) 淡路島まつり踊り大会の件 (9) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第54回臨時総会の件 (2) 第54回臨時総会提出議案の件 (3) 8月例会の件 (4) 9月例会の件 (5) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～ (6) その他 | 夢海游 淡路島 |
| 8.4 (水) | <p>8月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 6月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 2011年度理事長予定者承認に関する件 (3) 2011年度監事予定者承認に関する件 (4) 2011年度理事予定者承認に関する件 (5) 第54回臨時総会の件 (6) 第54回臨時総会提出議案の件 (7) 事務局員夏季休暇の件 (8) 8月例会の件 (9) その他 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 9月例会の件 (2) 10月例会の件 (3) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～ (4) その他 | 淡路島観光ホテル |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|----------|---|---------|
| 9.1 (水) | <p>9月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 7月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 9月例会の件</p> <p>(3) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～の件</p> <p>(4) その他</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 10月例会の件</p> <p>(2) 11月例会の件</p> <p>(3) 淡路JCの決断 ～決断！淡路JCの未来の姿～</p> <p>(4) その他</p> | 夢海游 淡路島 |
| 10.6 (水) | <p>10月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 淡路島まつり踊り大会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 8月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 第54回臨時総会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 準会員承認の件</p> <p>(5) 10月例会の件</p> <p>(6) その他</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 11月例会の件</p> <p>(2) 淡路JCの決断～決断！淡路JCの未来の姿～</p> <p>(3) 12月例会の件</p> <p>(4) その他</p> | 夢海游 淡路島 |
| 11.4 (水) | <p>11月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 島民討議会実行委員会解散の件</p> <p>(2) 9月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 11月例会の件</p> <p>(4) 淡路JCの決断～決断！淡路JCの未来の姿～の件</p> <p>(5) その他</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 12月例会の件</p> <p>(2) 第72通常総会設営の件</p> <p>(3) 第72回通常総会提出議案の件</p> <p>(4) その他</p> | 夢海游 淡路島 |
| 12.1 (水) | <p>12月理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 10月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 11月例会事業報告並びに決算報告の件</p> | 夢海游 淡路島 |

| 月 日 | 内 容 | 場 所 |
|---------|--|---------|
| 1.5 (水) | <p>(4) 淡路JCの決断～決断！淡路JCの未来の姿～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 2010年度預かり金処分の件</p> <p>(6) 2010年度一般会計収支補正予算の件</p> <p>(7) 2011年度組織及び委員会構成の件</p> <p>(8) 2011年度出向者の件</p> <p>(9) 2011年度一般会計収支予算の件</p> <p>(10) 2011年度特別会計収支予算の件</p> <p>(11) 2011年度事業計画の件</p> <p>(12) 2011年度例会・総会日時の件</p> <p>(13) 2011年度預かり金の件</p> <p>(14) 12月例会の件</p> <p>(15) 第72回通常総会設営の件</p> <p>(16) 第72回通常総会提出議案の件</p> <p>(17) 入会案内冊子事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(18) 褒賞委員会設置の件</p> <p>(19) その他</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) その他</p> <p>13 回理事会議事</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 対内広報紙発行事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 12月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 第72回通常総会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) ホームページ管理・運営事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 2010事業報告の件</p> <p>(6) 2010決算報告の件</p> <p>(7) 新入会員承認の件</p> <p>(8) 理事会預かり金の件</p> <p>(9) その他</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) その他</p> | 夢海游 淡路島 |

5. 委員会事業報告

理事長公室

| | | | | | |
|----|-------------------------------------|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 畑野 信行 | 委員長 | 出口 利一 | 副委員長 | 滝本 佳載 |
| 委員 | 新家 春輝、高見 恵文、廣井 公壽、藤井 実二、山下 勝久、法月 正義 | | | | |

総括報告

公室長 出口 利一



まず、予定者の段階からたくさんの方々にご指導いただき、公室長を務めさせていただいた事に、心より感謝いたしております。社団法人淡路青年会議所 後藤理事長に恥をかかさよう心がけ務め、LOMのハブ的存在として行動して参りましたが、改善点もあったかと思えます。公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会公式訪問役員懇談会や理事会、総会の設営行い、諸会議がスムーズに進行し閉会する事を切に願いました。さらに、今年の公室では、名刺・会員名簿・総合資料の作成、ホームページの管理・運営、7月例会設営が役割業務としていただきました。特に、ホームページの管理・運営に関しては、更新をしなければカウント数が減る等、1年間休まることがありませんでした。最後に、後藤理事長、畑野専務にはご指導をいただき、滝本副公室長には予定者段階から、公室メンバーには要所要所きっちり参加をしてくださったことを心よりお礼申し上げ報告と致します。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|-------------|-----|---------------------------|------|
| 2009. 9. 17 | 事務局 | 所信・基本方針・役割分掌、公室長抱負、事業計画他 | 4名 |
| 10. 20 | 事務局 | 公室長抱負、総合資料、公式訪問役員懇談会他 | 5名 |
| 11. 16 | 事務局 | ホームページ、公式訪問、第71回通常総会設営 | 3名 |
| 12. 14 | 事務局 | ホームページ、会員名簿、公式訪問、第71回通常総会 | 5名 |
| 2010. 1. 15 | 事務局 | 総合資料、会員名簿、公式訪問 | 2名 |
| 1. 27 | 事務局 | 総合資料、会員名簿、公式訪問 | 5名 |
| 2. 12 | 事務局 | 公式訪問 | 6名 |
| 3. 16 | 事務局 | 総合資料決算、会員名簿決算、公式訪問決算、7月例会 | 5名 |
| 4. 20 | 事務局 | 7月例会 | 4名 |
| 6. 16 | 事務局 | 7月例会 | 3名 |
| 6. 22 | 事務局 | 7月例会 | 4名 |

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|------|-----|------------------------|------|
| 7. 5 | 事務局 | 7月例会、選挙管理委員会設置 | 4名 |
| 9.15 | 事務局 | 第54回臨時総会決算、播淡8JC理事長会設営 | 6名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|------------|-----------|---------------------|------|
| 2010. 1. 1 | Web上 | 2010年度ホームページ管理・運営開始 | — |
| 1.13 | 淡路夢泉景 | 第71回通常総会 | 58名 |
| 1.31 | 2010年度HP内 | 総合資料作成 | — |
| 2.10 | 洲本市文化体育館 | 会員名簿配布 | 420部 |
| 2.16 | 淡路島観光ホテル | 公式訪問役員懇談会 | 58名 |
| 7.14 | 洲本市文化体育館 | 7月例会 | 44名 |
| 8.11 | 洲本市文化体育館 | 第54回臨時総会 | 46名 |
| 12. 8 | 夢海游 淡路島 | 第72回通常総会 | 55名 |

公益法人制度改革委員会

| | | | | | |
|----|-----------------------------|-----|-------|------|------|
| 担当 | 木原 慎陽 | 委員長 | 大畑 一也 | 副委員長 | 島田 実 |
| 委員 | 池澄 泰彦、河井 義樹、西 浩平、藤井 宏昌、三原 聡 | | | | |

総括報告

委員長 大畑 一也



公益法人制度改革委員会の役割は、社団法人淡路青年会議所のメンバーの一人ひとりが新公益法人制度に関する知識を高めると共に、青年会議所運動の意義と照らし合わせ、公益社団法人と一般社団法人のいずれが相応しい法人であるのかを深く考えて頂くための土壌作りを行ってまいりました。また、対内広報誌の発行を通じ、現役メンバーとOBの諸先輩方に対する情報の提供も行いました。

2月例会では当委員会による新公益法人制度に関する説明を行い、6月例会ではパネルディスカッションを行い、この制度に関する問題を掘り下げてパネラーの皆様に議論をして頂きました。そして11月にはどちらの法人を選ぶのが良いのかについて、現役メンバー全員で議論いたしました。公益法人制度改革委員会は、島田副委員長以下7名のメンバーで一年間活動を行ってまいりました。少人数ではありましたが、それぞれのメンバーが一生懸命に取り組み、そして木原担当副理事長のご指導もあり、無事活動を終えることが出来たと考えます。委員長として、本当に感謝の念が絶えません。ありがとうございました。

最後になりましたが、委員会活動にご協力頂きました皆様方にご報告とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|--------------|----------|---------------------------|------|
| 2009. 9. 17 | 淡路島観光ホテル | 所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、その他 | 6名 |
| 9. 21 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、その他 | 4名 |
| 10. 01 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、対内広報紙、その他 | 5名 |
| 10. 15 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、対内広報紙、2月例会、その他 | 6名 |
| 11. 09 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、対内広報紙、2月例会、その他 | 4名 |
| 11. 18 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 11. 25 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 12. 04 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 12. 16 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 12. 22 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 2010. 01. 08 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 1. 18 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|--------|-----|------------------------|------|
| 1. 27 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 5名 |
| 2. 01 | 事務局 | 対内広報紙、2月例会、その他 | 6名 |
| 2. 08 | 事務局 | 2月例会、その他 | 5名 |
| 2. 09 | 事務局 | 2月例会、その他 | 5名 |
| 3. 02 | 事務局 | 6月例会、2月例会決算、その他 | 5名 |
| 3. 09 | 事務局 | 6月例会、2月例会決算、その他 | 5名 |
| 4. 01 | 事務局 | 6月例会、2月例会決算、その他 | 5名 |
| 4. 09 | 事務局 | 6月例会、その他 | 4名 |
| 4. 22 | 事務局 | 6月例会、その他 | 4名 |
| 5. 07 | 事務局 | 6月例会、その他 | 3名 |
| 5. 20 | 事務局 | 6月例会、その他 | 6名 |
| 5. 28 | 事務局 | 6月例会、その他 | 4名 |
| 6. 03 | 事務局 | 6月例会、その他 | 5名 |
| 6. 04 | 事務局 | 6月例会、その他 | 5名 |
| 6. 07 | 事務局 | 6月例会、その他 | 6名 |
| 6. 08 | 事務局 | 6月例会、その他 | 5名 |
| 7. 02 | 事務局 | 6月例会決算、その他 | 5名 |
| 7. 01 | 事務局 | 6月例会決算、その他 | 6名 |
| 7. 15 | 事務局 | 6月例会決算、その他 | 5名 |
| 8. 09 | 事務局 | 6月例会決算、その他 | 4名 |
| 8. 23 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 4名 |
| 8. 27 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 5名 |
| 9. 03 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 5名 |
| 9. 16 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 3名 |
| 9. 29 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 5名 |
| 10. 08 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 5名 |
| 10. 26 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 6名 |
| 11. 05 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 4名 |
| 11. 09 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 4名 |
| 11. 12 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 4名 |
| 11. 16 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 6名 |
| 11. 17 | 事務局 | 公益法人制度改革事業、その他 | 5名 |
| 12. 03 | 事務局 | 公益法人制度改革事業決算、褒章委員会、その他 | 5名 |
| 12. 20 | 事務局 | 対内広報紙決算、褒章委員会、その他 | 4名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|------------|-----------------------|------|
| 2010. 2. 10 | 洲本市文化体育館 | 2月例会～淡路JCの決断 Vol.1～ | 420部 |
| 2. 10 | 洲本市文化体育館 | 対内広報紙発刊 | 45名 |
| 4. 16 | 津名スポーツセンター | 対内広報紙発刊 | 380部 |
| 6. 09 | 洲本市文化体育館 | 6月例会～淡路JCの決断 Vol.2～ | 44名 |
| 6. 09 | 洲本市文化体育館 | 対内広報紙発刊 | 380部 |
| 8. 11 | 洲本市文化体育館 | 対内広報紙発刊 | 380部 |
| 10. 23 | サンライズ淡路 | 対内広報紙発刊 | 380部 |
| 11. 18 | 淡路島観光ホテル | 淡路JCの決断～決断！淡路JCの未来の姿～ | 48名 |
| 12. 08 | 夢海遊淡路島 | 対内広報紙発刊 | 380部 |

青少年育成委員会

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 齊藤 新太 | 委員長 | 向内 英光 | 副委員長 | 三倉 克仁 |
| 委員 | 池尻 明人、柏木 敏孝、久米 基支、中村 篤弘、仲野 正倫、中田 勝文、富士元 明仁 三原 正行、平川 智己 | | | | |

総括報告

委員長 向内 英光



当委員会は、1月例会から始まり、わんぱく相撲、青少年育成事業、12月例会と最初から最後まで役割を頂き、その全てにおいて皆様のご協力を頂きながら終える事が出来ました事を感謝いたします。

委員会メンバー11人という大所帯で、委員長として全員をけん引できたとは考えておりませんが、委員会メンバーのそれぞれが与えられて役割をこなし、それぞれの事業に向けて委員会活動を行っていただいたことは「感謝」の言葉しかありません。

わんぱく相撲においては、伊弉諾神宮での土俵造りから始まり、普段そのような仕事をしていない委員会メンバーも参加して造り上げました。この作業を行うことにより委員会が盛り上がり、事業当日に向けての準備も順調にできたものと考えます。当日においても、スムーズな進行ができ、懸念していた撤収も予想より早く出来たことは多くのメンバーの協力によるものであると考えます。

青少年事業においては、私の力不足もあり、思うような委員会活動ができませんでした。することが明確となり、行動あるのみという状況になってからの委員会の盛り上がりは本当に理想とする委員会であると感じました。当日に向かい委員会メンバーがそれぞれの役割を理解し行動したこと。そして、当日においてもメンバーの協力を頂き無事に終える事が出来たこと。全てにおいて「感謝」しかありません。

最後に、私を含め委員会メンバーも委員会の盛り上がりこそ事業成功の道である感じたものと考えます。立場・役割が変わっても、積極的に活動に参加をと共に、この経験を大切に、今後ともJC活動を邁進して参りたいと思います。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者 |
|-------------|----------|-----------------------------|-----|
| 2009. 9. 17 | 淡路島観光ホテル | 所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画、その他 | 8名 |
| 10. 02 | 事務局 | | 3名 |

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者 |
|-------------|---------|------------------------|-----|
| 10. 19 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、その他 | 5名 |
| 11. 09 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、その他 | 5名 |
| 11. 20 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、1月例会、その他 | 4名 |
| 12. 03 | 事務局 | 委員長抱負、事業計画、1月例会、その他 | 6名 |
| 12. 14 | 事務局 | 事業計画、1月例会、わんぱく相撲、その他 | 5名 |
| 2010. 01. 2 | 事務局 | 事業計画、1月例会、わんぱく相撲、その他 | 5名 |
| 1 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 5名 |
| 1. 28 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 6名 |
| 2. 08 | 事務局 | 1月例会決算、わんぱく相撲、事業計画、その他 | 5名 |
| 2. 25 | 事務局 | 1月例会決算、わんぱく相撲、事業計画、その他 | 6名 |
| 3. 08 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 4名 |
| 3. 23 | 事務局 | わんぱく相撲、その他 | 4名 |
| 4. 05 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 6名 |
| 4. 15 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 5名 |
| 4. 27 | 事務局 | わんぱく相撲、事業計画、その他 | 6名 |
| 5. 07 | 事務局 | わんぱく相撲、その他 | 5名 |
| 5. 24 | 事務局 | わんぱく相撲決算、青少年事業、その他 | 4名 |
| 6. 15 | 事務局 | わんぱく相撲決算、青少年事業、その他 | 5名 |
| 6. 23 | 事務局 | わんぱく相撲決算、青少年事業、その他 | 6名 |
| 7. 01 | 事務局 | わんぱく相撲決算、青少年事業、その他 | 5名 |
| 7. 15 | 事務局 | 青少年事業、その他 | 5名 |
| 8. 10 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 5名 |
| 8. 23 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 6名 |
| 9. 10 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 6名 |
| 9. 16 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 7名 |
| 9. 24 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 5名 |
| 10. 01 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 3名 |
| 10. 13 | 事務局 | 青少年事業、12月例会、その他 | 6名 |
| 10. 19 | 夢海游 淡路島 | 青少年事業、12月例会、その他 | 5名 |
| 11. 12 | 事務局 | 青少年事業決算、12月例会、その他 | 6名 |
| 12. 07 | 事務局 | 12月例会、その他 | 4名 |
| 12. 11 | 事務局 | 12月例会決算、その他 | 5名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|---------|--------------------------------|-------------------|
| 2010. 1. 13 | 夢泉景 | 1月例会 | 49名 |
| 5. 9 | 伊弉諾神宮 | 第16回わんぱく相撲淡路場所 | 選手 観客 約200人 |
| 10. 21 | しづかホール | 地域で育てる淡路島の宝！ ～淡路島教育発見フォーラム～ | 約450人 |
| 12. 8 | 夢海游 淡路島 | 12月例会 | 60名 |

社会開発委員会

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 中西 仁志 | 委員長 | 原田 啓行 | 副委員長 | 濱田 好人 |
| 委員 | 上村雄二郎、上河護、岸本篤人、笹津寛照、立木健介、濱田真輔、真野貴司、山口智康 | | | | |

総括報告

委員長 原田啓行



3月19日の調印式に始まり、実行委員会を計9回、7月17日・18日の事業2日間、そして報告書発表会とすべてのスケジュールを無事に終えることができました。

事業を行なうにあたり、予定者の段階から方向性を確定させ、市民討議会というモデルケースを調査研究することにより、早い段階で事業のイメージを組み立てることができ、事業当日まで要点を押えた運営を行なうことができました。あらためて予定者段階の準備の大切さ、言い方を変えると、準備段階で調査・研究の程度によって、事業に至るまでの道程が明らかに違ってくることを身をもって体感することができました。これはJC活動以外にも当然言えることでもありますので、今後の人生の糧として参りたいと思います。

JCの社会開発事業の目的は「明るい豊かな地域づくり」であり、「地域に前向きな変化を起こすこと」であると考えます。社会開発事業の方法論として「先駆けとして、今後の目指すべき方向を指し示すこと」というものがよく語られます。しかし、島民討議会はそうではなく、地域の人たちと、行政とJCとが一体となって、今後の未来について考えました。また、そのような場を提供もしくは、教科書として実践したわけです。前述しました、JCの目的から外れない限り手法はさまざまあり、間違いというものはありません。この度もJCらしい事業ができたと確信します。事業に至るまでも、事業終了後も本当にたくさんの事柄がありました。

到底一人の力でできたものでもなく、また委員会単体でできた事業でもありませんでした。たくさんの方々にご協力いただいたこと、時間と労力を費やしていただいたことを痛切に感じるとともに、あらためて皆様方に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

委員会報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|------------|-----|----------------------|------|
| 2010. 1. 9 | 事務局 | 島民討議会実行委員会開催内容検討、その他 | 6名 |
| 1. 18 | 事務局 | 〃 企画室組織図精査・その他 | 6名 |
| 1. 26 | 事務局 | 〃 実行委員会規約(案)内容精査・その他 | 4名 |
| 2. 4 | 事務局 | 〃 実行委員会設置・その他 | 7名 |
| 3. 11 | 事務局 | 〃 調印式設営・島民公募方法検討・その他 | 6名 |
| 4. 1 | 事務局 | 〃 実行委員会次第・役割分掌・その他 | 8名 |
| 6. 4 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容精査・その他 | 6名 |
| 6. 18 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容精査検討・その他 | 7名 |
| 7. 2 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容検討・その他 | 8名 |
| 7. 6 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容検討・その他 | 8名 |
| 7. 12 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容検討・その他 | 10名 |
| 7. 13 | 事務局 | 〃 実行委員会議事内容検討・その他 | 8名 |
| 7. 27 | 事務局 | 8月例会設営内容精査検討・その他 | 7名 |
| 7. 30 | 事務局 | 〃 シナリオ精査検討・その他 | 7名 |
| 8. 2 | 事務局 | 〃 シナリオ精査・その他 | 6名 |
| 8. 9 | 事務局 | 〃 設営内容確認・その他 | 8名 |
| 8. 10 | 事務局 | 〃 最終確認・資料準備・その他 | 5名 |
| 9. 7 | 事務局 | 島民討議会報告書内容精査・その他 | 9名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|-----------|--------------------------------|------|
| 2010. 3. 24 | 淡路島観光ホテル | 島民討議会 3市との調印式 | 20名 |
| 7. 17 | 洲本市総合福祉会館 | 島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 第1日目 | 30名 |
| 7. 18 | 洲本市総合福祉会館 | 島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 第2日目 | 34名 |
| 8. 11 | 洲本市文化体育館 | 8月例会 | 49名 |
| 10. 12 | 洲本市役所 | 島民討議会実施報告書発表会 | 16名 |

会員委員会

| | | | | | |
|----|---|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 飛松 孝治 | 委員長 | 高津 知也 | 副委員長 | 木下 紘二 |
| 委員 | 川本 康仁、柴田 大介、辰野 慶太、藤原 広規、横山 仁志、美摩 武臣、磯村 浩史 | | | | |

総括報告

委員長 高津 知也



本年度、会員委員会委員長という役割を頂き、新年会・4月例会・淡路島まつりおどり大会・10月例会・ロムナイト・ゴルフ同好会と主に対内系の事業の企画・設営をさせていただきました。今までのJC生活の中で何度も参加させていただいていた事業ではありますが、設営する側の立場になり、参加していた立場とは視点が変わり、知っていたつもりでも、こんなことをしなくてはいけなかったのかと勉強の1年で、後でこんなようにすれば良かったと反省の1年でした。1年間を無事に終える事が出来たのも飛松担当及び木下副委員長をはじめとする委員会メンバーのご協力があったからこそです。委員会メンバーと過ごしたこの1年間は、何事にも替えがたい貴重な経験でした。皆様本当にありがとうございました。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|-------------|----------|------------------------|------|
| 2009. 9. 17 | 淡路島観光ホテル | スローガン・理事長所信・基本方針・抱負の件他 | 7名 |
| 10. 20 | 事務局 | 委員会抱負、事業計画、新年会の件他 | 5名 |
| 10. 30 | 事務局 | 委員会抱負、事業計画、新年会の件他 | 5名 |
| 11. 6 | 事務局 | 新年会の件 | 6名 |
| 11. 18 | 事務局 | 新年会の件 | 5名 |
| 11. 26 | 事務局 | 新年会の件 | 4名 |
| 12. 3 | 事務局 | 新年会の件 | 4名 |
| 12. 16 | 淡路夢泉景 | 新年会の件 | 4名 |
| 12. 28 | 淡路夢泉景 | 新年会の件 | 4名 |
| 2010. 1. 8 | 事務局 | 新年会の件 | 6名 |
| 1. 12 | 淡路夢泉景 | 新年会の件 | 5名 |
| 2. 26 | 事務局 | 4月例会の件 | 3名 |
| 3. 9 | 事務局 | 4月例会の件 | 6名 |
| 3. 17 | 事務局 | 4月例会の件 | 4名 |
| 4. 9 | 事務局 | 4月例会の件 | 4名 |
| 4. 12 | 事務局 | 4月例会の件 | 4名 |
| 4. 13 | 事務局 | 4月例会の件 | 3名 |
| 4. 26 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 3名 |
| 5. 14 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 3名 |

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|--------|-----|----------|------|
| 5. 20 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 3名 |
| 5. 25 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 5名 |
| 6. 14 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 5名 |
| 6. 23 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 3名 |
| 7. 19 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 3名 |
| 7. 26 | 事務局 | 淡路島まつりの件 | 5名 |
| 9. 10 | 事務局 | 10月例会の件 | 4名 |
| 9. 20 | 事務局 | 10月例会の件 | 6名 |
| 10. 7 | 事務局 | 10月例会の件 | 5名 |
| 10. 19 | 事務局 | 10月例会の件 | 5名 |
| 10. 22 | 事務局 | 10月例会の件 | 6名 |

事業報告

| 年月日 | 場所 | 内容 | 出席者数 |
|-------------|-------------|------------------------|------|
| 2010. 1. 13 | 淡路夢泉景 | 新年会 | 117名 |
| 4. 14 | 津名スポーツセンター | 4月例会 | 47名 |
| 6. 24 | 洲本ゴルフ倶楽部 | Evolution カップゴルフコンペ | 43名 |
| 7. 22 | 大浜海岸千畳敷 | 淡路島まつり事前練習会 | 20名 |
| 7. 31 | 洲本市内 | 淡路島まつり | 88名 |
| 9. 13 | 表蔵王国際ゴルフクラブ | Evolution カップII ゴルフコンペ | 29名 |
| 9. 14 | 利府ゴルフ倶楽部 | Evolution カップII ゴルフコンペ | 32名 |
| 10. 23 | サンライズ淡路 | 10月例会 | 102名 |
| 11. 26 | 東条ゴルフ倶楽部 | 2010年度卒業ゴルフコンペ | 40名 |

会員拡大委員会

| | | | | | |
|----|-------------------------------------|-----|-------|------|-------|
| 担当 | 飛松 孝治 | 委員長 | 沖田 和良 | 副委員長 | 柳 弘一郎 |
| 委員 | 出田 裕重、川越 勇輔、小谷 敦朗、寺西 正典、濱口 健一、吉井 崇行 | | | | |

総括報告

委員長 沖田 和良



2010年度、後藤理事長のもと、会員拡大委員会委員長という大役を頂きメンバーの皆様、委員会メンバーの皆様のご協力、支援があつて1年間委員長として全うすることができました。飛松担当副理事長には色々な面でご指導、ご鞭撻いただきありがとうございました。この1年間会員拡大14名を目標に活動をおこなってまいりました。拡大活動では、単体で拡大するのではなく、LOM全体で会員を拡大するために、LOM拡大会議、エリア拡大会議、委員長拡大会議など様々な会議を通じて、メンバーの拡大活動並びに拡大意識の高揚を図って参りました。会員拡大は、単なる勧誘ではなく、一人前のJayceeとなるまで責任を持って関わり続けることが大切であり、次年度以降もしっかりと入会していただいた入会者のフォローも行って参ります。この拡大活動を通じて個の行動では得られない組織全体が行動することで得られる素晴らしい成果に気づくことができ、自分自身が得た経験を継続して活かせるよう今後も拡大活動をおこなって参ります。この1年間のお礼並びに報告とさせていただきます。ありがとうございました。

委員会報告

| 年月日 | 場所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|---|------|
| 2009. 9. 17 | 淡路島観光ホテル | 所信の件・基本方針の件・役割分掌の件、抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件 | 8名 |
| 9. 25 | 淡路島観光ホテル | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件 | 6名 |
| 10. 01 | 事務局 | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件 | 7名 |
| 10. 16 | 事務局 | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件 | 6名 |
| 10. 28 | 事務局 | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件 | 6名 |
| 11. 09 | 事務局 | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、年間上程スケジュールの件、入会案内冊子作成の件 | 7名 |
| 11. 19 | 事務局 | 抱負の件、事業計画並びに予算案及び役割業務の件、 | 7名 |

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|-----|-------------------------|--------------|
| 11. 26 | 事務局 | 年間上程スケジュールの件、入会案内冊子作成の件 | 4名 |
| 12. 16 | 事務局 | 入会案内冊子作成の件 | 7名 |
| 2010. 1. 07 | 事務局 | 入会案内冊子作成の件、3月例会の件 | 7名 |
| 1. 25 | 事務局 | 入会案内冊子作成の件、3月例会の件 | 3名 |
| 2. 22 | 事務局 | 3月例会の件、5月例会の件 | 6名 |
| 3. 01 | 事務局 | 3月例会の件、会員拡大の件 | 6名 |
| 3. 05 | 事務局 | 3月例会の件、5月例会の件、会員拡大の件 | 4名 |
| 3. 08 | 事務局 | 3月例会の件、会員拡大の件 | 7名 |
| 3. 09 | 事務局 | 3月例会の件、会員拡大の件 | 7名 |
| 3. 29 | 事務局 | 5月例会の件、会員拡大の件 | 2名 |
| 4. 05 | 事務局 | 5月例会の件、会員拡大の件 | 4名 |
| 4. 15 | 事務局 | 3月例会決算の件、5月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 5. 07 | 事務局 | 5月例会の件、会員拡大の件 | 4名 |
| 5. 10 | 事務局 | 5月例会の件、会員拡大の件 | 4名 |
| 5. 11 | 事務局 | 5月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 5. 28 | 事務局 | 5月例会決算の件、9月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 6. 08 | 事務局 | 5月例会決算の件、9月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 7. 01 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 5名 |
| 7. 13 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 7名 |
| 8. 12 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 2名 |
| 8. 25 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 5名 |
| 9. 03 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 6名 |
| 9. 07 | 事務局 | 9月例会の件、会員拡大の件 | 6名 |
| 9. 16 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 10. 13 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 2名 |
| 10. 19 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 7名 |
| 10. 27 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 3名 |
| 11. 05 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 4名 |
| 11. 08 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 5名 |
| 11. 09 | 事務局 | 11月例会の件、会員拡大の件 | 5名 |
| 12. 18 | 事務局 | 事業報告の件 | 5名 |
| | | | 出席者数 189名 |

事業報告

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 出席者数 |
|-------------|----------|------------------------------|------|
| 2010. 1. 13 | | 入会案内冊子配作成 | 380部 |
| 3. 10 | 淡路島観光ホテル | 3月例会～新たな未来へ導くために～ | 50名 |
| 5. 12 | 洲本市文化体育館 | 5月例会～明日の淡路JCは今日の淡路Jayceeが創る～ | 44名 |
| 9. 08 | 淡路島観光ホテル | 9月例会～強い組織づくり～ | 55名 |
| 11. 10 | 洲本市文化体育館 | 11月例会～進化を遂げた淡路JC～ | 51名 |

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細(1)

| 委員会名 | 事業名称 | 収入の部 | | | 支出の部 | | | | 差額 (A) - (B) | 処分方法 | |
|----------------|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------|-------------|----------------------|
| | | 科目 | 予算額 | 補正予算 | 決算額 (A) | 科目 | 予算額 | 補正予算 | | | 決算額 (B) |
| 理事長公室 | 合計 | | 564,100 | 538,600 | 538,600 | | 564,100 | 527,766 | 527,766 | 10,834 | |
| | 会員名簿作成 | 委員会事業費 | 318,000 | 318,000 | 318,000 | 資料作成費 | 308,460 | 308,460 | 308,460 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | 予備費 | | | | 予備費 | 9,540 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 318,000 | 318,000 | 318,000 | 小計 | 318,000 | 308,460 | 308,460 | 9,540 | |
| | 総合資料の作成 | 委員会事業費 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 資料作成費 | 840 | 819 | 819 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | 予備費 | | | | 予備費 | 160 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 1,000 | 1,000 | 1,000 | 小計 | 1,000 | 819 | 819 | 181 | |
| | 兵庫ブロック 公式訪問役員懇談会 | 登録料収入 | 122,500 | 97,000 | 97,000 | 会場設営費 | 117,250 | 93,160 | 93,160 | | 余剰金561円を本会計雑収入に繰り入れる |
| | | | | | | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | |
| | | | | | | 通信費 | 2,800 | 2,880 | 2,880 | | |
| | | | | | | 予備費 | 2,051 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 122,500 | 97,000 | 97,000 | 小計 | 122,500 | 96,439 | 96,439 | 561 | |
| | 7月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 21,250 | 21,250 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | |
| | | | | | | 予備費 | 552 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 22,048 | 22,048 | 552 | |
| ホームページの管理・運営 | 委員会事業費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 資料作成費 | 97,000 | 97,000 | 97,000 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | 予備費 | | | | 予備費 | 3,000 | 3,000 | 3,000 | | | |
| | 小計 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 小計 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 0 | | |
| 公益法人制度改革委員会 | 合計 | | 517,800 | 517,800 | 517,800 | | 517,800 | 515,894 | 513,894 | 3,906 | |
| 2月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 21,250 | 19,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | 予備費 | 552 | 0 | 0 | | | |
| | 小計 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 22,048 | 20,048 | 2,552 | | |
| 6月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 21,250 | 21,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | 予備費 | 552 | 0 | 0 | | | |
| | 小計 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 22,048 | 22,048 | 552 | | |
| 公益法人制度改革に関する事業 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | 予備費 | 802 | 0 | 0 | | | |
| | 小計 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 21,798 | 21,798 | 802 | | |
| 対内広報紙の発行 | 委員会事業費 | 450,000 | 450,000 | 450,000 | 資料作成費 | 441,000 | 441,000 | 441,000 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | | |
| | | | | | 予備費 | 8,601 | 8,601 | 8,601 | | | |
| | 小計 | 450,000 | 450,000 | 450,000 | 小計 | 450,000 | 450,000 | 450,000 | 0 | | |

委員会別事業決算明細(2)

| 委員会名 | 事業名称 | 収入の部 | | | 支出の部 | | | | 差額 (A) - (B) | 処分方法 | |
|---------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-------------|-------------|
| | | 科目 | 予算額 | 補正予算 | 決算額 (A) | 科目 | 予算額 | 補正予算 | | | 決算額 (B) |
| 青少年育成委員会 | 合計 | | 1,349,080 | 1,349,080 | 1,349,080 | | 1,349,000 | 1,270,935 | 1,269,703 | 79,377 | |
| | 1月例会 | 委員会事業費 | 38,000 | 38,000 | 38,000 | 会場設営費 | 36,750 | 36,750 | 36,750 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | | | | | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | |
| | | 予備費 | | | | | 851 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 38,000 | 38,000 | 38,000 | 小計 | 38,000 | 37,149 | 37,149 | 851 | |
| | 12月例会 | 委員会事業費 | 64,000 | 64,000 | 64,000 | 会場設営費 | 61,250 | 62,350 | 62,350 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | | | | | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | |
| | | 予備費 | | | | | 2,351 | 1,251 | 1,251 | | |
| | | 小計 | 64,000 | 64,000 | 64,000 | 小計 | 64,000 | 64,000 | 64,000 | 0 | |
| | わんぱく相撲淡路場所 | 委員会事業費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 会場設営費 | 71,330 | 71,330 | 71,628 | | 委員会事業費に繰り戻す |
| | | | | | | 広告費 | 12,777 | 12,777 | 12,777 | | |
| | | | | | | 保険料 | 10,000 | 10,000 | 8,470 | | |
| | | | | | | 参加記念品 | 1,638 | 1,638 | 1,638 | | |
| | | | | | | 通信費 | 160 | 160 | 160 | | |
| | | | | | | 雑費 | 840 | 0 | 0 | | |
| | | 予備費 | | | | | 3,255 | 0 | 0 | | |
| | | 小計 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 小計 | 100,000 | 95,905 | 94,673 | 5,327 | |
| 青少年育成事業 | 委員会事業費 | 1,147,080 | 1,147,080 | 1,147,080 | 会場設営費 | 328,190 | 283,220 | 283,220 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 講師関係費 | 283,250 | 283,250 | 283,250 | | | |
| | | | | | 資料作成費 | 1,596 | 1,596 | 1,596 | | | |
| | | | | | 広告費 | 467,386 | 472,946 | 472,946 | | | |
| | | | | | 保険料 | 33,000 | 28,000 | 28,000 | | | |
| | | | | | 通信費 | 720 | 720 | 720 | | | |
| | | | | | 雑費 | 5,000 | 4,149 | 4,149 | | | |
| | 予備費 | | | | | 27,858 | 0 | 0 | | | |
| | 小計 | 1,147,080 | 1,147,080 | 1,147,080 | 小計 | 1,147,000 | 1,073,881 | 1,073,881 | 73,199 | | |
| 社会開発委員会 | 合計 | | 1,702,600 | 1,702,600 | 1,702,600 | | 1,702,600 | 1,686,500 | 1,686,500 | 16,100 | |
| 社会開発事業の企画 設営及び運営 | 委員会事業費 | 1,680,000 | 1,680,000 | 1,680,000 | 会場設営費 | 59,450 | 120,936 | 120,936 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 講師関係費 | 150,000 | 30,000 | 30,000 | | | |
| | | | | | 参加記念品 | 250,000 | 250,000 | 250,000 | | | |
| | | | | | 資料作成費 | 103,990 | 168,825 | 168,825 | | | |
| | | | | | 広告費 | 662,000 | 767,480 | 767,480 | | | |
| | | | | | 通信費 | 370,000 | 8,960 | 8,960 | | | |
| | | | | | 実行委員会関係 | 48,900 | 28,850 | 28,850 | | | |
| | | | | | 調印式会場費 | 21,000 | 21,000 | 21,000 | | | |
| | | | | | 予備費 | 14,660 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | 報告書作成 | 0 | 268,800 | 268,800 | | | |
| | 小計 | 1,680,000 | 1,680,000 | 1,680,000 | 小計 | 1,680,000 | 1,664,851 | 1,664,851 | 15,149 | | |
| 8月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 21,250 | 21,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | | |
| | 予備費 | | | | | 951 | 0 | 0 | | | |
| | 小計 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 21,649 | 21,649 | 951 | | |

委員会別事業決算明細(3)

| 委員会名 | 事業名称 | 収入の部 | | | 支出の部 | | | 差額 (A) - (B) | 処分方法 | | | |
|-------|------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|-----------|-----------|-------------|--|
| | | 科目 | 予算額 | 補正予算 | 決算額 (A) | 科目 | 予算額 | | | 補正予算 | 決算額 (B) | |
| 会員委員会 | 合計 | | 3,055,000 | 2,856,000 | 2,616,000 | | 3,055,000 | 2,594,621 | 2,593,143 | 22,857 | | |
| | 新年会 | 委員会事業費 | 280,000 | 280,000 | 280,000 | 会場設営費 | 251,250 | 251,250 | 251,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | 登録料収入 | 1,680,000 | 1,560,000 | 1,560,000 | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 広告費 | 6,128 | 6,128 | 5,950 | | | |
| | | | | | | 懇親会費 | 1,680,000 | 1,560,000 | 1,560,000 | | | |
| | | | | | | 雑費 | 13,250 | 13,250 | 13,150 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 8,574 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 1,960,000 | 1,840,000 | 1,840,000 | | 1,960,000 | 1,831,426 | 1,831,148 | 8,852 | |
| | 4月例会 | 委員会事業費 | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 会場設営費 | 10,050 | 10,050 | 10,050 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | | 講師関係費 | 35,250 | 35,250 | 35,250 | | | |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 保険料 | 8,850 | 8,850 | 7,650 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 2,052 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 小計 | 57,000 | 54,948 | 53,748 | 3,252 | |
| | 淡路島まつり踊り大会 | 委員会事業費 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 会場設営費 | 160,000 | 160,000 | 160,000 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | 登録料収入 | 210,000 | 210,000 | 132,000 | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | 登録料収入 | 420,000 | 420,000 | 258,000 | 広告費 | 320 | 400 | 400 | | | |
| | | | | | | 懇親会費 | 630,000 | 390,000 | 390,000 | | | |
| | | | | | | 保険料 | 5,000 | 4,150 | 4,150 | | | |
| | | | | | | 雑費 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 7,882 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 810,000 | 810,000 | 570,000 | 小計 | 810,000 | 561,348 | 561,348 | 8,652 | |
| | 10月例会 | 委員会事業費 | 29,000 | 29,000 | 29,000 | 会場設営費 | 20,750 | 20,750 | 20,750 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | 登録料収入 | 199,000 | 120,000 | 120,000 | 資料作成費 | 399 | 399 | 399 | | | | |
| | | | | | 懇親会費 | 199,000 | 120,000 | 120,000 | | | | |
| | | | | | 保険料 | 5,500 | 4,250 | 4,250 | | | | |
| | | | | | 雑費 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | | | | |
| | | | | | 予備費 | 851 | 0 | 0 | | | | |
| | 小計 | | 228,000 | 149,000 | 149,000 | 小計 | 228,000 | 146,899 | 146,899 | 2,101 | | |

委員会別事業決算明細(4)

| 委員会名 | 事業名称 | 収入の部 | | | 支出の部 | | | 差額 (A) - (B) | 処分方法 | | | |
|---------|-----------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------------|---------|---------|-------------|--|
| | | 科目 | 予算額 | 補正予算 | 決算額 (A) | 科目 | 予算額 | | | 補正予算 | 決算額 (B) | |
| 会員拡大委員会 | 合計 | | 475,000 | 475,000 | 475,000 | | 475,000 | 460,222 | 460,222 | 14,778 | | |
| | 3月例会 | 委員会事業費 | 27,800 | 27,800 | 27,800 | 会場設営費 | 26,250 | 26,250 | 26,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 752 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 27,800 | 27,800 | 27,800 | 小計 | 27,800 | 27,048 | 27,048 | 752 | |
| | 5月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 16,250 | 16,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 552 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 17,048 | 17,048 | 5,552 | |
| | 9月例会 | 委員会事業費 | 345,000 | 345,000 | 345,000 | 会場設営費 | 35,450 | 35,450 | 35,450 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | | 講師関係費 | 307,350 | 307,350 | 307,350 | | | |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 通信費 | 240 | 80 | 80 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 1,162 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 345,000 | 345,000 | 345,000 | 小計 | 345,000 | 343,678 | 343,678 | 1,322 | |
| | 11月例会 | 委員会事業費 | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 会場設営費 | 21,250 | 16,250 | 16,250 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | | 資料作成費 | 798 | 798 | 798 | | | |
| | | | | | | 予備費 | 552 | 0 | 0 | | | |
| | | 小計 | | 22,600 | 22,600 | 22,600 | 小計 | 22,600 | 17,048 | 17,048 | 5,552 | |
| | 入会案内冊子の作成 | 委員会事業費 | 57,000 | 57,000 | 57,000 | 資料作成費 | 55,400 | 55,400 | 55,400 | | 委員会事業費に繰り戻す | |
| | | | | | 予備費 | 1,600 | 0 | 0 | | | | |
| | 小計 | | 57,000 | 57,000 | 57,000 | | 57,000 | 55,400 | 55,400 | 1,600 | | |

7. 直前理事長報告

直前理事長 才花 毅



2010年度の活動が終わりました。私にとって最後のJC生活の一年でもありました。特別な一年を直前理事長という立場で過ごさせていただいたことに感謝申し上げます。

JCは理事長を中心に一年を地域の明日を想い描いていくために、青年らしく行動力を武器に邁進していく団体です。その組織に対して理事長を終えた最後の一年を如何に過ごすかというのは当初からの、そして最終の私にとっての役割であり、課題でした。理事長の横に位置し、一年前に自分が経験したことを今年のJCが目標に到達すべく、方向修正したり、アドバイス、また経験値を話すことであったのかもしれませんが。私は兎に角、理事長を中心に本当に淡路を良くしたいと想いをもって行動する団体であれば、役割を終えた自分が意見することではないと心に誓っていました。しかし、公益法人については、JCの本来の事業という位置づけではなく、これからのJCの基本となすべく課題であったので特に意見を理事会を中心に話しさせていただきました。これについても行動こそがJCのプライドではないかと想っています。これからも現役であられる皆様には是非、人の話だけでなく、インターネットの情報だけでなく、自らが率先して行動して判断をいただきたいと思います。加えて、今この課題に取り組んでいるのは今の現役メンバーであるのですが、これまでには数々の先輩が築いてきたJCであり、さらに将来のJCを背負っていくべくこれから入会してこられる未来のJCメンバーにも恥じる事のない決断を一人ひとりが想いを持って取り組んでいただき、最終的には組織としての統一した意志を持っていただきたいと思っています。

益々の社団法人淡路青年会議所がこの地域を心から良くしたいと思い、行動していく組織であり続けていただくことを心より祈念し、一年の報告とさせていただきます。

8. 出 向 報 告

公益社団法人 日本青年会議所「地域のたから」創造会議

委 員 柏木 敏孝



少し前に私の会社の人と日本人の信仰についての話をしました。私は「日本人はとりあえず仏教を信仰しているので、葬式は仏式でやっているけど、実際には仏教の教義すら知らないですよ」と言いますと、相手は「教義はわかりますよ。ご先祖様を大切にすることです」と返ってきました。私は違うだろうと思いながら何も答えることができませんでした。お釈迦様の説法がDVDで販売されているわけではないので、各時代のお坊さんがそれぞれに教義を解釈して庶民に説法をして、そして聞きかじりの庶民がそれを伝えてきました。これは考えてみれば壮大な伝言ゲームのように思います。おそらく本来の意図していた真意がどこにあるか分からないでしょう。私たちがわかっていると思っていることが実は根底から違っているということは世の中に意外と多いのかもしれない。そう考えますと JCI creed の一文である「That government should be of laws rather than of men」の精神はとても大切だと思います。まさに、仏教の教義を正しく知りたかったら坊さんの説法を聞くより般若心経を理解すべきだと思います。

さて、日本 JC の諸会議に行くとき「恒久的な世界平和の実現」「ポジティブ チェンジ」といった JC 創設者以来のメッセージをよく耳にします。そこでは「奉仕」「修練」というのは案外に重要視してないように感じました。そして熱心に教義を議論します。創設者の魂の様なものが無形によく残されている為か、その場の雰囲気がとても保存状態の良い般若心経のようでした。私は淡路 JC より日本 JC が上だとは思っておりませんが、意地になって坊さんの説法にこだわるのも良くないように感じました。

また、LOM として兵庫ブロック以外により大きな NOM とのコンタクトも大事に感じました。今話題の生物多様性が生態系を強くさせるように、組織も同じように異なる外部との交流が組織を強くしていくように思います。最後になりましたが、これからもよろしく願いいたします。

出 向 記 録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------------|----------|-----------------|
| 2010. 1. 22 | 国立京都国際会館 | 第1回委員会 |
| 2010. 1. 23 | 国立京都国際会館 | 「地域のデザイン」創造セミナー |
| 2010. 4. 24 | 生田会館 | 第4回委員会 |

公益社団法人 日本青年会議所説得力ある JAYCEE 確立委員会創造会議

委 員 横 山 仁 志



1年間日本JCに出向させていただきましたが、委員会や事業にはほとんど参加することが出来なく、メールでのやり取りだけになってしまいました。しかしながら、JAYCEEが自らと真摯に向き合い、己を律しながら人としてのあるべき姿を再認識して、日常生活の中で自らが実践していくことの重要性を改めて感じる事が出来ました。残り少ないJC生活ではありますが、このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、今後の様々な活動に役立てていきたいと思っております。1年間ありがと

うございました。

出 向 記 録

| 年 月 日 | 場 所 | 内 容 |
|-------------|-------------|--------|
| 2010. 1. 23 | 京都国際会議場（京都） | 1月度委員会 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推会議

議長 上村 雄二郎



兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議議長として出向させていただきました。担当した事業は、憲法タウンミーティング、参議院選挙に伴う公開討論会、領土領海問題に関する署名運動と非常に内容の濃いものでした。どちらかという私の不得意な分野でしたが、JC は新たな経験を積む素晴らしい機会を与えてくれるものだと改めて感じました。淡路 JC の看板を背負って十分な事が出来たか分かりませんが、兵庫ブロックにまた新たな仲間が出来た事は、私の今後にとって大きな財産となりました。ブロック出向に際しては、出田君、新家君、中村君という大変優秀なセクレタリーに支えられて、無事に成し遂げる事が出来たと、改めて感謝を申し上げます。最後に、このような大変貴重な経験をさせていただきました事、後藤理事長をはじめとする淡路 JC の皆様に感謝を申し上げ、出向報告とさせていただきます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|-------------|----------|---|
| 2009. 9. 29 | 姫路 | 第 1 回予定者役員会 |
| 10. 12 | 姫路 | 第 2 回予定者役員会 |
| 10. 25 | 姫路 | 第 1 回理事長専務理事予定者会議 |
| 11. 23 | ポートピアホテル | 第 1 回予定者合同委員長会議 |
| 2010. 1. 16 | 姫路駅前 | 第 1 回日本 JC 連携推進会議 領土領海問題 署名活動 |
| 1. 16 | 姫路 | 第 1 回正副・役員会議 |
| 2. 7 | ポートピアホテル | 臨時正副・役員会議 第 1 回会員会議所会議 第 2 回日本 JC 連携推進会議 第 1 回合同委員長会議 |
| 2. 8 | 宝塚 | 公式訪問 |
| 2. 15 | 明石 | 公式訪問 |
| 2. 16 | 淡路 | 公式訪問 |
| 2. 18 | 南但 | 公式訪問 |
| 2. 19 | 豊岡 | 公式訪問 |
| 2. 23 | 尼崎 | 公式訪問 |
| 2. 26 | 篠山 | 公式訪問 |
| 3. 1 | 加古川 | 公式訪問 |
| 3. 3 | 三木 | 公式訪問 |
| 3. 4 | 加西 | 公式訪問 |
| 3. 5 | 西脇 | 公式訪問 |
| 3. 6 | 小野加東 | 公式訪問 |

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|-------|-----------|-------------------------|
| 3. 8 | 西宮 | 公式訪問 |
| 3. 9 | 伊丹 | 公式訪問 |
| 3.16 | 美方 | 公式訪問 |
| 3.19 | 三田 | 公式訪問 |
| 3.21 | 人丸花壇（明石） | 第3回日本 JC 連携推進会議 |
| 3.23 | 神戸 | 議員懇話会 |
| 3.27 | 芦屋 | 公式訪問 |
| 3.28 | 赤穂 | 第2回正副・役員会 |
| 3.30 | 川西 | 公式訪問 |
| 4.10 | 芦屋商工会館 | 第4回日本 JC 連携推進会議 |
| 4.16 | 神戸 | 臨時正副・役員会 |
| 4.25 | 加古川 | 第2回会員会議所会議 |
| 5. 3 | 松方ホール（神戸） | 憲法タウンミーティング |
| 5.15 | サンライフ三木 | 第5回日本 JC 連携推進会議 |
| 5.27 | 神戸 | 会頭訪問 |
| 5.30 | 神戸 | 第3回正副・役員会 |
| 6. 3 | 中央区役所（神戸） | 第6回日本 JC 連携推進会議 |
| 6.21 | 垂水 | 公開討論会 |
| 6.27 | 丹波 | 第3回会員会議所会議 |
| 7.20 | 丹波 | 第4回正副・役員会 |
| 7.30 | 神戸 | こども県議会 |
| 8. 7 | 姫路 | 第4回会員会議所会議 |
| 8.28 | 丹波 | 兵庫ブロック会員大会 |
| 9. 7 | 神戸 | 知事との懇談会 |
| 9.26 | 神戸 | 第5回正副・役員会 |
| 10.16 | 淡路島観光ホテル | 第7回日本 JC 連携推進会議 |
| 10.23 | 豊岡 | 第5回会員会議所会議 |
| 11.21 | 神戸 | 第6回正副・役員会 第6回会員会議所会議 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進委員会

委員 向内 英光



本年度、兵庫ブロック協議会 日本 JC 連携推進会議に出向させて頂きました。普段の生活の中で、兵庫県ではあまり気に掛ける事のない領土領海問題や、普段の生活の中の身近にあってあまり気に掛けていない憲法などに多く触れる事が出来ました。

このような機会がなければ、触れる事のない事ばかりでしたが、本年の近隣諸国の動きを見ていますと、非常に大切かつ急を要する問題であることを改めて感じました。このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げますと共に、身近な方々へ領土領海問題や憲法の大切さを伝えて行きたいと考えます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|-----------|--------------------------------|
| 2009. 11. 23 | ポートピアホテル | 第 1 回予定者合同委員長会議 |
| 2010. 1. 16 | 姫路駅前 | 第 1 回日本 JC 連携推進会議 領土領海問題 署名活動 |
| 2. 7 | ポートピアホテル | 第 2 回日本 JC 連携推進会議 第 1 回合同委員長会議 |
| 3. 21 | 人丸花壇（明石） | 第 3 回日本 JC 連携推進会議 |
| 4. 10 | 芦屋商工会館 | 第 4 回日本 JC 連携推進会議 |
| 5. 3 | 松方ホール（神戸） | 憲法タウンミーティング |
| 5. 15 | サンライフ三木 | 第 5 回日本 JC 連携推進会議 |
| 6. 3 | 中央区役所（神戸） | 第 6 回日本 JC 連携推進会議 |
| 10. 16 | 淡路島観光ホテル | 第 7 回日本 JC 連携推進会議 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推会議

上村議長セクレタリー 出田 裕重



領土問題解決のための街頭署名活動に始まり、憲法タウンミーティング、参議院選挙公開討論会、そして兵庫県下の各地 LOM への公式訪問や各種会議などなど、一年間、上村議長のサポート役として従事させていただきました。議長をはじめとする会議のメンバーの方々、私たちを送り出していただいた LOM メンバーの方々、そして新家君と中村君の両セクレタリーにも感謝しています。セクレタリーという立場ではありませんでしたが、日本 JC や兵庫ブロックの運営体制にも少し触れることができたことは今後の JC 活動においても大きな財産となると思います。一年間本当にありがとうございました。

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進会議

上村議長セクレタリー 新家 春輝



本年度、上村議長のセクレタリーとして兵庫ブロックへ出向いたしました新家です。セクレタリーとしては初めてで3回目の出向でしたが、当然ですが先の2回とはまた違う形でブロックの勉強できました。公式訪問で兵庫県下の LOM に訪問し研修スクール時代に知った方がみんな JC 活動を頑張っている姿をみて刺激をいただきました。LOM 毎の特徴が公式訪問という場だからこそ凄く感じました。上村議長には大変お世話になりました。出田筆頭セクレタリー・中村セクレタリーと出向できてとても楽しかったです。一年間どうも有難う御座いました。

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進会議

上村議長セクレタリー 中村篤弘



本年度、上村議長のセクレタリーとして兵庫ブロックへ出向させて頂き、LOM では学ぶことのできない貴重な経験をし、スキルアップすることができたと感じております。中でも各LOM の同じ立場で出向されている方との友情を築くことが出来ました。セクレタリーとしての役割をどれだけ果たすことが出来たかわかりませんが、携わって下さったメンバーの皆さまが楽しんで頂けるよう、また上村議長が委員会をスムーズに進行出来るよう努めてまいりました。この一年を新たな1ページとし今後に繋げたいと考えております。本当に一年間ありがとうございました。

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

27 未来ビジョン会議

委員 齋藤 新太



本年度、兵庫ブロック協議会 27 未来ビジョン会議に出向させて頂きました。「子ども県議会」及び「ALL ONE'S MEETING」、
「知事との懇談会」の開催を行いました。他 LOM メンバーと友情を得、メンバーのスキルの高さを実感させられました。このような機会を与えてくださった後藤理事長に感謝申し上げます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|----------|--------------------|
| 2009. 11. 22 | ポートピアホテル | 第1回 27 未来ビジョン予定者会議 |
| 2010. 01. 13 | 神戸 | 第1回 27 未来ビジョン会議 |
| 2010. 02. 07 | 神戸 | 第2回 27 未来ビジョン会議 |
| 2010. 03. 07 | 宝塚 | 第3回 27 未来ビジョン会議 |
| 2010. 04. 10 | 丹波 | 第4回 27 未来ビジョン会議 |

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|------|----------------------------|
| 2010. 05. 18 | 小野加藤 | 第5回 27 未来ビジョン会議 |
| 2010. 06. 19 | 加古川 | 第6回 27 未来ビジョン会議 |
| 2010. 07. 09 | 神戸 | 27 未来ビジョン会議 第1回臨時会議 |
| 2010. 07. 30 | 神戸 | 第7回 27 未来ビジョン会議 |
| | | ALL ONE'S ミーティングと子ども県議会 開催 |
| 2010. 08. 17 | 神戸 | 27 未来ビジョン会議 第2回臨時会議 |
| 2010. 09. 07 | 神戸 | 第8回 27 未来ビジョン会議 |
| | | 知事との懇談会 開催 |
| 2010. 10. 09 | 芦屋 | 第9回 27 未来ビジョン会議 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

拡大推進会議

委員 沖田 和良



本年度、兵庫ブロック協議会 会員拡大推進会議に出向させて頂きました。他 LOM メンバーと会員拡大について語り合い、拡大目標達成に向け議論を重ねた経験は、LOM 全体の拡大推進に大きな力となり、拡大手法並びに LOM 拡大意識高揚へ繋がる大きな一歩となる経験の場でありました。このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|--------------------|----------------|
| 2009. 11. 22 | ポートピアホテル | 第1回会員拡大推進予定者会議 |
| 2008. 2. 07 | ポートピアホテル | 第1回会員拡大推進会議 |
| 3. 22 | 赤穂市立加里屋 まちづくり会館 | 第2回会員拡大推進会議 |
| 5. 08 | 東豊亭（西宮市） | 第3回会員拡大推進会議 |
| 7. 30 | 神戸センタープラザ西館 | 第4回会員拡大推進会議 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 原田 啓行



本年度、兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させて頂きました。LOM の担当委員会とブロックの委員会との事業内容にギャップを感じつつも、さまざまな人との係わり合いの中で、事業に対しての取り組み方などに触れることができ、自身のモチベーションを向上させることができました。

このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|----|----------------------|
| 2009. 11. 23 | | JC 運動発信予定者委員会 |
| 2010. 01. 23 | | 京都会議ブロックナイト設営 |
| 03. 20 | | JC 運動発信委員会 |
| 05. 22 | | JC 運動発信委員会 |
| 07. 10 | | 近畿地区会員大会大懇親会ブース出展 |
| 07. 17 | | JC 運動発信委員会 |
| 07. 24 | | サマーコンファレンスブロックナイト設営 |
| 11. 06 | | JCI 世界大会ジャパンナイトブース出展 |
| 11. 19 | | JC 運動発信委員会 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

委員 大畑 一也



本年度、兵庫ブロック協議会 財政特別委員会に出向させて頂きました。財政特別委員会では、ブロックで行われる事業の議案書に関する財政面での精査、また著作権などのコンプライアンスが遵守されているかを検討してまいりました。

兵庫ブロックの議案書を拝見する貴重な機会を頂き、また県内の JC メンバーと触れ合う機会を頂きました事に感謝いたします。ありがとうございました。

出向記録

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|---------------|-------------------|
| 2009. 11. 22 | ポートピアホテル | 第 1 回財政特別委員会予定者会議 |
| 2010. 01. 09 | 生田文化会館 | 第 1 回財政特別委員会会議 |
| 02. 07 | ポートピアホテル | 第 2 回財政特別委員会会議 |
| 03. 13 | 芦屋商工会館 | 第 3 回財政特別委員会会議 |
| 05. 22 | 戸井田とおる事務所 | 第 4 回財政特別委員会会議 |
| 07. 17 | JAみのり特産開発センター | 第 5 回財政特別委員会会議 |
| 09. 18 | 兵庫陶芸美術館 | 第 6 回財政特別委員会会議 |
| 11. 13 | 和田山ホテル | 第 7 回財政特別委員会会議 |

公益社団法人 日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会

JC 研修スクール委員会

委 員 川越 勇輔



本年度、兵庫ブロック協議会 JC 研修スクール委員会に出向させて頂きました。第 1 回研修事業では、歴代兵庫ブロック協議会会長のお話を聞き、JC 活動をする上での心構えや考え方など学ばせて頂きました。また第 2 回研修事業では雪山をいくつかの班に分かれて歩くことで、他 LOM のメンバーと共に修練ができ友情を育むことができました。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

出向記録

| 年月日 | 場 所 | 内 容 |
|--------------|--------------------|--|
| 2009. 11. 23 | ポートピアホテル | 第 1 回 JC 研修スクール予定者委員会 |
| 2010. 02. 07 | ポートピアホテル | 第 1 回 JC 研修スクール委員会 講師：阪本慶秀先輩、米倉稔雄先輩 |
| 02. 27 | 八高原 (パークホテル白樺館) | 第 2 回 JC 研修スクール委員会 ウィンターネイチャーゲーム (ストレートハイク) |
| 05. 22 | 加古川商工会議所 | 第 3 回 JC 研修スクール委員会 マインドマッピング トレーナー：谷井秀彰先輩 |
| 07. 03 | 尼崎商工会議所 | 第 4 回 JC 研修スクール委員会 ロバート議事法 |
| 09. 11 | 豊岡 (兵庫県立円山川公苑) | 第 5 回 JC 研修スクール委員会 カッターボート |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 研修スクール委員会

委員 柴田 大介



この度、兵庫ブロック協議会 JC 研修スクール委員会に出向させていただきました。他 LOM のメンバーと様々な事業を設営・運営をしていくなかで友情も芽生えました。自分自身も出向させて頂いたことは非常にスキルアップに繋がったと思います。一年間出向させて頂きまして本当にありがとうございました。

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 研修スクール委員会

委員 中田 勝文



2010 年度、社団法人淡路青年会議所 兵庫ブロック協議会 JC 研修スクール委員会 へ出向させていただきました。2月に八高原に行った時には、他 LOM のメンバーと協力しながら楽しく、雪山を歩くことができました。また9月には、豊岡でカッターボートを班ごとに分かれて漕ぎ、チームワークの大切さを痛感しました。さまざまな事業を通じ兵庫県の他 LOM の方々と仲良くさせてもらいました。今回このような機会を与えてくださって深く感謝しております。ありがとうございます。

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員大会運営委員会

委員 高津 知也



本年度、兵庫ブロック協議会 会員大会運営委員会に出向させて頂きました。関和委員長をはじめとする多くの LOM の委員会メンバー、そして鈴木実行委員長をはじめとする社団法人丹波青年会議所の皆様と会員大会を盛り上げる為に多くの議論を重ねました。そのことで、多くの事を学び、多くの友人を作ることが出来ました。このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

出向記録

| 年月日 | 場所 | 内容 |
|--------------|----------|------------------------|
| 2009. 11. 22 | ポートピアホテル | 丹波大会の件他 |
| 2010. 01. 30 | グリーンピア三木 | 丹波大会の件他 |
| 02. 07 | ポートピアホテル | 丹波大会の件他 |
| 03. 13 | 水道会館（豊岡） | 丹波大会の件他 |
| 04. 10 | 丹波の森公苑 | 丹波大会の件他 |
| 05. 15 | 尼崎商工会議所 | 丹波大会の件他 |
| 06. 11 | 神戸国際会館 | 丹波大会の件他 |
| 07. 03 | 丹波の森公苑 | 丹波大会の件他 |
| 07. 31 | 丹波の森公苑 | 丹波大会の件他 |
| 08. 20 | 丹波の森公苑 | 丹波大会の件他 |
| 08. 27 | 丹波の森公苑 | 丹波大会前日リハーサル |
| 08. 28 | 丹波の森公苑 | 第 43 回兵庫ブロック会員大会（丹波大会） |
| 11. 20 | 東天閣（神戸） | 丹波大会決算報告の件他 |

9. 監 事 報 告

監事 長尾 泰宏



後藤理事長をはじめとするメンバーの皆様、一年間本当にお疲れ様でした。予定していたすべての事業が遂行されたことに敬意を表したいと思います。

監事として各事業が目的に沿ってなされているか、予算の執行状況、社団法人として公の益につながっているか等々を見させていただきながら意見をさせていただく一年間でした。また第三者的立場で社団法人淡路青年会議所を見るよう心がけ、私自身が経験してきた中で感じたこと、思ったことを十分に伝えることを目標にしてきましたが、結果的には役不足の監事ではなかったかと反省をしております。

最後に「我々は社団法人淡路青年会議所のメンバーである」ということに自信と誇りをもって活動を続けて頂きますよう祈念申し上げ監事報告とさせていただきます。

監事 前川 肇



後藤理事長をはじめとするメンバーの皆様、一年間本当にお疲れ様でした。本年度、監事というお役目を頂き、皆様とは少し離れたところで一年間、社団法人淡路青年会議所とメンバーの皆様に関わらせて頂きました。本来の監事としての勤めを全う出来たかは定かでは御座いませんが私のJCとしての最終年度という事もあって、持論でありましたが次世代に繋げるという事を意識して一年間声を大にして発言をさせて頂きました。

発展・衰退、建設・破壊、拡大・縮小と過去・現在、そして未来も全ての事柄は人が成しえることだと確信しております。メンバーの皆様におかれましては先輩達が築き传承されてきた心をしっかりと受け止め後ろ向きになる事なく、豊かな淡路島の実現に向け日々邁進して頂きたいと思っております。

最後になりますが、メンバー皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2009 年度末会員数

正会員 60 名 特別会員 280 名 準会員 2 名

2. 2010 年度入会者

| 新入会者名 | 推 薦 者 | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 美摩 武臣 | 柳 弘一郎 | 池澄 泰彦 | 新家 春輝 |
| 三原 正行 | 出口 利一 | 吉井 崇行 | 新家 春輝 |
| 磯村 浩史 | 高津 知也 | 原田 啓行 | 沖田 和良 |
| 河井 義樹 | 大畑 一也 | 出口 利一 | 柳 弘一郎 |
| 法月 正義 | 向内 英光 | 沖田 和良 | 大畑 一也 |

3. 2010 年度会員数

正会員 60 名 特別会員 280 名

4. 2010 年度除名者

瀬田 正美

5. 2010 年度休会者

なし

6. 2010 年度物故会員

岡本 恵輔

7. 2010 年度末会員数

正会員 58 名 特別会員 279 名 準会員 3 名

8. 2009 年度卒業会員

濱田 好人 藤原 広規 前川 肇 才花 毅

9. 2010 年度役員選考委員

才花 毅 後藤 英範 畑野 信行 木原 慎陽
長尾 泰宏 柏木 敏孝 齋藤 新太

11. 役員名簿

| | | | | |
|----------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|
| 理事長 直前理事長 副理事長 | 後才木齋飛中畑大沖高出原向上柏横長前 | 藤花原藤松西野畑田津口田内村木山尾川 | 英 慎新孝仁信一和知利啓英雄敏仁泰 | 範毅陽太治志行也良也一行光二郎孝志宏肇 |
| 専務理事 理事 | | | | |
| 出向理事 | | | | |
| 監事 | | | | |

12. 出 向 一 覧 表

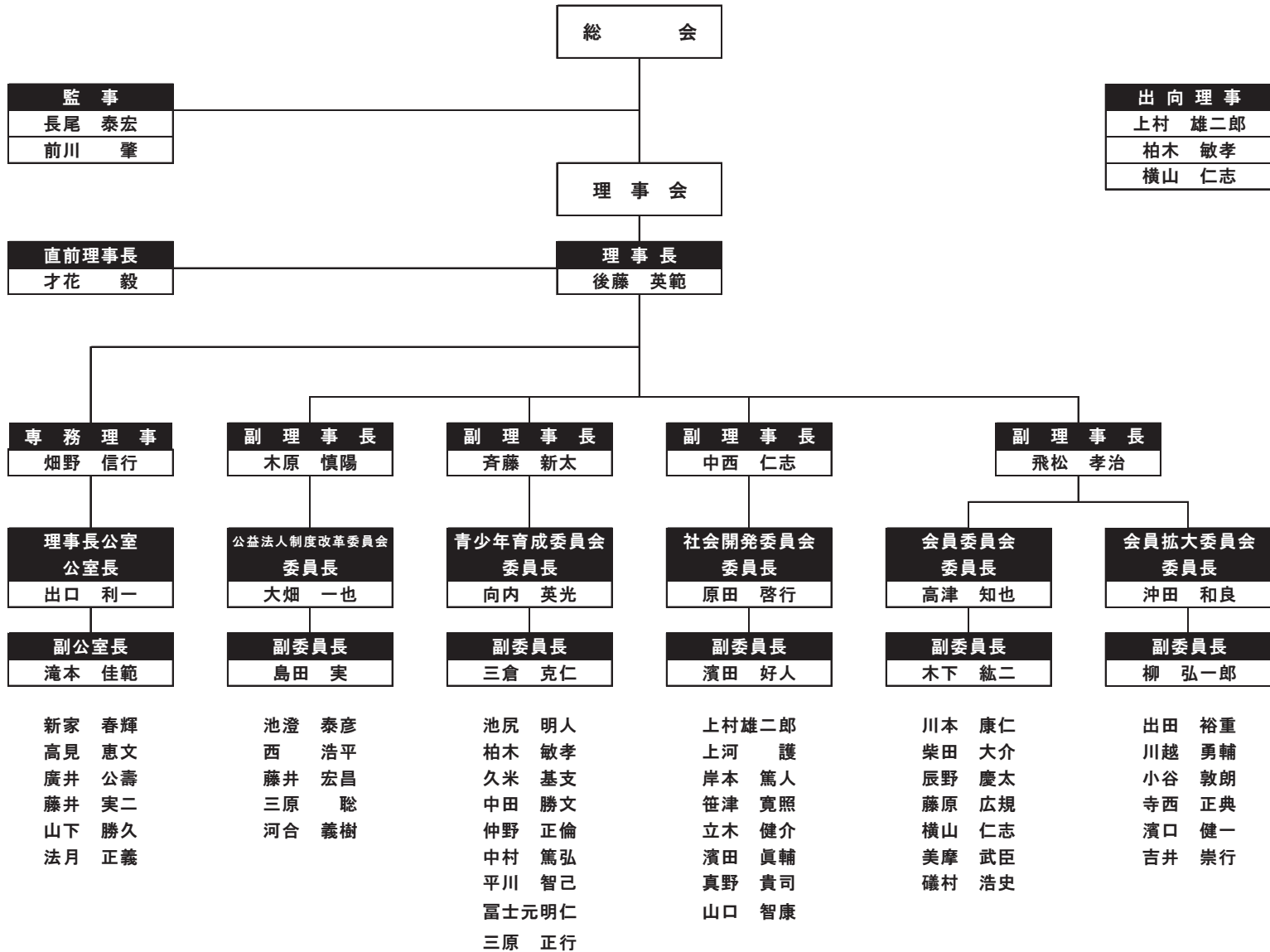
公益社団法人 日本青年会議所

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|--------------------|-----|-------|
| 「地域のたから」創造会議 | 委 員 | 柏木 敏孝 |
| 説得力ある JAYCEE 確立委員会 | 委 員 | 横山 仁志 |

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者予定者氏名 |
|--------------|--------|----------|
| 日本 JC 連携推進会議 | 議 長 | 上村 雄二郎 |
| | 委 員 | 向内 英光 |
| | セクレタリー | 出田 裕重 |
| | セクレタリー | 新家 春輝 |
| | セクレタリー | 中村 篤弘 |
| 27 未来ビジョン会議 | 委 員 | 齋藤 新太 |
| 会員拡大推進会議 | 委 員 | 沖田 和良 |
| JC 運動発信委員会 | 委 員 | 原田 啓行 |
| JC 研修スクール委員会 | 委 員 | 川越 勇輔 |
| | 委 員 | 柴田 大介 |
| | 委 員 | 中田 勝文 |
| 会員大会運営委員会 | 委 員 | 高津 知也 |

13. 組織及び委員会構成



14. 褒 章

褒章委員会

後藤 英範 理事長 才花 毅 直前理事長 長尾 泰宏 監事
 前川 肇 監事 上村 雄二郎 副理事長 木原 慎陽 副理事長
 齋藤 新太 副理事長 飛松 孝治 副理事長 中西 仁志 副理事長
 畑野 信行 専務理事

1. 最優秀委員会賞 社会開発委員会
2. 優秀委員会賞 公益法人制度改革委員会 会員拡大委員会
3. 最優秀事業賞 社会開発委員会
島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 ～あなたの声が淡路島を変える～
4. 優秀事業賞 青少年育成委員会
地域で育てる淡路島の宝！ ～淡路島教育発見フォーラム～
5. 最優秀会員賞 川越 勇輔 (会員拡大委員会)
6. 優秀会員賞 中田 勝文 (青少年育成委員会)
藤井 宏昌 (公益法人制度改革委員会)
7. 最優秀新会員賞 三原 正行 (青少年育成委員会)
8. 優秀新会員賞 法月 正義 (理事長公室)
9. 特別賞 理事長公室 会員委員会
10. 出向者功労賞 上村 雄二郎
12. 出向者奨励賞 出田 祐重 新家 春輝 中村 篤弘
13. 出向者出席奨励賞 大畑 一也 沖田 和良 高津 知也 齋藤 新太
原田 啓行 向内 英光 川越 勇輔 柴田 大介
中田 勝文
14. 例会出席奨励賞 後藤 英範 才花 毅 前川 肇 長尾 泰宏
木原 慎陽 齋藤 新太 飛松 孝治 中西 仁志
畑野 信行 出口 利一 新家 春輝 廣井 公壽
大畑 一也 池澄 泰彦 向内 英光 柏木 敏孝
中田 勝文 原田 啓行 上村 雄二郎 上河 護
高津 知也 横山 仁志 沖田 和良 川越 勇輔

24名

15. 決算報告

一般会計収支決算書

自 2010年 1月 1日

至 2010年 12月 31日

収入の部

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 2010年度 | 補正予算 | 修正予算 | 当初予算 | 修正予算との比較 | 備考 |
|------|------|---------|------------|------------|------------|------------|-----------|----------------------|
| 会費 | | | 9,740,000 | 9,740,000 | 9,820,000 | 10,300,000 | -80,000 | |
| | 会費 | | 9,740,000 | 9,740,000 | 9,820,000 | 10,300,000 | -80,000 | |
| | | 新会員会費 | 560,000 | 560,000 | 320,000 | 320,000 | 240,000 | 2名×160,000・3名×80,000 |
| | | 正会員会費 | 9,120,000 | 9,120,000 | 9,440,000 | 9,920,000 | -320,000 | 57名×¥160,000 |
| | | 特別会費 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | 0 | 2名×¥30,000 |
| 入会金 | | | 250,000 | 250,000 | 100,000 | 100,000 | 150,000 | |
| | 入会金 | | 250,000 | 250,000 | 100,000 | 100,000 | 150,000 | |
| | | 入会金 | 250,000 | 250,000 | 100,000 | 100,000 | 150,000 | 5名×¥50,000 |
| 事業収入 | | | 2,357,561 | 2,357,561 | 0 | 0 | 2,357,561 | |
| | 事業収入 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 登録料 | | 2,157,000 | 2,157,000 | 0 | 0 | 2,157,000 | |
| | | 登録料 | 2,157,000 | 2,157,000 | 0 | 0 | 2,157,000 | |
| | 雑収入 | | 200,561 | 200,561 | 0 | 0 | 200,561 | |
| 雑収入 | | 200,561 | 200,561 | 0 | 0 | 200,561 | | |
| 寄付金 | | | 80,000 | 80,000 | 0 | 0 | 80,000 | |
| | 寄付金 | | 80,000 | 80,000 | 0 | 0 | 80,000 | |
| | | 寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 一般寄付金 | 80,000 | 80,000 | 0 | 0 | 80,000 | |
| 繰入金 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 繰入金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 特別事業基金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 職員退職金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 事務局整備引当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | | | 23,218 | 23,218 | 3,000 | 3,000 | 20,218 | |
| | 雑収入 | | 23,218 | 23,218 | 3,000 | 3,000 | 20,218 | |
| | | 受取利息 | 1,843 | 1,843 | 3,000 | 3,000 | -1,157 | |
| | | 雑収入 | 21,375 | 21,375 | 0 | 0 | 21,375 | |
| 繰越金 | | | 2,704,925 | 2,704,925 | 2,704,925 | 198,831 | 0 | |
| | 繰越金 | | 2,704,925 | 2,704,925 | 2,704,925 | 198,831 | 0 | |
| | | 繰越金 | 2,506,094 | 2,506,094 | 2,506,094 | 0 | 0 | |
| | | 職員退職金 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| | | 事務局整備引当 | 178,831 | 178,831 | 178,831 | 178,831 | 0 | |
| 合計 | | | 15,155,704 | 15,155,704 | 12,627,925 | 10,601,831 | 2,527,779 | |

支出の部

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 2010年度 | 補正予算 | 修正予算 | 当初予算 | 修正予算との比較 | 備 考 |
|------|------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------------------|------------------------------|
| 法人費 | | | 4,743,880 | 4,743,880 | 5,163,395 | 4,666,600 | -419,515 | |
| | 会議費 | | 252,000 | 252,000 | 272,000 | 272,000 | -20,000 | |
| | | 総会費 | 0 | 0 | 20,000 | 20,000 | -20,000 | |
| | | 理事会費 | 252,000 | 252,000 | 252,000 | 252,000 | 0 | 21000円/回*12回 |
| | 人件費 | | 1,018,500 | 1,018,500 | 1,110,000 | 1,110,000 | -91,500 | |
| | | 給料 | 902,000 | 902,000 | 960,000 | 960,000 | -58,000 | |
| | | 諸手当 | 116,500 | 116,500 | 150,000 | 150,000 | -33,500 | 交通費他 |
| | 渉外費 | | 221,780 | 221,780 | 200,000 | 100,000 | 21,780 | |
| | | 渉外費 | 221,780 | 221,780 | 200,000 | 100,000 | 21,780 | 褒章100,000+各種登録78,000 |
| | 慶弔費 | | 68,445 | 68,445 | 200,000 | 100,000 | -131,555 | |
| | | 慶弔費 | 68,445 | 68,445 | 200,000 | 100,000 | -131,555 | |
| | 事務費 | | 2,172,027 | 2,172,027 | 2,390,000 | 2,010,080 | -217,973 | |
| | | 印刷費 | 50,746 | 50,746 | 50,000 | 50,000 | 746 | |
| | | 消耗品費 | 154,692 | 154,692 | 200,000 | 150,000 | -45,308 | コピー用紙・トナー他 |
| | | 通信費 | 463,036 | 463,036 | 520,000 | 450,000 | -56,964 | 電話代、JCT ⁺ 送料等 |
| | | 賃貸料 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | 1,020,000 | 0 | ¥85,000×12ヶ月 |
| | | 光熱費 | 203,093 | 203,093 | 250,000 | 250,000 | -46,907 | |
| | | 什器備品費 | 180,000 | 180,000 | 180,000 | 0 | 0 | 事務局パソコン購入（3月購入） |
| | | 修理費 | 0 | 0 | 50,000 | 20,000 | -50,000 | |
| | | 雑費 | 100,460 | 100,460 | 120,000 | 70,080 | -19,540 | 新聞代等 |
| | 租税公課 | | 20,418 | 20,418 | 25,000 | 25,000 | -4,582 | |
| | | 租税公課 | 20,418 | 20,418 | 25,000 | 25,000 | -4,582 | 印紙代等 |
| | 負担金 | | 990,710 | 990,710 | 966,395 | 1,049,520 | 24,315 | |
| | | JCI会費 | 79,360 | 79,360 | 75,520 | 75,520 | 3,840 | ¥1,280×62名 |
| | | 日本JC会費 | 347,500 | 347,500 | 340,000 | 380,000 | 7,500 | ¥45,000+¥5,000×59名+¥2,500×3名 |
| | | 国際協力資金 | 113,150 | 113,150 | 107,675 | 116,800 | 5,475 | ¥5×365日×62名 |
| | | 近畿地区会費 | 108,200 | 108,200 | 108,200 | 117,200 | 0 | ¥2,000+¥1,800×59名 |
| 兵ブ会費 | | 342,500 | 342,500 | 335,000 | 360,000 | 7,500 | ¥40,000+¥5,000×59名+¥2,500×3名 | |

支出の部

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 決算額 | 補正予算 | 修正予算 | 当初予算 | 修正予算との比較 | 備 考 | |
|--------|--------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|-------------|
| 事業費 | | | 7,051,228 | 7,051,228 | 5,032,000 | 5,032,000 | 2,019,228 | | |
| | 理事長 公室 | | 527,766 | 527,766 | 441,600 | 441,600 | 86,166 | | |
| | | | 527,766 | 527,766 | 441,600 | 441,600 | 86,166 | | |
| | 公益法人 制度改革 | | 513,894 | 513,894 | 517,800 | 517,800 | -3,906 | | |
| | | | 513,894 | 513,894 | 517,800 | 517,800 | -3,906 | | |
| | 青少年 育成 | | 1,269,703 | 1,269,703 | 1,349,000 | 1,349,000 | -79,297 | | |
| | | | 1,269,703 | 1,269,703 | 1,349,000 | 1,349,000 | -79,297 | | |
| | 社会開発 | | 1,686,500 | 1,686,500 | 1,702,600 | 1,702,600 | -16,100 | | |
| | | | 1,686,500 | 1,686,500 | 1,702,600 | 1,702,600 | -16,100 | | |
| | 会 員 | | 2,593,143 | 2,593,143 | 546,000 | 546,000 | 2,047,143 | | |
| | | | 2,593,143 | 2,593,143 | 546,000 | 546,000 | 2,047,143 | | |
| | 会員拡大 | | 460,222 | 460,222 | 475,000 | 475,000 | -14,778 | | |
| | | 460,222 | 460,222 | 475,000 | 475,000 | -14,778 | | | |
| 予備費 | | | 0 | 0 | 1,392,530 | 0 | -1,392,530 | | |
| | 予備費 | | 0 | 0 | 1,392,530 | 0 | -1,392,530 | | |
| | | 予備費 | | 0 | 0 | 1,392,530 | 0 | -1,392,530 | |
| 繰出金 | | | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | 特別事業基金に拠出 | |
| | 繰出金 | | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | | |
| | | 繰出金 | | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0 | |
| その他の支出 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 敷金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 敷金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 固定資産 購入支出 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 什器備品 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 繰越金 | | | 2,860,596 | 2,860,596 | 540,000 | 198,831 | 2,320,596 | | |
| | 繰越金 | | 2,860,596 | 2,860,596 | 540,000 | 198,831 | 2,320,596 | | |
| | | 繰越金 | | 2,320,596 | 2,320,596 | 0 | 0 | 2,320,596 | |
| | | 職員退職金 | | 40,000 | 40,000 | 40,000 | 20,000 | 0 | |
| | | 事務局整備引当金 | | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 178,831 | 0 | 事務局移転の可能性考慮 |
| 合 計 | | 15,155,704 | 15,155,704 | 12,627,925 | 9,897,431 | 2,527,779 | | | |

2010年度 貸借対照表

2010年12月31日現在

単位：円

| 資産の部 | 科 目 | 金 額 | 負債の部 | 科 目 | 金 額 |
|---------|-----------|-----------|------------|------|-----------|
| | 現金・預金 | 7,092,016 | | | |
| 敷 金 | 300,000 | 負 債 合 計 | | 0 | |
| 備 品 | 1,477,610 | | | | |
| | | | 正味財産の部 | 正味財産 | 8,869,626 |
| 資 産 合 計 | | 8,869,626 | 負債及び正味財産合計 | | 8,869,626 |

2010 年度 正味財産増減計算書

自 2010 年 1 月 1 日

至 2010 年 12 月 31 日

収入の部

単位：円

| 款 | 項 | 決算額 |
|-------|-----------------|-----------|
| 資産増加額 | | 3,601,928 |
| | 次年度繰越金 | 2,860,596 |
| | 敷 金 | 0 |
| | 備品増加額 | 240,000 |
| | 特別事業基金（特別会計）増加額 | 501,332 |
| 負債減少額 | | 0 |
| | 合 計 | 3,601,928 |

支出の部

単位：円

| 款 | 項 | 決算額 |
|-------|-----------------|-----------|
| 資産減少額 | | 2,944,925 |
| | 前年度繰越金 | 2,704,925 |
| | 備品減少額 | 240,000 |
| | 特別事業基金（特別会計）減少額 | 0 |
| 負債増加額 | | 0 |
| | 合 計 | 2,944,925 |

| 科 目 | 決算額 |
|-----------|-----------|
| 当期正味財産増加額 | 657,003 |
| 前期繰越正味財産額 | 8,212,623 |
| 末期正味財産合計額 | 8,869,626 |

2010 年度 収支決算総括表

自 2010 年 1 月 1 日

至 2010 年 12 月 31 日

収入の部

単位：円

| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 特別事業基金 |
|---------|------------|------------|-----------|
| 会 費 | 9,740,000 | 9,740,000 | 0 |
| 入 会 金 | 250,000 | 250,000 | 0 |
| 事 業 収 入 | 2,357,561 | 2,357,561 | 0 |
| 寄 付 金 | 80,000 | 80,000 | 0 |
| 繰 入 金 | 500,000 | 0 | 500,000 |
| 雑 収 入 | 24,550 | 23,218 | 1,332 |
| 繰 越 金 | 6,425,013 | 2,704,925 | 3,720,088 |
| 合 計 | 19,377,124 | 15,155,704 | 4,221,420 |

支出の部

| 科 目 | 合 計 | 一般会計 | 特別事業基金 |
|-------|------------|------------|-----------|
| 法 人 費 | 4,743,880 | 4,743,880 | 0 |
| 事 業 費 | 7,051,228 | 7,051,228 | 0 |
| 繰 出 金 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| その他支出 | 0 | 0 | 0 |
| 繰 越 金 | 7,082,016 | 2,860,596 | 4,221,420 |
| 合 計 | 19,377,124 | 15,155,704 | 4,221,420 |

2010 年度 事業収支明細一覧

自 2010 年 1 月 1 日

至 2010 年 12 月 31 日

単位：円

| 目 | 事業名 | 合計 | 金額 | 人数 | 小計 | 返金 | 担当委員会 | 備考 |
|-------|-------------|-----------|--------|-----|-----------|----|-------|------|
| 登録料 | 新年会 | 1,560,000 | 15,000 | 104 | 1,560,000 | 0 | 会員委員会 | |
| | 兵ブ公式訪問役員懇談会 | 87,000 | 1,500 | 58 | 87,000 | 0 | 理事長公室 | |
| | 淡路島まつり踊り大会 | 258,000 | 6,000 | 43 | 258,000 | 0 | 会員委員会 | |
| | 淡路島まつり踊り大会 | 132,000 | 3,000 | 44 | 132,000 | 0 | 会員委員会 | |
| | 10月例会 | 120,000 | 3,000 | 40 | 120,000 | 0 | 会員委員会 | |
| | | | | | | | | |
| 小計 | | | | | 2,157,000 | 0 | | |
| 返金後金額 | | 2,157,000 | | | | | | |
| 雑収入 | 新年会 | 190,000 | | | | 0 | 会員委員会 | お祝い金 |
| | 兵庫ブロック協議会 | 10,000 | | | | 0 | 理事長公室 | |
| | 兵庫ブロック懇親会 | 561 | | | | 0 | 理事長公室 | |
| | | | | | | | | |
| 小計 | | 200,561 | | | | | | |
| 合計 | | 2,357,561 | | | | | | |

2010 年度 助成金・寄付金収入明細一覧

自 2010 年 1 月 1 日
至 2010 年 12 月 31 日

単位：円

| 項 | 目 | 事業名 | 金額 | 金額 | 人数 | 小計 | 返金 | 担当委員会 | 備考 |
|------|-------|-----|--------|----|----|----|----|-------|-----|
| 事業収入 | 寄付金 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 補助金 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 助成金 | | | | | | | | |
| | 小計 | | 0 | | | | | | |
| | 広告料 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | 0 | | | | | | |
| 寄付金 | 寄付金 | | 0 | | | | | | |
| | 一般寄付金 | | 80,000 | | | | | | OB会 |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | 80,000 | | | | | | |
| | 合計 | | 80,000 | | | | | | |

2010 年度 財産目録

2010 年 12 月 31 日現在

資産の部

単位：円

| 科 目 | | 数 量 | 金 額 | 摘 要 | |
|------|-------|---------|-----------|-----------|--|
| 流動資産 | 現金・預金 | 合 計 | | 7,092,016 | |
| | | 現金 | | 0 | |
| | | 普通預金 | | 384,246 | No.0454865 |
| | | 普通預金 | | 2,276,350 | No.0300206 |
| | | 普通預金 | | 4,221,420 | No.0749012 |
| | | 当座預金 | | 200,000 | No.0009829 |
| | | 有価証券 | | 10,000 | No.21942 |
| 固定資産 | 敷 金 | 合 計 | | 300,000 | |
| | 備 品 | 合 計 | | 1,477,610 | |
| | | エアコン | 2 台 | 510,000 | 2003年度購入分 |
| | | パーティション | 1 式 | 271,950 | 2003年度卒業生寄贈(※会計処理に関する既定 第23条並びに第24条(4)により固定資産算入) |
| | | ファックス | 1 台 | 202,160 | 2006年度購入分 |
| | | コピー機 | 1 台 | 493,500 | 2009年度購入分 |
| 合 計 | | | 8,869,626 | | |

負債の部

| | |
|-----|---|
| 合 計 | 0 |
|-----|---|

正味資産の部

| | |
|-----|-----------|
| 合 計 | 8,869,626 |
|-----|-----------|

2010年度 物品目録

2010年12月31日現在

単位：円

| 物品名称 | 数量 | 金額 | 摘要 | 物品名称 | 数量 | 金額 | 摘要 |
|------------|-----|---------|-------------|------------|------|-----------|-------------|
| 保管庫・スチール書庫 | 1個 | 75,000 | | ハンドマイク | 1台 | 20,611 | 2000年度購入分 |
| 冷蔵庫 | 1台 | 15,000 | | 国旗 | 1旗 | 7,350 | 2000年度購入分 |
| 手提金庫 | 1個 | 1,400 | | プリンタ | 1台 | | 2000年度卒業生寄贈 |
| 国旗 | 3旗 | 11,575 | 三脚1セット | スキャナー | 1台 | | 2000年度卒業生寄贈 |
| J C 旗 | 4旗 | 20,000 | 三脚2セット | デジタルカメラ | 1台 | | 2000年度卒業生寄贈 |
| 電話機 | 3台 | 144,200 | 1995年度購入分 | パソコン | 1台 | 155,820 | 2001年度購入分 |
| デスクコーナー | 1台 | 75,190 | 1996年度購入分 | ビデオカメラ | 1台 | | 2001年度卒業生寄贈 |
| デスク | 1台 | 30,282 | 1996年度購入分 | エアコン | 1台 | | 2002年度卒業生寄贈 |
| デスク | 1台 | 95,069 | 1996年度購入分 | エアコン | 1台 | | 某氏寄贈 |
| デスク | 1台 | 82,297 | 1996年度購入分 | 会議テーブル | 15台 | 155,000 | 2003年度購入分 |
| デスク | 1台 | 95,790 | 1996年度購入分 | パイプ椅子 | 20脚 | 29,200 | 2003年度購入分 |
| パソコンラック | 2台 | 16,171 | 1996年度購入分 | 掃除機 | 1台 | 13,440 | 2003年度購入分 |
| チェア | 1脚 | 28,634 | 1996年度購入分 | ファンヒーター | 2台 | 51,600 | 2003年度購入分 |
| チェア | 2脚 | 43,878 | 1996年度購入分 | 玄関表札 | 1基 | 100,000 | 2003年度卒業生寄贈 |
| チェア | 1脚 | 20,600 | 1996年度購入分 | パソコン | 1台 | | 2004年度卒業生寄贈 |
| パーテーション | 1脚 | 133,200 | 1996年度購入分 | パソコン | 1台 | | 2004年度卒業生寄贈 |
| ウォールロッカー | 1台 | 37,389 | 1996年度購入分 | コピー機(中古) | 1台 | 102,900 | 2005年度購入分 |
| 両開き保管庫 | 3台 | 81,267 | 1996年度購入分 | スチールデスク | 3台 | | 某氏寄贈 |
| 引違いガラス保管庫 | 3台 | 100,425 | 1996年度購入分 | ゴングマーク | 1個 | 10,000 | 2006年度購入分 |
| 深型保管庫 | 3台 | 79,413 | 1996年度購入分 | 卓上旗セット | 1式 | 7,840 | 2006年度購入分 |
| 電話台 | 1台 | 12,669 | 1996年度購入分 | J C I プレート | 1基 | 19,950 | 2006年度卒業生寄贈 |
| 会議テーブル | 2台 | 68,392 | 1996年度購入分 | パソコンデスクトップ | 1台 | 82,950 | 2006年度卒業生寄贈 |
| 会議椅子 | 12脚 | 97,644 | 1996年度購入分 | モデム・ルーター | 1式 | 19,425 | 2006年度卒業生寄贈 |
| ホワイトボード | 1枚 | 17,325 | 1996年度購入分 | J C I 旗 | 1旗 | 20,000 | 2006年度卒業生寄贈 |
| 月間予定表 | 1枚 | 15,398 | 1996年度購入分 | 耐火金庫 | 1台 | 81,900 | 2006年度卒業生寄贈 |
| 月間掲示板 | 1枚 | 31,734 | 1996年度購入分 | 自立式スクリーン | 1台 | 84,000 | 2006年度卒業生寄贈 |
| パソコン・周辺機器 | 1式 | | | プロジェクター | 1台 | 159,500 | 2007年度卒業生寄贈 |
| トランシパー | 7台 | | 某氏寄贈 | タイムレコーダー | 1台 | 26,800 | 2008年度購入分 |
| プリンタ | 1台 | | 1997年度卒業生寄贈 | USB | 256本 | 151,040 | 2008年度購入分※ |
| パソコン | 1台 | | 1998年度卒業生寄贈 | プリンタ | 1台 | 60,000 | 2010年度卒業生寄贈 |
| ルーター | 1台 | 47,040 | 1999年度購入分 | J C I 旗 | 1旗 | 20,000 | 2010年度購入分 |
| パソコン・周辺機器 | 1式 | | 1999年度卒業生寄贈 | パソコンデスクトップ | 1台 | 180,000 | 2010年度購入分 |
| 合計 | | | | | | 3,036,308 | |

※2008年度事業 淡路の未来を切り拓け！～目指せ！選挙投票率日本一の淡路島～購入余剰分（会計処理に関する規定第27条により物品算入）

2010年度 特別事業基金収支決算書

単位：円

| 収入の部 | | | | | 支出の部 | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|--------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 科 目 | 決算 | 修正予算 | 当初予算 | 当初予算 との比較 | 科 目 | 修正予算 | 当初予算 | 当初予算 との比較 |
| 2009年度繰越金 | 3,720,088 | 3,720,088 | 3,717,527 | 2,561 | 2010年度繰出金 | 0 | 0 | 0 |
| 2010年度繰入金 | 500,000 | 500,000 | 0 | 500,000 | 2011年度繰越金 | 4,220,088 | 3,717,527 | 502,561 |
| 雑収入 | 1,332 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 4,221,420 | 4,220,088 | 3,717,527 | 502,561 | 合 計 | 4,220,088 | 3,717,527 | 502,561 |

16. 監 査 報 告

2011年1月5日

2010年度 社団法人 淡路青年会議所

理 事 長 後藤 英範 殿

社団法人淡路青年会議所の2010年度（2010年度1月1日から同年12月31日まで）決算報告書並びに事業について、一般会計収支決算書、特別会計決算書、財産目録、賃借対照表、正味財産増減計算書並びに事業報告書を監査いたしましたところ適正であることを認めます。

監 事 長尾 泰宏

監 事 前川 肇

17. 資 料

1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

17. 資料 事業写真

新年祈願 2010年01月06日（水）



1月例会～進化への第一歩～・第71回通常総会 2010年01月13日（水）



17. 資料 事業写真

新年会 2010年01月13日 (水)



2月例会 ～淡路JCの決断 Vol.1～2010年02月10日 (水)



17. 資料 事業写真

公式訪問役員懇談会 2010年02月16日（火）



飛躍する会 2010年02月18日（木）



17. 資料 事業写真

3月例会 ～新たな未来へ導くために～ 2010年03月10日（水）



島民討議会 調印式並びに記者発表 2010年03月24日（水）



17. 資料 事業写真

4 月例会 ～淡路 JC 三番勝負 結束力?1 委員会はどこだ!～

2010 年 04 月 16 日 (金)



島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 第 1 回実行委員会

2010 年 04 月 22 日 (木)



17. 資料 事業写真

第 16 回わんぱく相撲淡路場所 2010 年 05 月 09 日 (日)



5 月例会 ～明日の淡路 JC は今日の Jaycee が創る～

2010 年 05 月 12 日 (水)



17. 資料 事業写真

淡路島フィルムオフィス第1回理事会並びに第4回通常総会

2010年06月02日（水）



島民討議会 記者発表 2010年06月04日（金）



17. 資料 事業写真

6 月例会 ～淡路 JC の決断 Vol. 2～ 2010 年 06 月 09 日 (水)



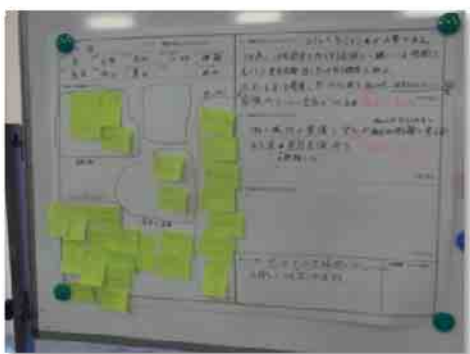
7 月例会～想いを込めた 1 票を～2010 年 07 月 14 日 (水)



17. 資料 事業写真

島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 ～あなたの声が淡路島を変える～

初日 2010年07月17日（土）



2日目 2010年07月18日（日）



17. 資料 事業写真

第 63 回淡路島まつり踊り大会 2010 年 07 月 31 日 (土)



8 月例会 ～志の継承～2010 年 08 月 11 日 (水)



17. 資料 事業写真

第 54 回臨時総会 2010 年 08 月 11 日 (水)



9 月例会～強い組織づくり～2010 年 09 月 08 日 (水)



17. 資料 事業写真

島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010 報告書提出 2010年10月11日（月）



地域で育てる淡路島の宝！～淡路島教育発見フォーラム～

2010年10月21日（木）



17. 資料 事業写真

10 月例会 ～家族との楽しいひと時を！～2010 年 10 月 23 日（土）



11 月例会 ～進化を遂げた淡路 JC～ 2010 年 11 月 10 日（水）



17. 資料 事業写真

淡路 JC の決断 ～決断！淡路 JC の未来の姿～ 2010 年 11 月 25 日（木）



12 月例会～祝！旅立ち！～2010 年 12 月 08 日（水）



17. 資料 事業写真

第 72 回通常総会 2010 年 12 月 08 日 (水)



今できること 淡路JCの思い

今年度は、私が掲げた「淡路JC Standard」淡路Jayceeの志が地域の明日を築く」をスローガンとし、10年後、20年後の淡路島はどうあるべきかをしっかりと考えることの大切さを訴えて参りました。

そして「未来創造会議」という形で「島民一人ひとりがこれからの淡路島を見据え、他人任せではなく、自らが積極的にまちづくりにかわる意識を生み出すこと」を目的に事業を行いました。その結果「もっと淡路らしく」というキーワードが得られました。そして、その結果をケーブルテレビなどのメディアを通じて市民に発信させていたなきました。また、8月には「つなごう君のゆく未来へinいえしまキャンプ」を1泊2日で開催し、小学生、中学生、高校生に対して、責任感、自己責任感、そして、人を思いやり心ある子供の育成を行う事業を行いました。活動を通じて感じたのですが、得

淡路青年会議所 才花毅理事長



責任感のある子供の育成として、8月に行った「つなごう君のゆく未来へinいえしまキャンプ」で

「もっと淡路らしく」を大切に

に対して「夢」を持って行動することの大切さを実感しました。淡路島の将来像やこれからの自分のあり方を強く議論できるものと思っていました。意外と明確な「夢」や「ビジョン」を語れる方が少ないことに気づきました。社会情勢が非常に厳しいため、現実を直視する方が非常に

多いとも思いました。地域の明日がどうあるべきかを考えると、目標を明確に定め、それに向かって邁進することが非常に重要であると思えます。私たちの住む淡路島は資源に富んだ素晴らしい島であり、誇りを持つべきであること。そして、祭りなどを通じて地域の世代間のかかわりを持つべきことを、これからも大切にしていきたいと思います。

「今できることから始めませんか?」。淡路青年会議所(淡路JC)は、このようなタイトルでCMをつくり、島内のケーブルテレビなどに流した。人口減少の加速が懸念されるなか、淡路JCのメンバー自身、「私が今できること」を随意掲載します。

「今できること」から始めませんか?。淡路青年会議所(淡路JC)は、このようなタイトルでCMをつくり、島内のケーブルテレビなどに流した。人口減少の加速が懸念されるなか、淡路JCのメンバー自身、「私が今できること」を随意掲載します。

淡路

今できること 淡路JICの思い

本年度は「Make evolution!」我々の進化が「まちを進化させる」をスローガンとして、淡路島に住む方々に地域という枠組みの大切さや必要性について感じていただくよう事業展開をしてみたいと考えています。

平成18年、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ることを目的に地方分権改革推進法が成立しました。地方自治の基本は住民自治であり、住民自らが自分たちの住む地域のことを考え、自らの手で治めていくことです。そのためには、市民のまちづくりに対する意識の高揚が必要であり、「他人任せ」、「無関心」、「無責任」という意識が蔓延している時代だからこそ、地域に住む市民がかかわる市民主導のまちづくりが求められています。しかし、市民が地域の問題や課題を行政に発信する場はあっても参加者は偏っており、大多数の市民は置き去りになってしまっています。そこで我々青年会議所の立場を生かし、参加者を

淡路青年会議所 後藤英範理事長



地域の問題を議論し合う機会を

特定せず、地域や行政が抱えている問題点などを積極的に議論し合う機会をつくりたいと考えています。そして、市民自身がまちづくりについて考えることの意義を伝え、理想とする市民主導のまちづくりを実現してみたいと考えています。

一つの時代でも元気いっぱいの子供の存在は、まちに活力を与えてくれます。子供は成長過程において、親や友達、そして地域の大人などといった多くの人と出会い、ふれあいながら育ちます。そこで子供はさまざまなことを学び、社会性や協調性を身に付け、思いやりや信頼する心を培っていきます。しかし、子供の成長過程において欠

の大人が子供たちとともに協力し、努力し、一つの目標を達成する感動を味わうことが必要であると考えています。大人と子供の絆が地域の絆を生み出し、その絆がよりよい地域を構築するものと確信しております。

道州制という新たな枠組みが叫ばれている中、それぞれの地域はその生き残り争いをかけ、現在よりはるかに厳しい競争時代に突入すると感じます。私たちに今求められているのは、私たちをばくんでくれる郷土の生き残りとの個々の本当の意味での幸福の実現に向け、自分が郷土に対して何ができるのかを自問し、実際にその郷土のために何を成していくかであると考えています。私自身もそのことを胸に行動してまいります。

※ 次回は2月23日に掲載します。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- 7856-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本館ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- 7670-0021
- 姫路市本町119
- 姫路不審ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 通信部
- 加古川 079(422)3345
- 豊岡支局
- 7688-0025
- 豊岡市本町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(20)2338
- 通信部
- 香住 0796(36)4499
- 神戸総局
- 7650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(251)1771
- FAX 078(251)3001
- 阪神支局
- 7662-0010
- 西宮市六通町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 尼崎 06(642)2545
-

淡路

今できること 淡路JCCの思い

この島の住民として、3児の父としてこの島のために「今できること」は何かを考える良い機会を頂きました。私はこの淡路島に生を受け、旧西淡町松原で幼少期を過ごし、中学も高校も旧三原郡内の学校で教育を受けました。よって淡路というくくりでのさまざまな考え方はあまりしなかったが、ざんねん学校を卒業し、淡路島を出て職に就き、その時初めて淡路というくくりでの考え方、そして感じ方ができるようになったと記憶します。私の住む南あわじ市松原では、春を迎えるころには各地で布団たんじりがまちを練り歩き、桜の花びらが舞い散る中、ひときりその存在感が風物詩となっています。私も春はたんじりが当たり前となり、毎年その時期は、幼少時代の思い出話をさかんに、たんじり唄を歌い、まちを練り歩きます。子供のころは、自転車で見えた当たり前の景色も、今大人になって見れば全く別の景色に見えたり、小さな花のつぼみがやたらリアルに目に映ったり、徒歩

淡路青年会議所 畑野信行専務理事



子供を地域で育てる志が大切

大切なことではないでしょうか。日本という視点での大きな見解を持つことはもちろん大切なことではありますが、まずはおのおのローカルなコミュニティを見つめ直すことから始めるべきではないでしょうか。地域が活性化すれば、おのずと日本が活性化していきます。そんなことは分かっているのですが、分かっているだけではいけないのが現状であるが故、腰を据えて取り組むことが必要不可欠であると感じる次第でございます。子供たちが安心して暮らせるまちをつくり、次代へと継承していくことがわれわれ大人の義務であります。私は常にそれを思い考え、日々を過ごしております。われわれに今できること、小さなことから明日へ、そして輝かしい未来のために。

だから見えるものを発見したりと、春は私にとってそんな季節であります。大人になって感じたことですが、子供たちが元気にまちを走り回る姿や、公園で遊ぶ姿をあまり見かけなくなつたように感じます。これは、勤だつたり溜い事を多く抱える子供たちが、大人並みに忙しくなつたこともあるで

しょう。私が子供のころは、近所のおじさんやおばさんとさまさまな会話を交わしていたように思います。他愛もない会話一つでも暖かさを感じたものです。しかし今は地域のコミュニティも少なくなつてはありますが、小さく、少なくなつてはいるように感じます。先に述べました春祭りもそうですが、

まちをあげての行事やお祭り、時代は移り変わっても、長きに渡って守られてきた変わることのなかつたものが、今寂しくなつてきているように感じます。われわれ大人が積極的に地域の子供たちにかかわっていくこと、そして次代を担う子供たちを地域全体で育てていこうと言つた気持ち、志が今最

-
 ニュースのご連絡は
瀬本支局
 〒656-0008
 瀬本南栄町12-2-15
 (本町ビル4階)
 0799(22)1450
 FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
 〒678-0921
 姫路市緑町119
 姫路千代ビル内
 079(224)5551
 FAX 079(228)3181
- 豊岡支局**
 〒668-0025
 豊岡市幸町13-20
 0786(22)6151
 FAX 0786(29)2338
- 神戸総局**
 〒650-0015
 神戸市中央区
 多聞町4-1-5
 078(251)1771
 FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
 〒662-0918
 西宮市六通寺町8-11
 0798(33)5881
 FAX 0798(37)2477
- 通信部**
 〒662-0918
 西宮市六通寺町8-11
 0798(33)5881
 FAX 0798(37)2477
- 通信部**
 〒662-0918
 西宮市六通寺町8-11
 0798(33)5881
 FAX 0798(37)2477
-

淡路

今できること 淡路JICの思い

昔の話ですが…。豊野松原にある海の家でアルバイトをしていたとき、人命救助をしたことがあります。浜辺をぶらぶらしていると、海岸から15分ほどの沖合で、女の子が1人用のゴムボートに乗り、男の子が泳ぎながらボートを揺らして遊んでいるのが見えました。後で分かりましたが、女の子は3歳で、男の子は兄で5歳でした。そのうち兄がボートを揺らしすぎたので、ボートが転覆して妹が海中に投げ出されました。

もちろん、立てるような浅瀬ではありません。急いで助けにいきましたが、そのときの兄の行動は今も忘れません。兄が妹を助けようと、海中で必死になって妹を押し上げていたので、私は妹と兄を抱きかかえて岸まで泳ぎました。

妹は相当怖かったのでしょう、しばらく私の首にしがみついて離れませんでした。救助が少しでも遅れたら2人とも命にかかわったかもしれませんが、岸にたどり着くと、海水浴客が拍手

淡路青年会議所 前川肇監事(39)



中学生時代の前川監事(左下)。「祭りとなると、だんじりが出て、大変楽しかった」と振り返る

普通に「ありがとう」と声かけを

してくれましてね。内心、とてもうれしかったです。高校3年の夏休み、もう20年も昔の出来事です。

私が子供のころは、3世代が1つ屋根の下に暮らすのが普通でした。私はおじいちゃん、おばあちゃんに育ててもらいましたし、しつけもおじいちゃんたちに教わりました。

南あわじ市松帆尻で生まれ、中学まで淡路島で暮らしました。近くの神社が一番の遊び場で、とても好奇心旺盛でした。祭りもにぎやかだったのが思い出としてあります。

27歳のときに淡路島に戻ってきまして、いま、学校を卒業すると、そのまま淡路島を後にして戻らないケースが多いですね。世代間交流ができなくなっています。また、いまの子供たちはゲームばかりで、本当の遊びを知らないように思えます。

私は淡路JICで社会貢献活動をしていますが、何をやるにしても基本は「人」だと思います。淡路島を支えるのも退廃させるのも「人」です。自分

自身、襟を正して自分はどうあるべきかをはっきりさせないと、「人」にものがいえる自分になれません。そして一般常識をもって強い意志で行動しなければなりません。そうすれば、困ったとき、たれかが助けてくれるだろうと思います。

いまの時代、普通のことをしなくなくなってきているような気がします。例えば「こんにちわ」とか「ありがとう」とか声をかけるといった普通のこと、少なくなっているように思います。

私がいま、「ここにいられるのは先生のおかげだと普通に思っています。私の面倒をよくみてくれました。私にだれでも温かく見守ってくれる人がいます。私はこれからは普通に「こんにちわ」「ありがとう」と声をかけていきます。

- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
 - 〒656-0028
 - 洲本市栄町2-2-15 (本町ビル2階)
 - 0799(22)1450
 - FAX 0799(25)2125
 - 姫路支局
 - 〒670-0921
 - 姫路市緒町119
 - 姫路不協ビル内
 - 079(224)5551
 - FAX 079(226)3191
 - 駐在
 - 加古川 079(421)7520
 - 豊岡支局
 - 〒668-0025
 - 豊岡市幸町13-20
 - 0796(22)6151
 - FAX 0796(29)2038
 - 通信部
 - 書住 0796(36)4499
 - 神戸総局
 - 〒650-0015
 - 神戸市中央区
 - 多聞通4-1-5
 - 078(351)1771
 - FAX 078(361)2001
 - 阪神支局
 - 〒652-0918
 - 西宮市大澤寺町9-11
 - 0798(33)5881
 - FAX 0798(37)2477
 - 通信部
 - 尼崎 06(6421)2545

淡路

今できること 淡路JICの思い

淡路青年会議所では毎年、新たな社会開発活動を掲げて実行しています。今年度は淡路島3市と共催で、7月17と18の両日、島民討議会を開きます。無作為で2千人の市民に呼びかけて淡路島のまちづくりについて語ってもらい、会議の結論を行政に提案しようというものです。無作為による市民参加型会議は、これまでに東京JICなどが行っていますが、複数の行政との共催という形では全国初です。

無作為にするのは、これまで行政に届けられなかった市民の生の声を行政に届けるためです。市民参加型会議はこれまで開かれていますが、声の大きい人の意見があたかも市民を代表する意見かのようになって行政に届いています。本当の市民の声を行政に届けることが、今後の淡路島のまちづくりにつながるのだと確信しています。会議の開催にあたり、実行委員会を立ち上げ、具体的に取り上げる議論のテーマについて話し合います。今月下旬に第1回会合を開き、年9回開く予

淡路青年会議所 原田啓行・社会開発委員長 (34)



「島民討議会」で島のまちづくりを

定です。無作為で抽出しますので、どのような人が集まるかはわかりませんが、会議の趣旨を書いた手紙を5月中に送り、趣旨に賛同した市民に参加してもらいます。

淡路島の今後を考える場合、根底にあるのは雇用だと思えます。淡路島の人口が減っていくなか、雇用を創出していかないと淡路島に明日はありません。私の社業は建築業なので、それが特に切実なほど感じます。

建築業は任んでくれる人がいて成り立つ業界です。私は入社したばかりのときは、父から「衣食住がなくなる」とはならない。がんばればがんばるほどいいことがある」といわれました。たしかに阪神大震災前にはがんばれば売れ上り、10年ほど前から建築業界の業績は落ち込むようになり、雇用も生

路島が住環境のよい所であることをもっとアピールすべきだと思えます。実際、淡路島で暮らすと、都会のような窮屈な生活をしないで済みますし、地域住民とのつながりなコミュニティもある上、自然も豊富に残っています。こうした淡路島の魅力をもっと発信していかねばなりません。

もちろん、働く場所がなければ淡路島に住みたくても住めません。私としては雇用が創出できるように努力しようと思っていますし、少なくとも家を建てられるような環境づくりはしていきたいと思っています。

いま、島全体が活気のない状態になっています。淡路JICとしては先を見越したビジョンを掲げ、具体的に実行し、地域が活気づくりに取り組んでいきます。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- T655-0026
- 洲本南町2-2-15 (本町ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- T670-0921
- 姫路市駅前119
- 姫路千鶴ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- T668-0025
- 豊岡市駅前13-20
- 0796(22)6161
- FAX 0796(29)2338
- 通信部
- 豊岡 0796(36)4498
- 神戸総局
- T650-0015
- 神戸市中央区
- 多摩川4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(381)3001
- 阪神支局
- T662-0318
- 西宮市六通寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 西宮 06(842)2545
-

市民が語る ふるさとの未来

淡路青年会議所（淡路JCI）と島内3市は24日、無作為に選んだ市民がまちづくりについて話し合う会議「島民討議会ボイス・オブ・アワジ2010」（仮称）を7月17、18日に開くと発表し、同JCIの後藤英範理事

長と島内3市の市長が別本市内のホテルで協定書に調印した。後藤理事長は「住民が責任を持って活発な議論が交わされる場にした」と意気込んでいる。

（今福寛子）

アイデアまとめ、行政に提案へ

■淡路JCIと3市が主催■



島内3市と淡路青年会議所が協定を結んだ調印式＝別本市小路町

行政に声を届ける機会が、少ない住民の意見を盛り上げていく。2005年に淡路JCIが、3市に呼びかけて企画

また同JCIは実行委員会のメンバー（1～3人）を募集している。淡路島内に住かずに、実行委員の会合や島民討議会に参加できる人。任期は11月4日まで。申し込みは4月9日まで。住所、氏名、応募動機などを記入し、郵送かファクス、メールで淡路青年会議所へ。問い合わせは0799-222-6601

参加への意欲を高め、責任のある行動をとってもらうために報酬を払う。話し合いテーマや町人の意見に出席要請をするかなどを、4月に発する実行委員会が決める。

した。複数の自治体が共通する形は日本初めという。会議では、無作為に選ばれた市民が集まり、少人数のグループに分かれて、まちづくりの課題をテーマを設定して話し合う。グループ討議で決まったアイデアを投票で選り、結果を報告書にまとめて行政に提出する。

7月に「島民討議会」

淡路JCIと3市、7月に「島民討議会」



島民討議会の開催に調印した南あわじ市の中田市長、淡路JCIの後藤理事長、洲本市の竹内市長、淡路市の竹市長（右から）

これまで行政に届かなかった住民の声を行政に。無作為に参加者を募り、淡路島のまちづくりについて話し合う「島民討議会」が7月17と18の2日間開かれる。淡路青年会議所（淡路JCI）と淡路島3市の共催で、別本市内のホテルで行われる。淡路JCIと3市の調印式が24日、別本市内のホテルで行われ、参加代表の後藤英範・淡路JCI理事長は「明日の淡路の

「明日の淡路の 一歩へ」

無作為で2千人の市民に呼びかけ

後藤理事長は「行政に声を届けることのできた住民は多い。声の大きい市民の意見だけが行政に反映されるのではなく、生の市民の声を行政に伝えたい」と話していた。実行委員のメンバーは3市、淡路青年会議所、淡路JCIの担当者のほか、淡路JCIでは1,000人の市民を委員として募集する。申し込みは4月9日まで。問い合わせは淡路JCI（0799-222-6601）。

「あなただけが淡路島を変える。討議会の開催にあたり、実行委員会を主体的に絞り込み、討議会での意見を10月をめどにまとめ、3市に提案する。討議会の参加者は淡路JCIが無作為に2千人を選び、会場の趣旨を書いた手紙を5月中旬に発送する。調印式に出席した別本市の竹内市長は「政治に関心があった人も参加を」、南あわじ市の中田市長は「淡路島を誇りに思うる道筋になれば」、淡路市の竹市長は「政治交代で島がどうなるのかといった生の声が聞かれる機会になる」と話していた。

伊弉諾神宮で勝負!

わんぱく相撲淡路場所

淡路青年会議所(淡路J
C)は20日、島内の小学生
を対象とした第16回「わん
ぱく相撲淡路場所」の概要
を発表した。

開催日は小学生が参加し
やすいようにと、例年の5
月5日から同月9日に変
更。また、神事としての奉

納土俵入りを行うため、例
年の津名体育センター相撲
場(淡路市大谷)から伊弉
諾神宮(同市多賀)に変
え、境内に特設土俵場を設
けて行う。

相撲は小学1〜6年生が
学年ごとに戦う。1〜3年
生は男女混合、4〜6年生

は男女別に行う。4〜6年
生の各優勝者は8月1日、
東京両国国技館(東京都墨
田区)で開催される全国大
会に出場できる(ただし男
子のみ)。競技は昨年の大
会で好成績を挙げた小学生
による奉納土俵入りの後、
午後1時から始まる。

参加無料。申し込み締め
切りは26日。問い合わせ先
は淡路JC事務局(☎07
99・222・6611)。

淡路

今できること 淡路JICの思い

現在、社会の変化とともに国や地方自治体が抱える諸問題が露呈してきました。この淡路島も人口減少、少子高齢化、島内雇用減少など、さまざまな問題の対応を迫られております。

そんな中、P.H.P総合研究所前社長の江口克彦氏にわれわれの例会でご講演していただきました。東京・霞が関の官僚によって淡路島の事を知らない、わかっていない、来たこともないまま全国画一の法律により淡路島の事が決められていること、地域主権とは自治体が主体となって地域の特徴を取り入れ自由で独創的な活動ができ、住民が納得して無駄のない行政が行われる国の形であるということなど、今後の淡路島の発展の可能性について大変参考になるお話を聞かせてもらいました。不具合が生じている日本の中央集権の限界を知り、地方分権、そしてその先にある地域の枠組みとして道州制、または自主性・主体性・責任のある地域づくりの象徴である地域主権を理解する必要性を痛感しました。

淡路青年会議所 長尾泰宏監事(37)



「地域に住む市民一人ひとりがかわる市民主導のまちづくりが大切」と長尾監事

誇りと自信、責任持って行動を

淡路島はこのままいけば20年後には人口が10万人を切ると予測され、限界集落になってしまいます。しかし、不安定な生活を続けているにもかかわらず、「今の状況を打破していかなければならない」という意識が薄く、「まだ大丈夫」と思い行動できていないのが現状ではないでしょうか。今までの

淡路島だけの視野だけでなく日本全国へ淡路島の存在意義を示していけるように、淡路島に対して「誇り」と「自信」と「責任」を持って行動をしなければなりません。

社団法人淡路青年会議所は1963年の創設以来、今日まで多くの先輩方より受け継いできたJIC運動の意義や

目的、思いや情熱といったものを絶やすことなく次の時代へ引き継いできました。しかし、その思いや目的を具現化する手法や手段は時代によって変えていき、近年では市民参加型社会への変革をテーマに活動しています。それにはまず市民のまちづくりに対する意識高揚が必要です。淡路島のごときは淡路島に住んでいる人々が地域と向き合っただけで淡路島づくりを考えることにより元気な地域へと変革するものであると思います。自立した市民による淡路島づくりが淡路青年会議所の目指す「明るい豊かな淡路島づくり」の実現に向けての大きな一歩となり、またJICメンバー自身が淡路島のビジョンを描き、責任を持った行動をとることが必要であることを認識しこれからの活動してまいりたいと思います。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局**
〒656-0026 洲本市深田2-2-15 (本町ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
〒670-0921 姫路市緑町110 姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3181
- 豊岡支局**
〒668-0025 豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(20)2338
- 神戸総局**
〒650-0015 神戸市中央区 9-65番地4-1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
〒662-0916 西宮市六瀬寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
-

22年)6月5日(土曜日)

言

賞

衆

まちづくり市民の声反映

来月17、18日洲本で討議会、参加者募る

まちづくりに市民らが積極的に参画する機会にと、淡路青年会議所と淡路島3市は7月17、18両日、洲本市総合福祉会館で「島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010」を開催、参加者100人を募集



島民討議会のポスターを掲げる実行委メンバーら。

している。3テーマで討議、特筆すべき意見を報告書にまとめて各市に提出する。

「家族が幸せになるには」(17日午後1～5時)、「地域が元気になるには」(子どもたちに残したい淡路島にするには」(18日午前10時～午後6時)をテーマに意見交換する。

2日とも参加できる、島内に在住・在勤・在学の18歳以上(高校生を除く)が対象。「責任を持って討議を」との考えから、5000円程度の報酬を出す。

申し込みは実行委(0799・22・6611)へ。

淡路

今できること 淡路J.Cの思い

私は洲本市本町の商店街で生まれ育ちました。小さいころからこの商店街が私の遊び場であり、鳥祭りの時などは浴衣を着た人たちがいっぱいでしたし、実家が呉服屋ということもあって、「和の心」に触れて育ちました。

そんな私も今は父の跡を継いで呉服屋を営んでおりますが、家庭もち3児の父親となりました。子供の友達もよく遊びに来ますし、来たときは私もその子達と遊んだりもします。

よく近所付き合いが希薄になったとか、他人の子供をしかるこわいおじさんがいなくなったとかいわれています。この商店街ではそういったことをあまり感じません。新年のご近所回りのあいさつなどの習慣といった、ここにはかつて日本中で当たり前にあった「古きよき風景」というものが残っているのだと思います。

昔から日本人は正月になれば遠く

淡路青年会議所 中西仁志副理事長(38)



「和の心」を子供たちに伝えよう

の親類でも一同が集まってお祝いをしていましたし、そういった節目には和装をする習慣がありました。七五三のお祝いや成人式、結婚式といったお祝い事には必ずといってよいほど和装に連れ、そういったときに日本人としての自覚というか、文化に触れることがあったのだと思

います。時代とともに社会も変化し、正月に親類一同が集まるといった習慣も薄れてきているように思います。かつての日本であった常識といったことが変化したのではないのでしょうか。社会が変化したことに悲観して

るのではなく、私はその変化の中でも柔軟に対応しているのも日本の文化の特徴だと思えます。結婚披露宴では洋服を着ている人と和服を着ている人が同じ空間にいても違和感はないですし、成人式には振袖を、夏祭りでは浴衣を着ている若い方もよく見かけます。

若い方にも和装の文化は受け入れられているように思いますし、決して和装の習慣が薄れたとは思いません。社会は変化しても、そんな中にも日本の文化は生き続けるものだと私は思っています。私は日本文化の中でも和装のあり方を通じ、日本人として、これからも伝え続けなければならない「和の心」を子供たちに伝えていきます。昨今は時代変化のスピードが著しく速くなっているように思いますが、かつての「古きよき風景・文化」が、これから社会が変化したとしても柔軟にそれに合わせて対応し、その中で日本の伝統を受け継がれていくように願っています。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- 〒659-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市浜町119
- 姫路不動ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- 〒669-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0798(22)6151
- FAX 0798(29)2338
- 通信部
- 番付 0795(36)4499
- 神戸総局
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
- 阪神支局
- 〒662-0918
- 西宮市大池寺町9-11
- 0798(33)5981
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 尼崎 06(8421)2545
-

2010年(平成22年)6月12日 土曜日 神 戸

わんぱく相撲勝利誓う

南あわじの 柏木君、阿部君 全国大会へ抱負

8月1日に東京・両国 国技館で開かれる「第26回わんぱく相撲全国大会」に出場する南あわじ市の柏木海人君(11)と福岡小学校6年と阿部磨州君(9)と阿万小学校4年2の壮行会がこのほど、市中央庁舎であった。



柏木君は4年生から相撲を始め、毎週2回のけいこに励む。相手に体をぶつけて寄り切るのが得意。少年野球チームに所属している阿部君は、素早い突き押しが持ち味という。

壮行会で中田勝久市長は「子どもたちに西国国技館で相撲を取れることはいい経験になる」と激励した。柏木君は「1回でも多く勝ちたい」と抱負を語り、阿部君は「絶対に優勝する」と誓った。

(橋本 寛)

中田勝久市長の激励を受ける柏木海人君(左)と阿部磨州君(中央)＝南あわじ市中央庁舎

<第三種印刷物認可>

立候補予定者全員がそろい、それぞれの意見を述べた公開討論会



神戸で立候補予定者公開討論会

24日公示、7月11日投開票の参院選を前に、日本青年会議所兵庫ブロックは21日、兵庫選挙区立候補予定者による「マニフェスト型公開討論会」を垂水勤労市民センター（神戸市垂水区）で開いた。各立候補予定者が景気対策や社会保障などをテーマに議論を交わし、集まった約400人が熱心に耳を傾けた。

バネリストとして出席したのは、現在兵庫選挙区（改選数2）に立候補を表明している民主現職の水岡俊一（54）▽同新人の三橋真記（32）▽自民現職の未松信介（54）▽共産新人の堀内照文（37）▽改革新人の吉田愛弥（36）▽みんな新人の井坂信彦（36）▽幸福新人の高木豊彰（40）の7氏。

争点として取りざたされている消費税増税については、水岡氏は「総選挙で審判を仰がないと難しい。理解を得つつ慎重に進めたい」。三橋氏も「消費税増税の必要性は認識され始めているが、さらに議論が必要」と慎重。また、党として先に「10%」の数字を掲げた自民の未松氏は「諸外国のような増徴税率で軽減

2010 参院選

消費税などテーマ7氏熱弁

措置を図るべき。幅広い議論が必要」と指摘した。

吉田氏は「将来的な増税は必要だが、使い道を明確にすべきで時間が必要」、井坂氏は「増税の前にはやるべきことがある。まずは政治が身を切るべき」と同様

に慎重な姿勢。一方、堀内氏は「どのような理由でも増税は反対。まずは無駄の削減をすべき」、高木氏も「増税すれば倒産、解雇が進み、自殺者がとれただけ増えるか予測できない」と反対の姿勢を示した。

淡路JCと3市の島民討議会

報酬制で参加者募集

淡路島の市民と行政が共同で町づくりを考える住民参加型の会議「島民討議会」が7月17、18の両日、洲本市山手の市総合福祉会館で開かれる。淡路青年会議所（淡路JC）、後継英範理事長と淡路島3市の共催で、テーマは「家族」「地域」「後継」の3つ。市民の声を広く

「家族」「地域」「淡路島」テーマに



「島民討議会」のホスターを手にする淡路JCの後継理事長（右）と社会開発委員会の原田啓行委員長が、若手男女を問わず参加してほしい思いを表現した

公平に反映させるため、事務局の淡路JCは10日に折り込みチラシで参加者を報酬制で募集する。淡路JCによると、「家族」は身近な問題として取り上げ、家族が幸せになるためにはどうすればいいのかについて議論する。

また、参加者が討論しやすくなるため、テーマに有識者を「情報提供者」として招き、解説してもらう。「地域」と「淡路島」は興立淡路景観園芸学校の中瀬勲校長を情報提供者に迎える。「家族」は未定。

後継理事長は「これまで町づくりにおまわり参加しなかった人や意見を言う機会が少なかった人」に「参加してほしい」、行政に「反映してほしい」と話していた。

募集人員は100人。18歳以上の島民が条件で、2日間とも出席した参加者には5千円程度の報酬を支払う。

討議会の実行委員会は3市と淡路県民局、淡路JCの担当者らに、応募の中から選ばれた3人の市民を加えた13人で構成。これまで3回の会合を開き、テーマや参加者の募集方法などについて議論してきた。淡路JCでは討議会の提言を9月10日までに報告書としてまとめ、公表する予定。問い合わせは淡路JC（電話07990・2226611）。

淡路

今できること 淡路J.Cの思い

私は淡路島の洲本市で生まれ育ち、学生時代は東京で暮らしていました。卒業後、家業を継ぐために淡路島に戻って来ました。そのときに自分の生まれ育った土地がすばらしい環境であったのだということが改めて分かったような気がします。

そこに住む人柄や生活環境、自然環境などといった私たちを取り囲む環境すべてが健やかというか、心地よいものであるのだと思います。

現在、私は二兄の父親となりましたが、子供たちにも健やかな淡路島を感じてほしいと思いますし、これからは淡路島がよい環境であり続けてほしいとも思います。

しかし、景気の低迷、人口減少、少子高齢化などの問題も多く、それらの問題が将来にはもっと深刻なものとなり、未来の淡路島はどうなってしまうのだろうかという不安と、子供たちが淡路島で生活し続けることができるのだろうかという懸念もあります。それらの問題に対し、私が個人として

淡路青年会議所 飛松孝治副理事長(36)



政治に関心持ち、投票しよう

できることはそんなに多くはないのだから感じています。社会に貢献する運動としてボランティア活動などさまざまなものがありますが、私は何より選挙に行って投票することが大事だと思っています。それは特定の候補者を応援するといったことではなく、

政治に関心を持つことが重要で、よく投票する候補者がいないといった意見や、だれが当選しても一掃といったことが聞かれますが、本当にそうでしょうか。選いと思える政治の問題も、何らかの形で私たちの生活にかかわってくると思いますので、関心を持つことが大事だと思っています。

が低いということがより政治に私たちの声が反映されない状況になっているのだと思います。

少子高齢化という問題でも、その背景にある、女性の働く環境や子育ての環境をどうするのか、子供の数が少ない核家族で、年若い両親の面倒をだれがみるのか。年金問題では、少ない若者で多くの高齢者を支えなければならず、その財源はどうするのか。これらの問題は決して他人事ではなく、私たちの生活に密接にかかわっています。

私は、個人として政治というものに無力であるように思えたとしても、私が育ったこの淡路島が少しでもよくなっていくように願って、投票に行つて自分の意思を表してやるのが大事だと思っています。

- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒650-0026
洲本市幸町2-2-15
(本館2F620)
0798(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
〒670-0921
姫路市東町119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3101
駐在
加古川 079(42)7620
- 豊岡支局
〒668-0925
豊岡市幸町13-20
0798(22)6151
FAX 0798(23)2338
通信部
番付 0798(36)4489
- 神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多摩通4-1-5
078(251)1771
FAX 078(251)3001
- 阪神支局
〒662-0918
西宮市六甲寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2472
通信部
総機 06(642)7545

淡路の将来 島民討議

洲本 家族や地域議題に

淡路島の将来像について多くの島民に語り合ってもらおう
「島民討議会 VOICE OF AWAJI」が17日、洲本市山手2丁目の市総合福祉会館で始まった。

淡路青年会議所と島内3市の主催で、募集に応じた会社員や主婦、自営業、大学生ら男女64人が参加。19〜78歳と幅広い年齢層が集まった。農業や漁業など淡路島の主



家族の幸せをテーマに討論する参加者たち＝洲本市山手2丁目

産業の現状について説明を受けた後、参加者らは10グループに分かれ、「家族が幸せになるためには」をテーマに議

論。「家族と一緒にいる時間を長くする」「安定した生活設計のできる仕事や経済力を持つ」といった様々な意見が

出た。討議会は18日もあり、「地域が元気になるためには」などをテーマに議論する。

市民が将来を議論

淡路島で「島民討議会」

洲本、淡路、南あわじの淡路島3市と淡路青年会議所（淡路JC）共催の住民参加型会議「島民討議会」が17日、洲本市山手の市総合福祉会館で始まり、応募

行政に意見を述べる機会が少なかつた人たちに町づくりの具体案を提示してもらおうという試み。討議会の副題は「あなたの声が淡路島を変える」で、2日間

間にわたり、3つのテーマについて議論する。

初日のテーマは「家族が幸せになるため

に」。10、70代の男女が10グループに分かれて話し合い、グループごとに意見を

集約して発表した。



行政に意見を述べる機会が少なかつた人たちに町づくりの具体案を提示してもらおうという試み。討議会の副題は「あなたの声が淡路島を変える」で、2日間間にわたり、3つのテーマについて議論する。初日のテーマは「家族が幸せになるため

まちの将来像語ろう

洲本で島民討議会始まる

地域住民自身がまちづくりについて話し合う「島民討議会ボイス・オブ・アワズ2010」が17日、洲本市山手の市総合福祉会館で始まった。島内から64人が参加し、活発な議論を交わした。淡路青年会議所と島内3市名でつくる実行委



活発な議論を交わす参加者ら＝洲本市総合福祉会館

員会が主催。住民の意見を行政に届ける機会をつくらうと初めて開いた。18日まで2日間、わたって議論をし、議論をまとめて10月に島内3市と淡路県民局に提出する。この日は「家族が幸せになるためには」をテーマに討議。参加者は6

結婚・就職・誕生日のお祝いどうぞ!!

開運手彫り印鑑専門店
美印 銀行 認印 2色の表紙

渡瀬印房

淡路市若原ボートビル1階
TEL.0799-72-2454 FAX.0799-72-2554

7人のグループに分かれて話し合い、「家族が一緒に住みやすい住環境をつくる」「経済の安定が必要」などの意見が出た。参加した主婦岡田理奈さん(30)「淡路市浦ノ内には、いろいろな意見を聞けて自分の視野が広がった」と話していた。(今福寛子)

淡路

今できること 淡路JOCの思い

現在の子供を取り巻く環境は、少子高齢化、高度な情報化などの急速な社会環境の変化や家族関係の多様化、核家族による家庭環境の変化により、青少年の意識や行動にも大きな影響を与え、青少年問題はさらに深刻さを増しているように感じます。

背景には、子供がかかわるべき絶対人数の不足による人間関係の希薄化、社会の基本的なルール・規律や協調性などの認識が弱まりつつあると私は考えます。

そのような社会情勢の中、社団法人淡路青年会議所に入会させていただき、昨年の8月に「つなごう君のゆく未来へ」ainいえしまキャンペーンを取り仕切る担当の責任者として淡路島に住む小・中・高校生を対象に1泊2日にて開催させていただきました。

お互いに会ったこともなく、世代も違う子供同士で淡路島を離れ、船に乗って無人島へ行きかかわることは、子供の感受性がより高められ刺激となり影響していくものであると考えます。

淡路青年会議所 齋藤新太副理事長(38)



地域コミュニケーションが希薄に

そして心を早く開き深く交流できる効果と、助け合いの必要性、思いやりの心を実践的に養うことにより、子供時代の楽しかった思い出とともに心に深く残っていくことを願って開催しました。

参加した高校生がリーダーとして事前準備から事業終了に至るまで苦勞し小学生、中学生を導き達成したこと

は、自己信頼感とリーダーシップを高く、助け合いの必要性、思いやりの心が生まれ、人とのつながりの大切さから、思いやる心を持った豊かな人間性の育成に大きく影響できたと考えます。

私自身、子供たちが新しい交流の中で生きいきとした笑顔で、予想以上に活躍している姿に驚かされました。改めて

て人同士のかかわりによって生まれるものが豊かな人間性の育成には必要であると気づかされたのは私であったのかもしれない。

一方、地域に目を向けますと、地域コミュニケーションの希薄化が取りざたされているのではないのでしょうか。淡路島は都会と比べ、まだコミュニケーションが残っていると思えますが、徐々に希薄化しているように思えてなりません。

昔と比べ、責任問題、子供に対する犯罪などを背景に地域の大人が子供とかわりを持ちづらい環境となっていること、また昨今の青少年犯罪をマスコミが取り上げていますが、子供たちは昔から何も変わっておらず、変わっ

てしまったのは地域の環境、または大人ではないでしょうか。

私たち大人の役目は多くあると思います。目の前の地域の子供を見つめ、勇気を出し一歩踏み出してしっかりとかわっていく。

子供は地域で育てることが必要であると感じ、これからの行動していきたいと考えています。

-
- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市東町2-2-15
(本町2丁の角)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
〒670-0921
姫路市西町119
姫路不眠ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
〒669-0025
豊岡市東町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(23)2338
通信部
香住 0796(36)4488
- 神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多摩通4-1-6
078(351)1771
FAX 078(301)3001
- 阪神支局
〒652-0818
西宮市大沢町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
通信部
総局 06(6421)2545
-

淡路

今できること 淡路JICの思い

近年の少子高齢化、高度情報化、国際化など急速な社会環境の変化や家族関係の多様化、地域社会の弱体化、また、身近な自然環境の減少などにより、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、青少年の意識や行動にも大きな影響を与えているように感じます。

このような状況の中、青少年による凶悪事件の多発や学校でのいじめ・不登校、家庭での児童虐待など、青少年をめぐる問題は深刻化を増しているのではないのでしょうか。これらの問題の背景には、人間関係の希薄化に伴い、社会の基本的なルールへの認識が弱まり、規範を示すべき大人の規範意識が低下しているように私は感じます。

これからの青少年の育成を考えるにあたり、青少年の置かれている状況を見過すと、家庭では親の就労事情や家族のライフスタイルの変化などによ

淡路青年会議所 向内英光青少年育成委員会委員長(36)



もう一度子供の環境考えて

り、家庭での親子のコミュニケーションやだんらんのお話が薄れてきていたり、わが子を通してあまり、子供に対して、一方的に過度な干渉・援助をして、子供が失敗したり危ない目にあったりすることを極力避けよう、先回りして選んだり、決定してしまう親が増えてくるように感じます。また最近の子供は家の手伝いをしなくなっているように感じますし、手伝いよりも学習塾に通ったりして家で勉強した方が大切

習い事が多く、子供同士で遊ばない子供、また子育てに自信を失ったり、子育てをつらく感じたや、中には子供の養育を放棄する親や、子育て中の親は、子供に一方的に自分の貴重な時間を奪われたように思う方もいるように感じます。また両親共に働く家庭が増え、子育てと仕事の両立は依然と困難な状況にあり、特に、身近に育児支援者がいないと、何事かあるとお手上げとなるようにも感じ

できる役割を認識し、互いに助けあう社会環境を構築する必要があると考えます。

本年度、社団法人淡路青年会議所では淡路島内内の学校、子供を持つ親、子供を取り巻く地域の現状を認識して、その中でそれぞれが子供に与える影響・役割を考え、今後の家庭・学校・地域のあり方を考えることで青少年教育の環境充実がより良くなるように活動して参りたいと考えています。

であると考え、親も少なくないようにも感じます。

また地域の人間関係の希薄化、核家族化の進行などで、親も子供も近所との交流が少なくなり、親子密着の孤立した子育てになりがちであったり、地域の活動に参加する親や子供が減少している、小さいころから

多種多様な課題がありますが、青少年の成長過程にかかわる分野がいかに多いかを考えるとき、青少年育成の課題は、大人がどうあるべきか、次世代社会をどう作り上げていくかが重要なように感じます。過去言い尽くされたことも多くあるが、もう一度、子供たちの環境をしっかりと考え、生活の基

-
- ニュースのご連絡先
- 洲本支局
- T668-0026
- 洲本市深田2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0788(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- T670-0921
- 姫路市緑町119
- 姫路不動ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(220)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- T668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0786(22)6151
- FAX 0786(29)2336
- 通信部
- 番付 0798(38)4499
- 神戸総局
- T650-0015
- 神戸市中央区
- 多賀通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(351)3001
- 阪神支局
- T862-0918
- 西宮市六道寺町9-111
- 0799(33)5881
- FAX 0799(37)2477
- 通信部
- 足跡 06(842)2525
-



地域、家庭、学校の連携模索

淡路青年会議所は10月21日、淡路市志筑新島のしづかホールで、地域、家庭、学校が一体となった教育のあり方について考える「淡路島教育発見フォーラム」を開く。島



「淡路島教育発見フォーラム」への参加を呼びかける淡路青年会議所のメンバー＝洲本市本町3、洲本市役所

教育発見フォーラム

来月21日
淡路市
パネル討議や講演会

内の教育関係者らによるパネル討論、講演会などを催し、大人と子どものかかわり方を探る。

同会議所が3部に分けて企画。第1部では、今月上旬、島内22小学校の2、5年生と保護者、教諭から休日の過ごし方や学校への要望などを聞き取ったアンケート調査の結果を報告する。

第2部では、「プレイパーク淡路島冒険の森」(淡路市楠本)の管理人で元小学校校長の小南広之さん、農業体験などに取り組むNPO法人「あわじFANクラブ」の赤松清子理事ら4人がパネル討論。第3部では、プロゴルファー横峯さくらさんの叔父吉文さんが「地域が考える子どもの未来」と題して講演する。

午後6時半～9時。入場無料。先着800人。問い合わせ
・申し込みは同会議所 ☎0799・22・6611 (金 慶順)

淡路青年会議所

島民討議会が報告書

3市長らに 具体化を議論へ

島民約60人が今年7月に集まり、淡路島の将来像について話し合った「島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010」の報告書が完成し、実行委員会のメンバーが12日、洲本市役所で登壇健二・淡路島長と島内3市長に手渡した。

島民討議会は淡路青年会議所と3市が実行委をつくり、7月17、18の両日、洲本市の市総合福祉会館で開いた。公募に応じた68人が、①「家族が幸せになるため」、②「地域が元気になるため」は「③子供たちが残したい淡路島にするため」のテーマで議論を交わした。

討議はそれぞれのテーマについて参加者が自分の意見を付箋に書き込み、共通した意見を集約していく方法で進められた。



洲本市の竹内雄弘市長（右から2人目）に報告書を手渡す実行委員会の林ひろみさん（洲本市役所）

④では、「コミュニケーションの重要性を語る意見が最も多かった。具材案としては、家族が一緒にいる時間を増やしたり、共通の趣味を持つたりする案があった。

⑤では、島の自然や観光地としての魅力を再評価することや、魅力ある地域づくりの取り組み、とすべしと責任づけられた。⑥を改善するためには、福祉の充実などを通じて「心豊かな安心できる生活環境」をつくっていくべきだとする意見が多く寄せられた。報告書を受け取った登壇健二

民局長は「今後、行政や島民、青年会議所が一緒になって報告書の具体化を議論していきたい」と述べた。

淡路

HYOGO

コープこうべのオリジナルブランド

淡路

今できること 淡路JCCの思い

尖閣諸島、竹島そして北方四島と、日本は隣接している諸国との領土問題を多く抱えています。相手国は実力支配に出てきたり、自分たちの国の国益を最優先して自国の国家ビジョンのもと、外交および戦略を行使してきています。

日本の外交安全の大きな柱が日米安保であり、沖縄の普天間基地をはじめ米軍の駐留基地の問題がクローズアップされている昨今の中で鹿児島島の島も候補に挙がりました。

そこでわれわれが住む淡路島を考えると、日本のどの地方でも同じく疲弊していつている中でこの島も例に漏れず、これぞというまちづくりの大きな柱もなく、地元の高校を出ても、大学を出て帰って来るとしても就職口がない状況で、ますます若手世代の空洞化により、その次の世代も当然少なくなり、未来に向けた人口減少のスパイラルが加速していつている状況下にあります。まちが繁栄していく基本はまず

淡路青年会議所
才花毅・前理事長 (40)



淡路島を人が集まるまちに

はひとの住む、ひとが集まってくる場所ではないといけません。日本を見るとそれは東京中心に首都圏だけであり、そこには日本の人口の半分程が住んでいて、これから日本の人口の2、3割が減ると予想されていて、減るのは首都圏でなく、そのすべてが地方であると考えられています。人口の二極化もどんどん進行している状況であるのです。人口が基本である以上、ひとが行う経済活動、まちづくり、教育す

べてにおいても格差が広がる一方であります。そんな状況であるからこそ、普天間の基地問題で半分本気で、半分は地理的にも不可能ながら淡路島に基地をもってきたときの状況を考えました。まずはなぜ基地を持つてくるかです。先にも述べたように、これといったものがないからです。物事にはその中心となるものが必要と私は考えます。基地があることでまず財政を安定させる。

しかも、それをネタに東京も狙っているカシノを誘致する。すべてが東京に集中することも日本全体からみても阻止すべきです。日本全体の繁栄が国民の幸せであるのですから。物事にはすべてバランスがあります。それを崩せば物事は成り立ちません。その2つの誘致から中心となるものは確保できます。しかし、今の淡路島のバランスは崩れます。崩れる大きなものは治安であります。そこは確保で

きた財政からまずはずきちつと担保していかねばなりません。次にビジョンであります。ここはきちつと押さえなければなりません。それは財政力を背景に、世界に通じる日本一の教育立島を目指します。幅広いジャンルの人材育成を目指してこの国生みの地、淡路島から人材を通じた新たな国生み神話の始まりです。こんな勝手な夢でも語れる世の中ではないといけません。語っていたいた本年で最後となる社団法人淡路青年会議所の先輩、同輩、後輩、そして淡路島の皆様に感謝申し上げます。新たな旅路と進んで参ります。

-
- ニュースのご連絡先
- 洲本支局
- T656-0026
- 洲本市東町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0799(22)1950
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局
- T670-0921
- 姫路市緑町119
- 姫路不登町
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- T668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0798(22)6151
- FAX 0798(29)2338
- 通信部
- 番付 0798(36)6199
- 神戸総局
- T650-0015
- 神戸市中央区
- 3-53番4
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3331
- 阪神支局
- T662-0918
- 西宮市六瀬寺前9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 足尾 06(6421)2545
-

「サミット開催地」「1家に牛1頭」

アイデア335項目盛り込む

淡路島のまちづくりや未来像について63人が議論した「島民討議会」の報告書（A4判、148頁）がまとまった。「サミット開催地」に「鉄道を開通させる」など計335項目のアイデアを盛り込み、淡路青年会議所（JCC）や市民らでつくる実行委は12日、「島の将来に役立ててほしい」と、長棟健二・淡路県民局長と島内3市の市長に提出した。

63人の「島民討議会」報告書

島民討議会は7月17、18両日に実施。①家族が幸せになる②地域が元気になる③子どもたちに残したい淡路島にする―にはどうすればよいかをテーマに、グループごとに意見交換した。

アイディアは「産婦人科の受診を無料化し、島外にも（子育て）支援充実を」発信する「（畜産への理解を深めるために）1家に1頭の牛を飼う」

「淡路島シンガポール化計画（同じ面積のシンガポールに

役立ててと、市長らに提出

学ぶ」―など多彩だった。

洲本市役所で報告書を提出



竹内・洲本市長（右から2人目）に報告書を手渡す実行委のメンバー（洲本市役所で）

した後藤英範・実行委員長は「住民自治による協働のまちづくりを進めてほしい」と要望。長棟局長は「45年後には島の人口は半減し、若い世代が少なくなる予測があり、危機的だ。報告の中から、一つでも二つでも実施することが重要だと思っている」と話した。

竹内通弘・洲本市長は「若い人たちの貴重な意見を生かしたい」、中田勝久・南あわじ市長は「資料として役立てたい」、門康彦・淡路市長は「二過性にせずつづけてほしい」と述べた。

報告書は30部作製し、淡路県民局と3市などに配布した。また、実行委のホームページ（<http://www.awajijc.or.jp/tomin/>）にも近く掲載予定。



島の将来 アイデア続々

3世代同居手当を 産科受診の無料化 島内を釣り天国に 子ほめ条例の制定

島民討議会実行委 市長らに報告書

地域住民が島の将来像について話し合った「島民討議会」の報告書が完成し、淡路青年会議所（淡路JC）や市民どうくる実行委員会（どうくる）のメンバーが、洲本市の市長らに報告書を手交した。（本紙記者撮影）

島民討議会は7月17、18の2日間、洲本市の若狭町公民館で開かれた。公衆参加型であったが、約60人の参加者から、3世代同居手当、産科受診の無料化、釣り天国の制定、子ほめ条例の制定などのアイデアが提出された。報告書は、市長らに報告された。報告書には、3世代同居手当、産科受診の無料化、釣り天国の制定、子ほめ条例の制定などのアイデアが提出された。報告書は、市長らに報告された。

洲本市の若狭町公民館（左から4人目）で報告書を手交する島民討議会のメンバー（洲本市市長、淡路市長、淡路市長、淡路市長）。

多彩な意見飛び出す

島民討議会 淡路JCら3市に報告

一般の島民同士が淡路島の将来像について話し合った「島民討議会」の討議結果がまとまった。「淡路島大学の開設」「淡路横断地下トンネルの建設」「プロ野球球団の設立」など多彩な意見が盛り込まれており、淡路青年会議所（淡路JC、後藤英道理事長）と市民どうくる実行委員会、淡路島民同と洲本、淡路、南あわじの3市に報告書を手交した。



7月17、18の2日間にわたり開かれた島民討議会。市民から活発な意見が出された。—洲本市山手の市総合福祉会館

島民討議会は、これまで7月17、18の両日、応募し行政に届かなかった市民の市民約60人が10グループに分かれて①家族が幸せになるために②地域が元気になるために③子供たちが元気になるために④自然をテーマにした提案が自立、伝統文化や心の教育の大切さを訴える意見も多く寄せられた。島民討議会企画委員長の原田啓行・淡路JC社会開発委員長は「行政任せの政治でなく、自分で行動していくかなければならないという機運が高まり、有意義な会議だった」と話している。

2011年度

事業計画書

2011年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

社団法人淡路青年会議所

2011年度 スローガン

大志一閃

～行動こそが信念～



1. 理事長所信

はじめに

混沌とした世の中で、我々はこれからの社会形成を担う責任を自覚し、信念を持った「明るい豊かな淡路島づくり」に邁進してまいりました。しかし、急速な変化が求められる現在、これまで以上に淡路島の現状をしっかりと認識した活動を行い、それらを基に今後の淡路島のあるべき姿をしっかりと考えていく必要があります。今こそ我々が時代に降り注ぐ一閃の光となろうではありませんか。さあ若き志士たちよ、大志を持ち共に行動しよう。

Jaycee として

JC は大人の学校とも言われます。成人してからも社会に出て学ぶ機会は数多くありますが、「奉仕・修練・友情」の三信条を掲げ、様々な機会を通じ、そこに所属するメンバーとして失敗を恐れず思い切りチャレンジしていただきたいと思います。常に志士たる自覚を持ち、自らの手でまちを創造していく気概を持つ。なおかつ社会・経済情勢の諸問題に対し率先しその目線に立つとともに、正面から真剣に向き合っていく姿が私の考える Jaycee であります。確固たる信念を胸に真っ直ぐに行動する。それこそが、この混沌とした世の中に差し込む Jaycee という名の一閃の光であると考えます。

“志あるものは事意に成る”

志をメンバーで共有する

たった一人から世の中が変化する。それぞれが考える淡路像は違えども、淡路を愛する心は皆同じである。全メンバーが集う場「例会」では、メンバーそれぞれの淡路を愛する心、島が向かうべき形について議論を共有できる貴重な場であり、当然のことながらしっかりとしたテーマを掲げ年間を通して関連性を持つことで、メンバーにとって有意義な時間とすることができるでしょう。そこが機能することで、初めて様々な活動に打って出ることができるものと考えます。メンバーの皆様には例会それこそが最重要を担う位置付けであることを再度ご認識いただき、月に一度各々の志が集まるこの場所で、さあ全員で語ろう、共有しよう。

淡路はひとつ

ちょうど5年前、現在の三市体制となり、新たなスタートに際して島民は様々な期待と不安を抱えていたであろうと感じます。島民目線で見ても、合併に伴う様々な問題は少なくありませんでした。それは、三市となった現在も未だ根強く残っており、JC としてそれらを改めて調査・研究し、現状として拾いあげたいと考えます。そして行政目線で見ても、

現在の三市体制から一歩前進し、それぞれの行政区分で様々な対策を行うのではなく、「淡路島」としてのしっかりとした一定の規模を有する自治体として取り組むことが必要であると感じます。地方自治・道州制が叫ばれる昨今、これまで及び現在の淡路島をしっかりと知るとともに、それに伴う新しい時代の淡路一市活動としてスタートを切りたいと考えます。その結果、淡路島の持つポテンシャルを最大限に発揮できるきっかけとなることはもちろんの事、人口減少による消費の低下、それに伴う産業の衰退に歯止めをかけることができるものと考えます。「淡路がひとつ」となる事で、それぞれの分野が底上げされ、島は活性化します。今を生きる我々も近い未来の淡路島、そして淡路島民に向け、今こそ「淡路はひとつ」を声高らかに発信したいと考えます。

未来の担い手たちへ

人それぞれの人生にはそれぞれの未来があり、その未来に向かって人は進んでいます。その中でも、未来の担い手であります子どもたちは大きな夢と希望に満ち溢れており、そのような子どもたちの未来にこそ、私たちが掲げる「明るい豊かな淡路島」が不可欠であります。我々の活動を通じて子どもたち自身が壮大な夢、大いなる希望を持ち、それを大きな糧とし成長していく。人生の壁に遭遇した時も、それを乗り越える強い心、夢に向かう大いなる信念を持った子どもたちを育てる。その子たちが成長を遂げた時、やがて混沌の世の中に差し込む一閃の光となり、未来を明るく照らすものであると確信いたします。

信念を持った行動が人の心を動かす

会員拡大活動につきましても、現在の社会情勢がネックとなっていることも否めない事実であります。しかしながら、すべての原因はそこにあるのでしょうか。信念を持ち行動することよりも拡大手法が優先となり、我々の志や情熱がうまく伝わっていないのかもしれないかもしれません。「若い力がまちを変えていく」といった確固たる信念を持った拡大活動を今一度見直す必要があると考えます。多くの若い力が集結した時、強く深い団体として活動できるものと考えます。さあ、何事にも臆することなく心を動かす事のできる拡大活動を行ってまいりましょう。

終わりに

情報化社会と言われる中、様々な情報は手元ですぐに手に入ります。あえて労力をいとわずとも、大方は事が済んでしまっているのかも知れません。しかしながら、汗をかくこともなく、理屈を100並べたとして一体何が残るのでしょうか。行動こそがJCという思いを何処かに置き忘れていたように感じます。成功があれば失敗もあります。失敗を恐れていては、我々の得意分野であります行動力そのものに足かせとなってしまいます。JCはチャレンジできる場であり、成功も失敗もすべてが糧となります。さあ、何事にも恐れることなく前を向き、大志を掲げ突き進もうではありませんか。

2. 基本方針

一、「淡路はひとつ」実現に向けて行動しよう。

一、信念を持った人づくり目指し行動しよう。

一、考える前にまず行動しよう。

3. 副理事長抱負

副理事長 上河 護 上村 雄二郎 沖田 和良 廣井 公壽



社団法人淡路青年会議所のメンバーなら、誰もが志を胸に秘め行動をしている事でしょう。しかし混沌とした時代の中、急速に変化する時の流れに対応するためには、経済的、時間的にもあまりゆとりが無いのが実状であると思います。だからと言って我々のJC運動がおざなりになっては「明るい豊かな淡路島」は実現しません。ゆとりが無い時代だからこそ、我々が先頭に立って行動できるように牽引していく必要があります。

JCでは理事長の所信の下、理事には理事として、メンバーにはメンバーとしてのそれぞれに与えられた役割や目的があります。しかし、個々がその与えられた役割や目的に向かって自覚を持ち、志をだし惜しみすること無く発揮しなくてはその役割や目的、そして理事長が指し示す所信を達成することは不可能です。メンバー減少が叫ばれる中だからこそ、改めてメンバーが一丸となってJC活動に取り組む必要があると考えます。その為には組織としての意志統一と効率のよい運営が特に重要と考えます。意思統一がなければ進む道が不安定になります。効率のよい運営がなければ時間を無駄に浪費するだけで何も生まれません。今年度与えていただいた副理事長としての立場をしっかりと認識し三役間の意志統一をはかり、JC活動から学んだ経験・諸先輩方から学んだことをしっかりと伝え各委員会が方向性を見失わないようにしっかりとサポートするように努めてまいります。そして趣旨目的を的確にとらえた濃厚かつ合理的なJC活動が行えるように努めてまいります。

共に伝え・共に学び・共に行動する。その環境を造ることが理事長の掲げる「所信・基本方針」が遂行される糧となり、それが「明るい豊かな淡路島」の実現につながると確信しております。

基本方針

1. 積極的な関わりのなかで、よきパイプ役として行動します。
2. 委員会、会議のスムーズな運営に努めます。
3. メンバーとの関わりを深め、率先して行動します。

4. 専務理事抱負

専務理事 向内 英光



青年会議所は、単年度制により毎年様々な役割を担う機会が与えられ、1年間その役職において、自らの啓発、メンバーとの関り、地域への奉仕を懸命に行うものであると考えます。同様に我々社団法人淡路青年会議所も明るい豊かな淡路島の実現を目指し、それぞれの立場で自分の役職に対して行動・調査研究・思考・検討を繰り返し、懸命に活動を行っています。

日本の経済や行政が低迷し、行く先の見えない時代においても今を生きる青年経済人として、子ども達の明るい未来、そして淡路島の明るい未来を築くのは我々JCメンバーの努めであると考えます。昨今の時代背景において日々の社会活動の中でメンバー各自がJC活動を十分に行うことは、非常に難しいことでもあります。このような時代だからこそ、何事にも揺るがない組織力が必要であります。経験年数や年齢など様々であります、全員が社団法人淡路青年会議所のメンバーであることを自覚し、全ての事に対して助け合い、切磋琢磨する組織でなければなりません。組織で担う役割は重要です。それぞれの役割においての一心不乱な行動こそが、組織力向上を生み本年度の全ての事業が円滑に進むことに繋がると考えます。このような混沌とした時代だからこそ、我々が行う活動の存在価値がより発揮できます。自信と誇りを持ち、困難に打ち勝ち、何物にも屈しない行動こそが明るい豊かな淡路島の実現に向けての一閃となりえるものと確信いたします。

最後に、私が務める専務理事という役職は組織内部に限らず様々な情報にアンテナをはり、発信しなければならない重要な立場であると考えます。理事長を初め、すべてのメンバーに正確かつタイムリーな情報提供をパイプ役として行い、何事に対してもいち早く行動いたします。

基本方針

1. 全てに目を配り、行動します。
2. 組織力の向上に努め、行動します。
3. 組織運営の円滑化に努め、行動します。

5. 監事抱負

監事 木原慎陽



2011年度、社団法人淡路青年会議所の監事を務めさせていただくことになりました。監事として、冷静に本来の役割を遂行するのは勿論、時には熱くメンバーの皆さんと共にJC活動をしていきたいと思っています。また、今までの経験、諸先輩方から受け継いだ伝統を伝えることも大切な役割だと思っておりますので、積極的にかかわりを持ち一年間精一杯頑張る所存でございますので、メンバーの皆さんのご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

監事 横山 仁志



2011年度社団法人淡路青年会議所の監事をさせていただくことになりました。私自身、1998年度の入会から多くの先輩方に淡路JCが行うべきこと、やらなければならないことを様々な角度から教えていただきました。本年度は監事として事業を監査するのはもちろんのこと、メンバーの方々がそれぞれの役職で行っていること、それが最終的に明るい豊かな淡路島づくりに向けてどのように繋がっているのかを十分に見極めながら、受継がれた淡路JC魂をしっかりと伝えていきたいと考えています。その中で配慮すべきは個々の意思であります。

特に理事会においてはメンバーの意思を活かしながら方向を同じくしなければなりません。監事という立場でその点を十分注意しながら皆様へ少しでもお役に立てるよう努力してまいります。1年間ご協力の程よろしくお願い致します。

6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 真野 貴司



組織とは共通の目標を有し、目標達成のために協働する長を中心に統率された複数の人々のことでもあります。青年会議所では理事長が掲げた所信に基づき、目標達成のためにその年度を邁進いたします。協働するにあたり理事長の秘書的業務や専務理事の補佐など、社団法人淡路青年会議所の基礎的役割を担い行動することが、理事長公室に与えられた役割であると考えます。

理事長公室では、決められた役割を着実に実行していくことが必要です。その中でも、三役と各委員長との良きパイプ役としての積極的な関わりを持つことで、2011年度理事長の下、所信の実現に向けて各委員会がしっかりと行動できる素地を創るよう邁進して参ります。

また、JC全体の関わりが薄れていく中で、まず我々公室メンバーが行動し、各委員会同士の連絡調整役として関わりを深めていくことが社団法人淡路青年会議所全体の志を一つにまとめ、理事長所信を完遂する一助であると考えます。我々を取り巻く社会情勢は時代の流れにより左右され、厳しいものがあります。そのような中でも、志を持ち淡路島の先駆者としてのJC活動となるべく委員会や各会議の運営、時間的な面など時代に合わせ見直していく事も大切です。そのためには、理事長公室が積極的に考え、変えるべきところは変えていくことで、効率的かつ議論に集中できる会議の設営並びに運営となるよう行動して参ります。

公室メンバーが行動をもって役割を着実に遂行していく事により組織の1年間の活動がスムーズかつ活気に溢れ率先した行動を生み、その行動こそが社団法人淡路青年会議所が光り輝く組織となる原動力になるものと確信いたします。

基本方針

1. 積極的な関わりのなかで、よきパイプ役として行動します。
2. 委員会、会議のスムーズな運営に努めます。
3. メンバーとの関わりを深め、率先して行動します。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|---------|----|-------------|-----|---------|---|
| 会員名簿の作成 | 2月 | 会員名簿の作成及び発行 | 会員 | 315,000 | 128P 360部 (現役58部 特別会員等 272部 予備 30部) |
| | | | 合計 | 315,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--|-------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐 ・ 一般庶務事項及び発送文章の管理 ・ 本会計に関する財務処理及びコストダウンの調査 ・ 公益法人制度改革に関する諸業務及び窓口業務 ・ 事務局全般にわたる業務と管理及びコストダウンの調査 ・ 通信案内簿及び諸記録の整理 ・ 渉外業務全般 ・ 会費の徴収 ・ 理事会の設営及び議事録の作成 ・ 三役会の設営 ・ 会員名簿及び名刺の作成 ・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整） ・ 公室活動の記録保存 ・ 全事業への参加協力 ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 前期・後期 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |
| | 通年 | |

会員委員会

委員長 木下 紘二



昨今の世の中の状況下において、今まさにこれらを乗り越え、『明るい豊かな淡路島』の実現に向かって進めていかねばなりません。それには我々メンバーが同じ方向性のもと、共に手を携え、若者らしく行動していくことが重要であります。会員相互の交流が絆を育み友情を芽生えさせ、その結果、社団法人淡路青年会議所がより強い組織を形成していくと考えます。

新年のスタートに際し、2011年社団法人淡路青年会議所の新体制と理事長所信をお披露目し、志を伝え最高のスタートが切れるようにいたします。また、その席上では、諸先輩方との親睦を通じ、これまで培ってこられた精神や軌跡を受け継ぐ大切な機会と捉え、おもてなしの心をもって交流を図って参ります。世代を超えた人と人との繋がりが我々の活力へと繋がっていくものと考えます。次に、我々は様々な活動を推進していく中で、JCの存在と活力を発信する必要があります。そのためには我々会員が本来持ち合わせている若者らしさ、元気はつらつとした前向きさを存分に発揮し、家族参加型の事業としてより大きな規模で展開し、我々の存在と活力をアピールすると共に、家族間交流にも繋げて参ります。そして我々がJC活動を邁進出来るのも、家族の支えがあつてのことです。家族とメンバーの笑顔が溢れる楽しい事業を行い、感謝の気持ちを込めて進めて参ります。そして家族により深い理解を得ることで、我々が大いなる志を胸にJC活動を続けていくための大きな原動力になることと確信しております。

我々はJC活動を通じて、さまざまな交流の場と経験の場を与えられていることに改めて感謝をしなければなりません。我々の会員委員会の事業を通じ、会員相互の結束を深め淡路JCがより強い組織となることを確信いたします。

基本方針

1. メンバーに元気を与え、廻りにも活力をアピールできるよう行動します。
2. 楽しく思い出に残る演出を企画・実施します。
3. 感謝の気持ちとおもてなしの心を持って行動します。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|--------------------|-----|--|-------------------|---------|--------|
| 新年会 | 1月 | 新年度体制をお披露目すると共に、特別会員との親睦を図る。 | 正会員・特別会員・来賓・他 LOM | 280,000 | 会場設営費等 |
| JC の存在と活力を発信できる事業 | 8月 | 淡路 JC の存在をアピールすると共に、他 LOM ・ 家族との交流を図る。 | 正会員・家族・特別会員・他 LOM | 200,000 | 会場設営費等 |
| 家族に向けた感謝の気持ちを伝える事業 | 12月 | 家族への日頃の感謝の気持ちを込めて、おもてなしをし、一年の労をねぎらう。 | 正会員・家族 | 500,000 | 会場設営費等 |
| | | | 合計 | 980,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|----------------------------|-----|------|
| ・ 新年会の企画・設営及び運営 | 1月 | |
| ・ JC の存在と活力を発信できる事業の企画・開催 | 8月 | |
| ・ 家族に向けた感謝の気持ちを伝える事業の企画・開催 | 12月 | |
| ・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整） | 通年 | |
| ・ 委員会活動及び事業の記録保存全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

拡大・渉外委員会

委員長 平川 智己



近年、各地青年会議所において会員減少は顕著であり、我々社団法人淡路青年会議所でも大きな問題となっております。活発な議論を繰り広げ、発言力を持って社会に影響を与えていくためには、しっかりとした組織が必要であります。その為にも我々の行っている活動の意義や目的をはっきりと伝え、理解していただき、志をもった同士を拡大する必要があります。

個々が持つ情報やネットワークは小さいかもしれませんが。そのような中、今まで以上に拡大活動を繰り広げて行くには現役メンバー、特別会員とのさらなる連携と企業へ直接訪問し様々な情報を提供していただくと共に、情報提供者とのコミュニケーションを密にして拡大協力体制を構築する必要があります。その為には、ささいな情報であっても足を運び、時間を惜しまず率先して行動いたします。そして、入会候補者の知りたいことや、考えを委員会メンバーがしっかりとリサーチし、候補者が納得するまで話し合い、入会へと導きたいと考えます。しかし、会話だけでは伝えきれないことや理解しがたい事があります。より深く社団法人淡路青年会議所、そしてメンバー個々の魅力を知っていただく為に、実際にJC活動の一部を体験していただき、多くのメンバーとの交流を深める事が一番であると考えます。我々の志を余すことなく伝え、候補者の持っている内に秘めた意識を掘り起こし、入会に導き、同士として共に活動ができるように確実な拡大活動を行って参ります。

多くの志を共にする入会者が増加することは、Jaycee 相互の活性化につながります。個々がより活性化することで、委員会単位の更なる進化はもちろんの事、発信力を身にまとった、より大きな組織へと飛躍できることを確信いたします。

基本方針

1. 会員拡大活動の為には、時間を惜しまず活動致します。
2. LOM 全体に更なる拡大意欲を高める活動を致します。
3. 淡路 JC の魅力を伝える良き Jaycee となり活動致します。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|-----------|----|-----------|--------------|---------|-------------------------|
| 入会案内冊子作成 | 1月 | 入会案内冊子作成 | 入会対象者 | 53,000 | カー部数 300部 モ/カ部数 300部 |
| 拡大推進事業の開催 | 3月 | 企画・設営及び運営 | 正会員, 入会候補者 | 27,800 | 会場設営費、横断幕、資料作成費、予備費他 |
| 拡大推進事業の開催 | 9月 | 企画・設営及び運営 | 正会員 入会候補者 | 27,800 | 会場設営費、横断幕、資料作成費、予備費 |
| | | | 合計 | 108,600 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員拡大に関する諸業務 ・ 拡大推進事業の開催 ・ ゴルフ同好会の企画・運営・卒業ゴルフコンペの開催 ・ 公的出向時の LOM ナイトの設営 ・ 委員会活動及び事業の記録保持 ・ 全事業への参加協力 ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 3・9月 年4回 年4回 通年 通年 通年 | ゴルフ同好会 3回、卒業コンペ 1回 合同委員長会議 11月・2月、京都会議 1月、サマコン 7月 |

総務・広報委員会

委員長 三倉 克仁



JC 運動の基本は地域社会のための運動である。我々社団法人淡路青年会議所は明るい豊かな淡路島のために、日々活動を行っております。その活動の基盤は地域社会であり、地域社会の活性化なくして明るい豊かな淡路島の実現はありえません。だからこそ、より多くの人々に我々の活動や念いを伝えること、そして知ってもらうことが必要であると考えます。

近年の急速な情報通信技術の発展により、ホームページの重要性はさらに増しています。そして多種多様なホームページの中で、多くの人々に閲覧していただくためにはさらなる工夫が必要だと考えます。我々の活動や念いを伝える事、より多くの情報をリアルタイムに発信していく事はもちろんの事、閲覧された一般の方々に社団法人淡路青年会議所の活動をより身近に感じてもらい今まで以上に興味を持っていただくために、メンバーの顔が見える工夫や個々の喜怒哀楽が伝わるホームページを作成いたします。さらに、利用者数が多い携帯端末や新しい情報発信方法を取り入れるなど、閲覧する機会の増加を図る取り組みを行ってまいります。

また、対外へ様々な情報を発信する為には、メンバー全てが意識そして念いを共有しなくてはなりません。対内広報紙においては理事長所信の下、事業・委員会・個人等 積極的な取材と関わりの中で情報を掴み、LOM 内そして特別会員の皆様にメンバーの念いや努力そして喜怒哀楽が伝わる紙面を提供いたします。

意識そして情報の共有は個々の念いを大志にかえます。そして、多くの人にその大志を発信する事が社団法人淡路青年会議所と共に「明るい豊かな淡路島」実現に向けて一歩踏み出すきっかけづくりになると確信しております。

基本方針

1. 積極的な取材と関わりの中で情報を掴みます。
2. 新しい情報発信方法の調査研究を行います。
3. 念いを持って大志を伝えます。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|-------------------------------|-----------|-------------------|-------------|---------|-------------|
| ・ 対内広報紙の発行 | 毎月 | 対内広報紙の発行 | 正会員 特別会員 | 416,000 | 370部×12回 |
| ・ ホームページの立ち上げ・管理・運営 | 通年 | ホームページの立ち上げ・管理・運営 | 正会員 一般 | 162,000 | ホームページ制作運営費 |
| ・ 総合資料の作成 | 2月 | PDFデータ及びCD-R | 正会員 | 1,000 | 保存用として |
| ・ 選挙管理委員会の設置 | 7月 | | 正会員 | 0 | |
| ・ 総会・臨時総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成 | 1, 8, 12月 | | 正会員 | 0 | |
| | | | 合計 | 579,000 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--------------------------------|-----------|--------------------|
| ・ 対内広報紙の発行 | 通年 | 第73回、第74回通常総会、臨時総会 |
| ・ ホームページの立ち上げ・管理・運営 | 通年 | |
| ・ 総合資料の作成 | 通年 | |
| ・ 選挙管理委員会の設置 | 7月 | |
| ・ 総会・臨時総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成 | 1, 8, 12月 | |
| ・ 褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会の企画・設営及び運営 | 通年 | |
| ・ 会員拡大に関する業務 | 通年 | |
| ・ 委員会活動及び事業の記録保存 | 通年 | |
| ・ 全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

例会委員会

委員長 中村 篤弘



Jaycee として、熱い志を同じうする者相集い力を合わせ率先して行動することを宣言する。急速に変化する時代の中、我々青年会議所メンバーは目先の“苦”にとらわれ、本質を見失ってはいないでしょうか。しっかりと時代をとらえ、未来を創る。我々はそのような誇りある Jaycee でなくてはなりません。その Jaycee を造るのが例会であり、JC 活動の基盤そして組織を造る最も大切な基となるのが例会であると考えます。

多様な価値観が存在するなか、各々が考える明るい豊かな未来は違えども、「明るい豊かな淡路島づくり」を目指し、未来を明るいものにするために、我々は活動しております。しかし質の高い人材がいくら集まろうとも、それぞれが違う未来に向けて行動すると、ビジョンを遂行することはできません。理事長の指し示す所信の下、互いの価値観を共有するために徹底的に議論を深める事で、インターメディアリー(様々な活動を相互補完し、ベクトルを統合した大きなパワーの集まり)を確立したいと考えます。我々は一人で生きていません。価値観を共有する事は、社団法人淡路青年会議所、そしてメンバー相互の共通した誇りと絆を生みだし、それが未来に向けて行動する為の大きな力になると確信いたします。また、「外装整えば内装自ら熟す」という言葉があります。JC 活動の基礎をゆるぎないものにする為には精度の高い精査された例会設営が重要です。出席したメンバーが凜とした気持ちで例会に臨める。それこそが、例会設営にあたる本質であると考え、JC メンバーの誇りになるものと確信いたします。

青年経済人として、様々な資質が必要とされます。すべてにおいて学び、“未来への責任我にあり”という気概、情熱を持つことができた時、我々は真の Jaycee となり、誇り高き社団法人淡路青年会議所となることと確信いたします。

基本方針

1. セレモニーを胸張って、声高らかに行います。
2. 各委員会と率先して関わり、議論を深めます。
3. 誇り高き人格となるための調査研究を徹底的に行います

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|-------------|----|-------------------|-----|---------|------------|
| 例会の企画、設営、運営 | 通年 | 毎月の例会企画、 設営、運営 | 正会員 | 575,750 | 会場設営費 等 |
| | | | 合計 | 575,750 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--|----------------------------------|------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 例会の企画、設営、運営 ・ 例会欠席者へのアテンドフォロー ・ 会員拡大に関する業務 ・ 委員会活動及び事業の記録保存 ・ 各事業への参加協力 ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 通年 通年 通年 通年 通年 | |

未来創造委員会

委員長 出口 利一



子どもたちには未来があります。しかし、子どもたちを取り囲む環境や時代の変化に伴い、自分の可能性を見出す場が少なくなっています。だからこそ、大きな可能性と純粋な心を併せ持つ子どもたちに、何事にも前向きに挑戦する強い心を持つ大切さを伝えなければなりません。そしてメンバーに対しては、社団法人淡路青年会議所の未来へ繋ぐべく創立 50 周年に向けた意識高揚を図り、今後の淡路 JC を創造する必要があると考えます。

新しいことに挑戦するには勇気が必要です。最初の小さな一歩を踏み出すことは、子どもたちの大きな可能性が芽生える大切なきっかけになります。新たな事に挑戦をする意欲、それこそが子どもたちの無限の可能性を引き出す一助となるのではないのでしょうか。わんぱく相撲を通じ、自らの夢に向かい一歩踏み出す勇気と情熱の大切さを伝える事業を開催いたします。ここで培った経験が、子どもたち自らが明確な目標を掲げ、未来へ邁進する意欲に繋がると確信しております。そして、今年度はわんぱく相撲の地区大会が新たに加わったことで、淡路島の子どもたち全員が全国大会へ出場し、それぞれの目標を達成できるように、全力でサポートを致します。

また、2012 年に社団法人淡路青年会議所創立 50 周年を迎えます。半世紀間の活動と、これからを見据え、「明るい豊かな淡路島」の未来を自らの手で創造していく力を持ち、今後の JC 活動行う上で、ここで更に確固たる信念を胸にまっすぐに行動できる事業を開催します。

未来を担う子どもたち自身が夢や希望を持ちさまざまな分野に挑戦し成長を遂げ、我々社団法人淡路青年会議所活動の会員一人ひとりが志を胸に行動へと繋がっていくことで、「明るい豊かな淡路島」実現に向かうと確信します。

基本方針

1. 夢や希望に力強く歩む糧となれるように邁進します。
2. 自らが明るい豊かな淡路島づくりの担い手になれるよう自覚と責任を持ちます。
3. 確固たる信念を胸に創立 50 周年に向けた意識高揚を計ります。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|------------------|------|-------------------------------|---------|---------|--------------------------|
| ・ 青少年育成に伴うわんぱく相撲 | 5 月 | 青少年育成に伴うわんぱく相撲の設営及び運営 | 島内在住小学生 | 700,000 | 会場設営費、広告費、地区大会登録料、資料作成費等 |
| ・ 未来創造委員会事業 | 10 月 | 創立 50 周年に向けたメンバーの意識を高揚させる為の事業 | 正会員 | 1,350 | 設営、運営費等 |
| | | | 合計 | 701,350 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--|------|------|
| ・ 青少年育成に伴うわんぱく相撲の企画・設営及び運営 | 5 月 | |
| ・ 創立 50 周年に向けたメンバーの意識を高揚させる為の事業（10 月、） | 10 月 | |
| ・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整） | 通年 | |
| ・ 委員会活動及び事業の記録保存 | 通年 | |
| ・ 全事業への参加協力 | 通年 | |
| ・ 理事長諮問に関する答申業務 | 通年 | |

社会開発委員会

委員長 大畑 一也



かつて淡路島には1市10町の市町村が存在し、行政区が島内で分割されていましたが、2005年度より各市町村で合併が執り行われ、現在は洲本市、南あわじ市、淡路市の3市に統合されました。しかし、淡路島に暮らす住民の生活圏、経済圏は島内全域であり、行政と生活圏の不均衡が解消されたとは言えない状況にあります。このような状況をいつまでも続けることは淡路島の発展にとって利がなく、早く解消することが望まれます。

淡路島は阪神経済圏域に面しており、優れた立地条件を備えています。観光資源、農産物、海産物などの資源にも恵まれ、それらの資源を十分に活かすことができれば、多大な発展を期待できる要素を秘めています。しかし、住民の生活サービスは勿論のこと、経済、教育、福祉といった面でも地域行政の施策が重要度を増す中、淡路島は行政区を3市で分割し、行政と生活圏の不均衡は継続されており、現在の3市体制では島内全域を捉えた政策施行は成されず、恵まれた条件を有する淡路島であっても、雑然とした状況を解決しなければ今後の発展に大きな影響が出るものと考えます。このような現状を打開するべく、社団法人淡路青年会議所として淡路一市運動を展開します。3市体制になってから以後の島民の意識、行政の状況、そして島外の広域行政のあり方、それらの現状を調査するとともに、運動推進の意義をメンバーと共有し、淡路一市を推進する中心組織としての役割を担い、実現へと向かうために行動いたします。また淡路一市の必要性を多くの方に発信し、行政合併への推進力増加を目的に住民に対する啓発活動も行って参ります。

淡路島の行政区と生活圏が一致し、島内全域を捉えた地域行政が行われること、それが今後の淡路島の発展のために必要不可欠であり、「明るい豊かな淡路島」の実現の礎となるものと確信いたします。

基本方針

1. 「淡路一市」の実現に向けて邁進いたします。
2. 淡路島に差し込む一閃の光となるべく行動します。
3. 島民の啓発活動を積極的に行います。

事業計画並びに予算及び役割業務

| 事業計画 | 実施月 | 内容 | 対象者 | 予算額 | 備考 |
|-------------------|-----|--------------------|------------|-----------|---------------|
| ・社会開発事業の企画・設営及び運営 | 3月 | メンバーの意識高揚事業（例会内にて） | 正会員 準会員 | 8,500 | 講師関係費 資料費等 |
| | 6月 | 「淡路一市フォーラム」の実施 | 淡路島民 | 1,000,000 | 会場費 会場設営費等 |
| | 7月～ | 淡路一市啓発運動 | 淡路島民 | 860,000 | 広告費 |
| | | | 合計 | 1,868,500 | |

| 役割業務 | 実施月 | 業務内容 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・社会開発事業の企画・開催 ・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整） ・委員会活動及び事業の記録保存 ・全事業への参加協力 ・理事長諮問に関する答申業務 | 3月、 6月、 7月～ 通年 通年 通年 通年 | メンバーの意識高揚を目的とする例会の開催、「淡路一市フォーラム」の実施、淡路一市啓発運動の実施 |

7. 出向者抱負

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 地区大会運営委員会

柏木 敏孝



地区大会運営委員会に出向させていただくことになりました。LOMでの経験をめいっぱい発揮して、淡路JCの一員らしく色濃く活動してきたいと思います。また情報交換を活発にしてLOMの円滑な運営の参考にしたいとも考えております。新しい出会いで、一人でも多くの気の合う仲間が近畿中にできるようがんばってきたいと思います。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 近畿スタイル確立委員会

長尾 泰宏



近畿スタイル確立委員会に出向させて頂く事になりました。近畿への出向は初めてで不安もありますが、今までにない新たな学び、そして友人の輪を広げる機会を与えて頂いた事に感謝しております。自分なりに一年間頑張ってまいりますので、メンバー諸兄のご指導、ご協力をよろしくお願いします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

中村 篤弘



財政特別委員会へ出向させて頂くことになりました。ブロックの事業を行うために重要となる事項を審査する役割となります。予算やコンプライアンスについて審査するとあって、面白みに欠けるように感じますが、非常に奥深い委員会だと認識しています。そして淡路 JC を代表して出向していることを忘れず、委員会には皆出席できるよう努めてまいります。一年間、他 LOM の方々と関わり、楽しんでまいりたい、そんな風を考えております。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の魅力創造会議

大畑 一也



兵庫の魅力創造会議に出向させていただくことになりました。この会議は、兵庫ブロックで主催する兵庫県知事との懇談会の企画・設営、そして兵庫県に暮らす中学生を集め、県政について県議員と話し合うこども県議会の開催を担当している会議です。

私自身、09年にセクレタリー、10年に財政特別会議に出向致しましたが、このような大きな事業を担当する会議に出向するのは初めてです。淡路 JC から出向しているとの自覚を持ち、頑

張りたいと考えます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員大会運営委員会

出口 利一



会員大会運営委員会に出向させていただくことになりました。今年の会員大会は尼崎にて開催致しますので、多くのメンバーのご参加宜しくをお願いいたします。他 LOM の方々と交流し、ここで培った経験を淡路へ持ち帰り、役立てたいと考えます。メンバーの皆様には一年間ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

戦略広報委員会

三倉 克仁



本年度、兵庫ブロック協議会 戦略広報委員会に出向させていただくことになりました。主に、HP 等で活動を PR する委員会ではありますが、京都会議・サマコン・全国大会でのブロックナイトなども設営いたします。今年度、LOM で総務・広報委員会の委員長をさせていただいておりますので、その経験を兵庫ブロックにて発揮して、またブロックで経験したことを LOM に活かせるように 1 年間頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進委員会

副委員長 木下 紘二



公益社団法人日本青年会議所 日本 JC 連携推進委員会に出向させていただくことになりました。私にとって JC は、新たな発見をさせてもらえる場であり、JC 活動に積極的に参加すればするほど、その経験により、自身の力として返ってくるものと考えております。本年度は兵庫ブロックにて、より広い範囲での活動となりますが、初めて出会う各地のメンバーの方々と交流を図り、淡路島をアピールし、これらの貴重な経験をさせていただけることに感謝をし、今後に繋がる 1 年にしたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員拡大実践会議

平川 智己



本年度、兵庫ブロック協議会 会員拡大実践会議にに出向させていただくことになりました。ブロックでの経験を活かし、今年度 LOM では会員拡大 17 名を必達する為に、JC 生活の全てを賭けて行動します。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

法月 正義



はじめに、この度兵庫アカデミー委員会に出向する機会を与えて頂き、誠にありがとうございます。このチャンスを活かせる様頑張ります。私の淡路 JC での活動目標は、段取り力、スピーチ力、スケジュール管理力を養うことですが、兵庫アカデミー委員会では「積極性と友情」を念頭に行動して行きます。積極性については、失敗を恐れず、積極的に発言し、全力投球で事業に取り組んでいきます。友情については、喜びを分かち合える仲間を一人、見つけられる様に努力致します。

藤井 宏昌



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。JC 活動する上での背景や目的をしっかりと理解し、今後の活動を通して、自分自身のスキルアップへと繋げていければと考えております。まずは、出席する事からを重きにおいて、一年間頑張っ参ります。至らぬ私ですが、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

三原 正行



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。JC について学べるまたとない機会であると思っております。自身のスキルアップを図ると共に他 LOM のメンバーと交流を深め今後の JC 活動に活かしたいと考えております。一年間、ご指導宜しくお願い致します。

8. 一般会計収支予算

収入の部

自 2011年 1月 1日
至 2011年 12月 31日

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 2011年度修正予算 | 2011年度当初予算 | 当初予算との比較 | 備 考 |
|------|------|----------|------------|------------|------------|------------------|
| 会 費 | | | 9,880,000 | 10,040,000 | -160,000 | |
| | 会 費 | | 9,880,000 | 10,040,000 | -160,000 | |
| | | 新会員会費 | 480,000 | 640,000 | -160,000 | 新入会員 3名×¥160,000 |
| | | 正会員会費 | 9,280,000 | 9,280,000 | 0 | 58名×¥160,000 |
| | | 特別会費 | 120,000 | 120,000 | 0 | 卒業生4名×¥30,000 |
| 入会金 | | | 150,000 | 200,000 | -50,000 | |
| | 入会金 | | 150,000 | 200,000 | -50,000 | |
| | | 入会金 | 150,000 | 200,000 | -50,000 | 新入会員 3名×¥50,000 |
| 事業収入 | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 事業収入 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 補助金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 助成金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 登録料 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 登録料 | 0 | | 0 | |
| | 雑収入 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 雑収入 | 0 | | 0 | |
| 寄付金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 寄付金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 寄付金 | 0 | | 0 | |
| | | 一般寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 繰入金 | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 繰入金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 特別事業基金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 職員退職金 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 事務局整備引当金 | 0 | 0 | 0 | |
| 雑収入 | | | 0 | 3,000 | -3,000 | |
| | 雑収入 | | 0 | 3,000 | -3,000 | |
| | | 受取利息 | 0 | 3,000 | -3,000 | |
| | | 雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 繰越金 | | | 2,860,596 | 540,000 | 2,320,596 | |
| | 繰越金 | | 2,860,596 | 540,000 | 2,320,596 | |
| | | 繰越金 | 2,320,596 | 0 | 2,320,596 | |
| | | 職員退職金 | 40,000 | 40,000 | 0 | |
| | | 事務局整備引当金 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 合 計 | | | 12,890,596 | 10,783,000 | 12,850,596 | |

支出の部

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 2011年度修正予算 | 2011年度当初予算 | 当初予算との比較 | 備 考 |
|------------|------|---------|------------|------------|--------------------|--------------------|
| 法人費 | | | 5,131,005 | 5,164,800 | -33,795 | |
| | 会議費 | | 252,000 | 252,000 | 0 | |
| | | 総会費 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 理事会費 | 252,000 | 252,000 | 0 | 21000円/回*12回 |
| | 人件費 | | 1,110,000 | 1,110,000 | 0 | |
| | | 給料 | 960,000 | 960,000 | 0 | |
| | | 諸手当 | 150,000 | 150,000 | 0 | 交通費他 |
| | | 退職金 | | 0 | 0 | |
| | 渉外費 | | 200,000 | 150,000 | 50,000 | |
| | | 渉外費 | 200,000 | 150,000 | 50,000 | 周年等 |
| | 慶弔費 | | 200,000 | 100,000 | 100,000 | |
| | | 慶弔費 | 200,000 | 100,000 | 100,000 | |
| | 事務費 | | 2,360,000 | 2,187,910 | 172,090 | |
| | | 印刷費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| | | 消耗品費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| | | 通信費 | 520,000 | 500,000 | 20,000 | 電話代、JCﾌﾟﾚｽ送料等 |
| | | 賃貸料 | 1,020,000 | 1,020,000 | 0 | ¥85,000×12ヶ月 |
| | | 水道光熱費 | 250,000 | 250,000 | 0 | |
| | | 什器備品費 | 120,000 | 0 | 120,000 | パソコン購入代金 |
| | | 修理費 | 100,000 | 70,000 | 30,000 | FAX・電話等 |
| | | 雑費 | 100,000 | 97,910 | 2,090 | 新聞代等 |
| | | 報酬料金費 | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| | 租税公課 | | 25,000 | 25,000 | 0 | |
| | | 租税公課 | 25,000 | 25,000 | 0 | 印紙代等 |
| | 負担金 | | 984,005 | 939,890 | 44,115 | |
| | | JCI会費 | 65,880 | 62,640 | 3,240 | ¥1080×61名 |
| | | 日本JCI会費 | 350,000 | 335,000 | 15,000 | ¥45,000+¥5,000×61名 |
| 国際協力資金 | | 111,325 | 105,850 | 5,475 | ¥5×365日×61名 | |
| 近畿地区会費 | | 111,800 | 106,400 | 5,400 | ¥2,000+¥1800×61名 | |
| 兵づ会費 | | 345,000 | 330,000 | 15,000 | ¥40,000+¥5,000×61名 | |
| WE BELIEVE | | 0 | 0 | 0 | 預り金 | |

支出の部

単位：円

| 款 | 項 | 目 | 2011年度修正予算 | 2011年度当初予算 | 当初予算との比較 | 備 考 |
|--------|----------|-----------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業費 | | | 5,128,200 | 5,128,200 | 0 | |
| | 理事長公室 | | 315,000 | 315,000 | 0 | |
| | | | 315,000 | 315,000 | 0 | |
| | 会員 | | 980,000 | 980,000 | 0 | |
| | | | 980,000 | 980,000 | 0 | |
| | 拡大渉外 | | 108,600 | 108,600 | 0 | |
| | | | 108,600 | 108,600 | 0 | |
| | 総務・広報 | | 579,000 | 579,000 | 0 | |
| | | | 579,000 | 579,000 | 0 | |
| | 例会 | | 575,750 | 575,750 | 0 | |
| | | | 575,750 | 575,750 | 0 | |
| | 未来創造 | | 701,350 | 701,350 | 0 | |
| | | | 701,350 | 701,350 | 0 | |
| | 社会開発 | | 1,868,500 | 1,868,500 | 0 | |
| | | 1,868,500 | 1,868,500 | 0 | | |
| | | | 0 | 0 | | |
| | | | 0 | 0 | | |
| | | | 0 | 0 | | |
| | | | 0 | 0 | | |
| 予備費 | | | 1,571,391 | 0 | 1,571,391 | |
| | 予備費 | | 1,571,391 | 0 | 1,571,391 | |
| | | 予備費 | 1,571,391 | 0 | 1,571,391 | |
| 繰出金 | | | 500,000 | 0 | 500,000 | 特別事業基金に拠出 |
| | 繰出金 | | 500,000 | 0 | 500,000 | |
| | | 繰出金 | 500,000 | 0 | 500,000 | |
| その他の支出 | | | 0 | 0 | 0 | |
| | 敷金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 敷金 | 0 | 0 | 0 | |
| | 固定資産購入支出 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 什器備品 | 0 | 0 | 0 | |
| | 出資金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | | 有価証券購入 | 0 | 0 | 0 | |
| 繰越金 | | | 560,000 | 560,000 | 560,000 | |
| | 繰越金 | | 560,000 | 560,000 | 560,000 | |
| | | 繰越金 | | 0 | 0 | |
| | | 職員退職金 | 60,000 | 60,000 | 60,000 | |
| | | 事務局整備引当金 | 500,000 | 500,000 | 500,000 | 事務局移転の可能性考慮 |
| 合 計 | | | 12,890,596 | 10,448,320 | 12,890,596 | |

9. 特別事業基金（特別会計）収支予算

2011年度 特別事業基金修正収支予算書

単位：円

| 収入の部 | | | | 支出の部 | | | |
|-----------|------------|------------|----------|-----------|------------|------------|----------|
| 科目 | 2011年度修正予算 | 2011年度当初予算 | 当初予算との比較 | 科目 | 2011年度修正予算 | 2011年度当初予算 | 当初予算との比較 |
| 2010年度繰越金 | 4,221,420 | 4,220,088 | 1,332 | 2010年度繰出金 | 0 | 0 | 0 |
| 2011年度繰入金 | 500,000 | 0 | 500,000 | 2011年度繰越金 | 4,221,420 | 4,220,088 | 1,332 |
| 雑収入 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 4,721,420 | 4,220,088 | 501,332 | 合計 | 4,221,420 | 4,220,088 | 1,332 |

10. 2011年度 社団法人淡路青年会議所 役員名簿

| | | |
|-------|----|-----|
| 理事長 | 畑野 | 信行 |
| 直前理事長 | 後藤 | 英範 |
| 副理事長 | 上河 | 護 |
| | 上村 | 雄二郎 |
| | 沖田 | 和良 |
| | 廣井 | 公壽 |
| 専務理事 | 向内 | 英光 |
| 理事 | 大畑 | 一也 |
| | 木下 | 紘二 |
| | 出口 | 利一 |
| | 中村 | 篤弘 |
| | 平川 | 智己 |
| | 真野 | 貴司 |
| | 三倉 | 克仁 |
| 出向理事 | 齊藤 | 新太 |
| | 柏木 | 敏孝 |
| | 長尾 | 泰宏 |
| | 中西 | 仁志 |
| 監事 | 木原 | 慎陽 |
| | 横山 | 仁志 |

11. 出向者一覧

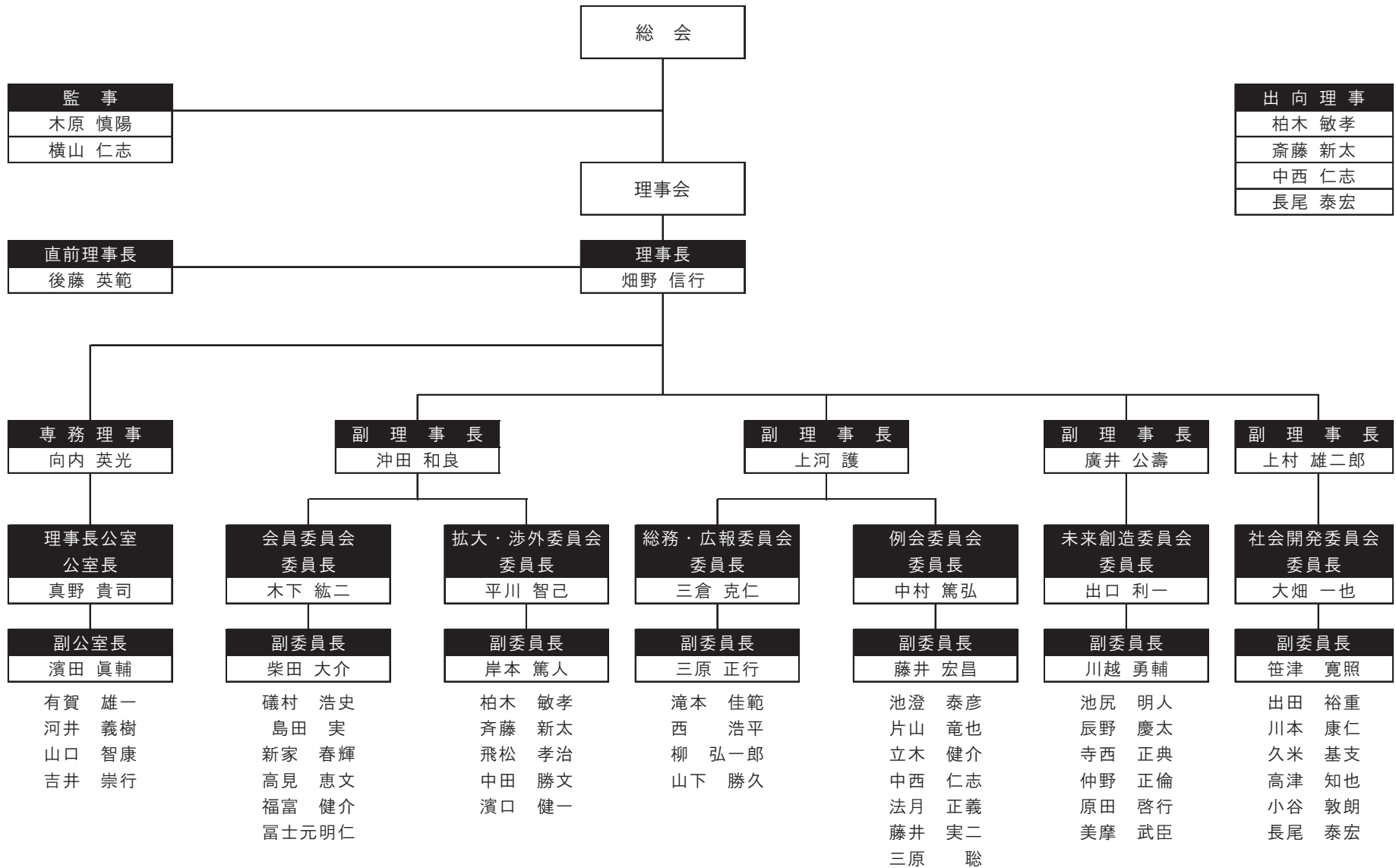
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|----------------|-----|-------|
| 地区大会運営委員会 | 委 員 | 柏木 敏孝 |
| 地区大会運営委員会 | 委 員 | 中西 仁志 |
| ソーシャルデザイン確立委員会 | 委 員 | 斎藤 新太 |
| 近畿スタイル確立委員会 | 委 員 | 長尾 泰宏 |

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

| 出 向 先 | 役 職 | 出向者氏名 |
|---------------|------|-------|
| 財政特別委員会 | 委 員 | 中村 篤弘 |
| 兵庫の魅力創造会議 | 委 員 | 大畑 一也 |
| 会員大会運営委員会 | 委 員 | 出口 利一 |
| 戦略広報委員会 | 委 員 | 三倉 克仁 |
| 日本 JC 連携推進委員会 | 副委員長 | 木下 紘二 |
| 会員拡大実践会議 | 委 員 | 平川 智己 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 法月 正義 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 藤井 宏昌 |
| 兵庫アカデミー委員会 | 委 員 | 三原 正行 |

12. 組織及び委員会構成



13. 年間スケジュール

| | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------------|-----------------|---------------------------------------|--|--|---|---|--|---|---|---|--|---|--|
| 例 | 会 | 12日(水) 1月例会 16:00~17:30 淡路夢景 | 9日(水) 2月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 9日(水) 3月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 13日(水) 4月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 11日(水) 5月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 8日(水) 6月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 13日(水) 7月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 10日(水) 8月例会 18:30~20:00 洲本市文化体育館 | 14日(水) 9月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 12日(水) 10月例会 18:30~21:00 洲本市文化体育館 | 9日(水) 11月例会 17:30~20:00 洲本市文化体育館 | 17日(土) 12月例会 16:00~18:00 淡路島観光ホテル |
| 総 | 会 | 12日(水) 第73回通常総会 | | | | | | | 10日(水) 臨時総会 | | | | 17日(土) 第74回通常総会 |
| 理 | 事 | 5日(水) 17:30~19:00 夢海游 淡路島 | 2日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 2日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 6日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 6日(金) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 1日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 6日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 3日(水) 19:00~21:30 淡路島観光ホテル | 7日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 5日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 2日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 | 7日(水) 19:00~21:30 夢海游 淡路島 |
| 三 | 役 | 24日(月) | 21日(月) | 22日(火) | 25日(月) | 23日(月) | 27日(月) | 25日(月) | 29日(月) | 26日(月) | 24日(月) | 25日(月) | 26日(月) |
| 日本青年会議所 | | 京都会議 20日(木)~23日(日) | | | | | | | サマーコンファレンス(横浜) 16日(土)~17日(日) | 全国会員大会(名古屋) 29日(木)~10月2日(日) | | | |
| JCI関係 | | | | | | ASPAC 26日(木)~29日(日) | | | | | | JCI世界会議 10月31日(月)~5日(木) | |
| 近畿地区 | 会員会議所会議 地区事業 | 京都会議中 | | | | | | 地区大会中 近畿地区大会(西宮) | | | | | |
| 兵庫ブロック協議会 | 会員会議所会議 | | 26日(土)神戸 | | 23日(土)龍野 | | 25日(土)三木 | | 20日(土)豊岡 | | 29日(土)神戸 | | 17日(土)伊丹 |
| | 正副・役員会議 | 15日(土)西宮 | 12日(土)姫路 | 12日(土)篠山 | 9日(土)篠山 | 21日(土)尼崎 | 11日(土)明石 | 23日(土)南但 | 6日(土)川西 | 10日(土)小野加東 | 15日(土)加古川 | 12日(土)三田 | 17日(土)伊丹 |
| | 役員会議 | 15日(土)西宮 | 12日(土)姫路 | 12日(土)篠山 | 9日(土)篠山 | 21日(土)尼崎 | 11日(土)明石 | 23日(土)南但 | 6日(土)川西 | 10日(土)小野加東 | 15日(土)加古川 | 12日(土)三田 | 17日(土)伊丹 |
| | 合同委員長会議 | | 26日(土)神戸 | | | | | | | | 29日(土)神戸 | | |
| | 公式訪問役員懇談会 | | | | | | | | | | | | |
| その他事業 | | 7日北方領土の日 22日竹島の日 | 県議会JCI議員との懇談会 27日神戸新聞記者と懇談会 | 会頭訪問 | 3日憲法の日(ミーティング) | | | | 会員大会(尼崎) | 知事懇談会 | | | |
| 周年詳細未定 | | | | | | | | | | | | | |
| 兵庫ブロック内各地周年記念式典 | | | | | | | | | | | | | |
| 各委員会事業計画 | 理事長公室 | | 会員名簿 | | | | | | | | | | |
| | 会員 | 新年会 | | | | | | | | | | | |
| | 拡大渉外 | 入会案内冊子作成 | | 拡大推進事業 | | | | | | 拡大推進事業 | | | |
| | 総務・広報 | ホームページ作成 | 総合資料作成 | | | | | 7月例会 | | | | | |
| | 例会 | 1月例会 | 2月例会 | 3月例会 | 4月例会 | 5月例会 | 6月例会 | 7月例会 | 8月例会 | 9月例会 | 10月例会 | 11月例会 | 12月例会 |
| | 未来創造 | | | | 第17回 わんぱく相撲淡路場所 | | | | | | 10月例会 | | |
| 社会開発 | | | 3月例会 | | | | | 淡路一市運動 発信事業 | | | | | |

14. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図

